



埼玉県 臨床研修病院 ガイドブック 2025

Saitama Prefecture
CLINICAL TRAINING HOSPITAL
GUIDE BOOK

臨床研修
基幹病院
36施設
—掲載!—

埼玉県臨床研修病院ガイドブック2025

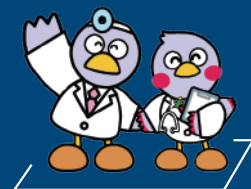


埼玉県

埼玉県臨床研修病院 ガイドブック2025

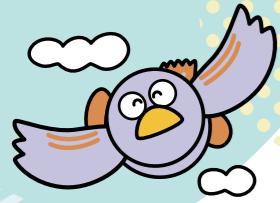
■編集・発行
埼玉県保健医療部医療人材課
医師確保対策担当
〒330-8777 さいたま市中央区新都心1-2
県立小児医療センター南玄関8階
TEL:048-601-4600
FAX:048-601-4604
E-mail:a3560-03@pref.saitama.lg.jp
ホームページ:http://kobaton-med.jp/

令和6年12月発行



埼玉県のマスコット
「コバトン」「さいたまっち」

コバトンドットメド 検索



Welcome to SAITAMA



埼玉県の医師確保における現状

本県の75歳以上の高齢者人口は、急速に増加し、いわゆる団塊の世代の全てが75歳以上となる2025年以降も増え続けると推計されています。

こうした急速な高齢化の進展により、医療や介護の需要は大幅に増大することが見込まれ、医師の確保は県の最重要課題の一つになっています。

高度医療を提供する、魅力ある医療機関

埼玉県内には、現在339の病院があります。(令和6年4月1日現在)

このガイドブックで紹介する臨床研修病院をはじめ、各地域に、救命救急センター、周産期母子医療センター、地域医療支援病院、災害拠点病院など高度医療を提供する中核的な医療機関が整備されています。

「埼玉県総合医局機構」が医師をバックアップ

埼玉県では、埼玉県医師会、県内医療機関、大学などとともに「埼玉県総合医局機構」を創設し、医師の確保・派遣と、キャリアステージに応じた医師支援に取り組んでいます。

また、さいたま新都心にある「埼玉県総合医局機構 地域医療教育センター」では、高規格のシミュレータ機器などを備えた高度な教育・研修環境を医療従事者の皆さまに提供するとともに、各種教育研修会を開催しています。

埼玉県の臨床研修は人気上昇中

「人口が多く経験できる症例数が豊富」「上級医の先生方の指導が手厚い」などの理由から、出身地を問わず「埼玉」はとて魅力的な県だということが全国に知られるようになっていきます。

令和6年度のマッチング結果は、平成15年度の臨床研修制度開始からの増加数、伸び率とも全国1位であり、埼玉県の臨床研修は人気上昇中です。多くの先輩が選んでいる埼玉で、医師としての第一歩を踏み出してみませんか。



埼玉県臨床研修病院 ガイドブック2025

■埼玉県総合医局機構～KOBATON.med～ 06

■基幹型臨床研修病院(保健医療圏別)

南部保健医療圏

- 1 埼玉県済生会川口総合病院 10
- 2 埼玉協同病院 12
- 3 川口市立医療センター 14
- 4 戸田中央総合病院 16

南西部保健医療圏

- 5 TMGあさか医療センター 18
- 6 国立病院機構埼玉病院 20
- 7 新座志木中央総合病院 22

東部保健医療圏

- 8 春日部市立医療センター 24
- 9 獨協医科大学埼玉医療センター 26
- 10 みさと健和病院 28
- 11 草加市立病院 30
- 12 春日部中央総合病院 32
- 13 秀和総合病院 34
- 14 越谷市立病院 36
- 15 三郷中央総合病院 38

さいたま保健医療圏

- 16 自治医科大学附属さいたま医療センター 40
- 17 さいたま市立病院 42
- 18 彩の国東大宮メディカルセンター 44
- 19 さいたま赤十字病院 46
- 20 さいたま市民医療センター 48
- 21 埼玉メディカルセンター 50

県央保健医療圏

- 22 上尾中央総合病院 52
- 23 北里大学メディカルセンター 54

川越比企保健医療圏

- 24 埼玉医科大学総合医療センター 56
- 25 関越病院 58
- 26 埼玉医科大学病院 60
- 27 小川赤十字病院 62

西部保健医療圏

- 28 埼玉石心会病院 64
- 29 埼玉医科大学国際医療センター 66
- 30 国立病院機構西埼玉中央病院 68

利根保健医療圏

- 31 羽生総合病院 70
- 32 新久喜総合病院 72
- 33 埼玉県済生会加須病院 74
- 34 行田総合病院 76

北部保健医療圏

- 35 深谷赤十字病院 78
- 36 熊谷総合病院 80

■防衛省訓令に基づく臨床研修病院

西部保健医療圏

防衛医科大学校病院

※このガイドブックは、主として医学生の方に埼玉県内の臨床研修病院(防衛医科大学校病院を除く)を紹介するため、各病院から提供のあった情報を基に作成したものです。

※このガイドブックの「病院の概要」にある指導医とは、厚生労働省「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」に基づく講習会を修了した者です。

※各病院ページの「卒後臨床研修評価機構認定病院」については、令和6年12月1日時点の認定状況を掲載しています。

埼玉県臨床研修病院MAP

地域	掲載順	病院名	郵便番号	住所
南部	1	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会川口総合病院	332-8558	川口市西川口 5-11-5
	2	医療生協さいたま生活協同組合 埼玉協同病院	333-0831	川口市木曾呂1317
	3	川口市立医療センター	333-0833	川口市西新井宿180
	4	医療法人社団東光会 戸田中央総合病院	335-0023	戸田市本町1-19-3
南西部	5	医療法人社団武蔵野会 TMGあさか医療センター	351-0023	朝霞市溝沼1340-1
	6	独立行政法人国立病院機構 埼玉病院	351-0102	和光市諏訪2-1
東部	7	医療法人社団武蔵野会 新座志木中央総合病院	352-0001	新座市東北1-7-2
	8	春日部市立医療センター	344-8588	春日部市中央6-7-1
	9	獨協医科大学埼玉医療センター	343-8555	越谷市南越谷2-1-50
	10	医療法人財団健和会 みさと健和病院	341-8555	三郷市鷹野4-494-1
	11	草加市立病院	340-8560	草加市草加2-21-1
	12	医療法人財団明理会 春日部中央総合病院	344-0063	春日部市緑町5-9-4
	13	医療法人秀和会 秀和総合病院	344-0035	春日部市谷原新田1200
さいたま	14	越谷市立病院	343-8577	越谷市東越谷10-32
	15	医療法人社団愛友会 三郷中央総合病院	341-8526	三郷市中央4-5-1
	16	自治医科大学附属さいたま医療センター	330-8503	さいたま市大宮区天沼町1-847
	17	さいたま市立病院	336-8522	さいたま市緑区三室2460
	18	医療法人社団協友会 彩の国東大宮メディカルセンター	331-8577	さいたま市北区土呂町1522
	19	さいたま赤十字病院	330-8553	さいたま市中央区新都心1-5
	20	社会医療法人 さいたま市民医療センター	331-0054	さいたま市西区島根299-1
	21	独立行政法人地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター	330-0074	さいたま市浦和区北浦和4-9-3
県央	22	医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院	362-8588	上尾市柏座1-10-10
	23	北里大学メディカルセンター	364-8501	北本市荒井6-100
川越比企	24	埼玉医科大学総合医療センター	350-8550	川越市鴨田1981
	25	社会医療法人社団新都市医療研究会(関越)会 関越病院	350-2213	鶴ヶ島市脚折145-1
	26	埼玉医科大学病院	350-0495	入間郡毛呂山町毛呂本郷38
西部	27	小川赤十字病院	355-0397	比企郡小川町小川1525
	28	社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院	350-1305	狭山市入間川2-37-20
	29	埼玉医科大学国際医療センター	350-1298	日高市山根1397-1
	30	独立行政法人国立病院機構 西埼玉中央病院	359-1151	所沢市若狭2-1671
利根	31	医療法人徳洲会 羽生総合病院	348-8505	羽生市下岩瀬446
	32	社会医療法人社団埼玉巨樹の会 新久喜総合病院	346-8530	久喜市上早見418-1
	33	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会加須病院	347-0101	加須市上高柳1680
	34	社会医療法人社幸会 行田総合病院	361-0056	行田市持田376
北部	35	深谷赤十字病院	366-0052	深谷市上柴町西5-8-1
	36	社会医療法人 熊谷総合病院	360-8567	熊谷市中西4-5-1
		防衛医科大学校病院	359-8513	所沢市並木3-2



埼玉県総合医局機構



平成25年12月に創設された埼玉県総合医局機構は、「医師の確保・派遣」と「医師の支援」を二本柱として、県医師会や県内の医療機関等と一体となって総合的な取組を行うことにより県内全域の医療水準の向上を目指しています。

「医師の確保・派遣」のための取組

「臨床研修医・専攻医向け研修資金」貸与事業

産科、小児科、救命救急センターの医師を目指す研修医の皆さんを支援！

産科、小児科、救命救急センターの医師を目指す方へ資金を貸与 → 埼玉県の病院で医師として勤務 → 貸与された資金の返還が免除！！

	臨床研修医向け	専攻医向け
対象者	埼玉県内の臨床研修病院の臨床研修医	埼玉県内の周産期母子医療センター又は救命救急センターにおいて、産科、小児科又は救急医療に係る専門研修を受講している専攻医
貸与金額	月額 10 万円以内	月額 20 万円以内
貸与期間	2 年以内	3 年以内
返還免除条件	埼玉県内の病院の産科、小児科又は救命救急センターで貸与期間の 1.5 倍勤務すること	

※選考あり

「中高生の医療体験」「医学生の医療機関見学会」事業

埼玉県内での病院勤務に関心のある学生はどなたでも参加できます！

埼玉県では医師を志すきっかけとなるよう、中高生に向けた医療体験を実施しております。

また、医学生の皆さんに県内病院の魅力により深く実感していただくための病院見学会を実施しています。病院見学会では、研修医との座談会を実施し、県の医療現場の現状や県内で勤務することの魅力について意見交換をしております。

※いずれも定員あり



「医師の支援」のための取組

「女性医師の支援」事業

埼玉県の女性医師を応援！

埼玉県女性医師支援センターを運営し、女性医師等が産休や育休から復職する際の相談等に対応しています。

また、短時間勤務等のために代替医師の雇用等を行った病院に経費を助成しています。

埼玉県女性医師支援センター

相談窓口(受付時間 平日9:00~17:00)

埼玉県さいたま市浦和区仲町3-5-1 県民健康センター内

電話相談窓口(受付時間 平日9:00~17:00)

Tel : 048-815-7115 Fax : 048-815-7175

Mail : info@saitama-joi.jp

詳しくはこちら▶



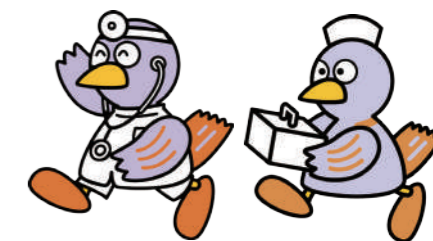
地域医療教育センター

県内の医師のスキルアップをサポートします！

さいたま新都心にある「地域医療教育センター」は、医療手技トレーニング用の機器を各種取り揃えたシミュレーションセンターです。

埼玉県が事務局を担っており、県内医師のスキルアップを目的として、各種研修会を開催しています。

研修会は、特定の病院や大学に偏らずに、県内勤務の医療従事者の方にはどなたでも参加できます。



センターが開催する臨床研修医向け研修会

医療手技ハンズオンセミナー

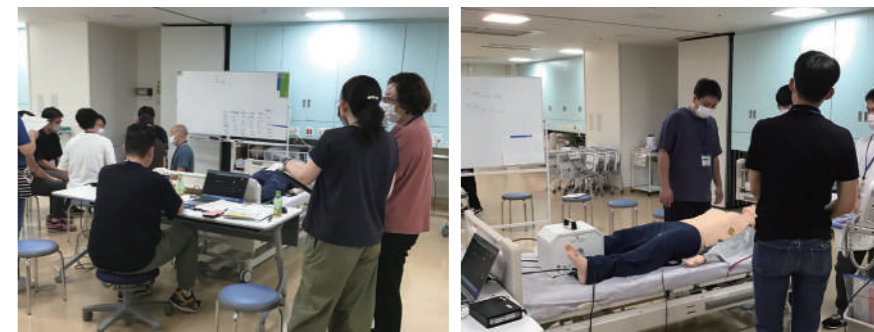
超音波検査、CV穿刺、気管挿管など様々な手技のハンズオンセミナーを定期的で開催しています。



日本救急医学会 ICLS 日本内科学会 JMECC

各学会認定ディレクターによるコースを定期的で開催しています。

また、受講者だけでなく、指導者側(アシスタント)も募集しますので、インストラクター資格を目指す方にもおすすめです。



産科・小児科・救急科の 魅力を学ぶ研修

特に医師が不足している産科・小児科・救急科について、各分野の第一線で活躍している医師を講師に招き、各科の魅力を伝えていただきます。

また、シミュレータを利用して各科の患者対応の模擬体験を行います。



その他のセンター主催研修

■ 1次救命処置研修(BLS)

■ JMECC指導者講習会

■ 小児2次救命処置研修(PALS)

■ ICLSワークショップ

■ 医療安全研修(チームSTEPPS)

■ 脳卒中医を育てるセミナー

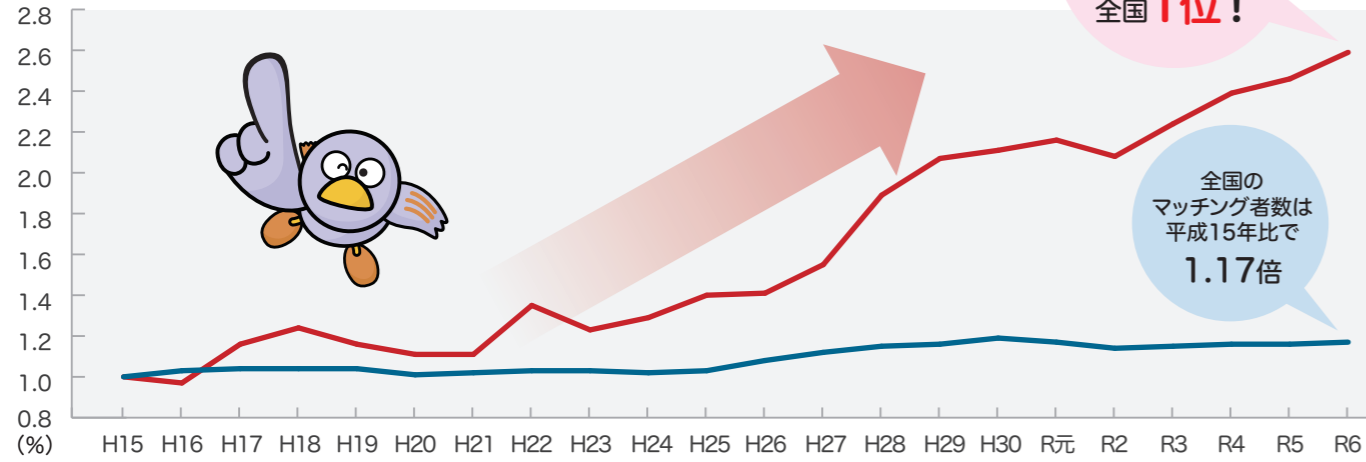
詳しくはこちら /



埼玉県での臨床研修

平成15年度の臨床研修制度開始から令和6年度までのマッチング者数の増加数、伸び率は、全国の都道府県の中で1位となっており、多くの研修医の皆さんが埼玉県内で活躍しています。

臨床研修マッチング者数の伸び率の推移



過去5年間のマッチング者数の推移

年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
マッチング者数	344人	370人	395人	406人	428人

専門研修PR特設WEBサイトを開設!



埼玉県では、県内の医療機関で専門研修を受講していただくことを具体的にイメージできるよう特設WEBサイトを令和5年12月に開設しました。サイトでは、研修プログラムごとの詳細な情報や、研修施設で勤務されている専攻医へのインタビュー記事、専門研修基幹施設の動画など、豊富な情報を掲載しています。また、順次コンテンツも追加していきます。是非ご利用ください。



研修医の皆さんを支援します!

埼玉県総合医局機構では、埼玉県で臨床研修を受ける医師の皆さんを支援する取組を行っています。県内の専門研修病院からの説明会や、フリートークサロンを開催し、研修病院とのマッチングを促しました。また、各分野の第一線で活躍する医師によるセンター主催の研修会の開催をはじめ、専門医へのキャリアアップの支援などの取組を通じ、研修医の皆さんをバックアップします。



お問い合わせ先
埼玉県総合医局機構 Tel : 048-601-4600
(埼玉県医療人材課内)

Mail : a3560-03@pref.saitama.lg.jp



http://kobaton-med.jp/

令和7年度開始専門研修プログラム 県内基幹施設の指定状況

各診療科の基幹施設の指定状況は表のとおりとなっています。

医療圏	基幹施設名	臨床研修 病院	特定労働管理 対象機関指定	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	咽喉科	泌尿器科	脳神経 外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリ 診療科	総合 診療科	合計	
南部	埼玉県済生会川口総合病院	○	○	●	●				●							●							4	
	埼玉協同病院	○	○	●																		●	2	
	川口市立医療センター	○	○	●	●				●							●			●				5	
	戸田中央総合病院	○		●					●							●	●						4	
	さいわい診療所																					●	1	
南西部	TMGあさか医療センター	○	○													●							1	
	国立病院機構埼玉病院	○	○	●	●			●			●					●		●		●	●	●	8	
	イムス富士見総合病院				●																		1	
	新座志木中央総合病院	○		●					●														2	
東部	春日部市立医療センター	○		●																			1	
	順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院		○					●															1	
	南埼玉病院							●															1	
	獨協医科大学埼玉医療センター	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	18	
	みさと健和病院	○		●																		●	2	
	草加市立病院	○		●																			1	
	春日部中央総合病院	○		●																			1	
	秀和総合病院	○		●																			1	
	北辰病院							●																1
さいたま	自治医科大学附属さいたま医療センター	○	○	●	●	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	14	
	さいたま市立病院	○	○	●	●			●								●			●				5	
	彩の国東大宮メディカルセンター	○		●																			1	
	さいたま赤十字病院	○	○	●					●		●					●			●				5	
	浦和神経サナトリウム							●															1	
	大宮厚生病院							●															1	
	さいたま市民医療センター	○	○	●	●																	●	3	
	埼玉県立小児医療センター		○		●																		1	
県央	埼玉メディカルセンター	○		●					●												●		3	
	上尾中央総合病院	○	○	●				●	●			●	●			●						●	7	
	北里大学メディカルセンター	○	○	●					●				●			●							4	
	埼玉県立精神医療センター							●															1	
川越比企	済生会鴻巣病院							●															1	
	埼玉医科大学総合医療センター	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	16	
	関越病院	○																				●	1	
西部	埼玉医科大学病院	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	16	
	埼玉石心会病院	○	○	●				●												●		●	4	
利根	埼玉医科大学国際医療センター	○	○	●				●				●	●	●	●	●	●	●	●				7	
	久喜すずき病院							●															1	
	羽生総合病院	○							●													●	2	
	新久喜総合病院	○	○	●					●														2	
北部	埼玉県済生会加須病院	○	○	●					●											●			3	
	深谷赤十字病院	○	○	●																●		●	3	
秩父	熊谷生協病院																					●	1	
	秩父市立病院																					●	1	
合計			30	21	27	11	4	11	11	11	5	5	5	6	3	3	14	6	2	12	4	4	15	159

1 埼玉県済生会川口総合病院

社会福祉法人恩賜財団済生会支部



- ▶ 研修医数 1年目 12名、2年目 12名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 43名
- ▶ 研修医の主な出身大学

愛知医科大学、秋田大学、旭川医科大学、岩手医科大学、岡山大学、鹿児島大学、金沢大学、北里大学、岐阜大学、杏林大学、群馬大学、高知大学、埼玉医科大学、佐賀大学、産業医科大学、滋賀医科大学、島根大学、順天堂大学、昭和大学、信州大学、聖マリアンナ医科大学、千葉大学、筑波大学、帝京大学、東海大学、東京医科大学、東京医科歯科大学、東京慈恵会医科大学、東京女子医科大学、東邦大学、東北大学、獨協医科大学、鳥取大学、名古屋市立大学、名古屋大学、新潟大学、日本大学、日本医科大学、浜松医科大学、福井大学、福島県立医科大学、北海道大学、三重大学、宮崎大学、山形大学、山梨大学、琉球大学（五十音順）

研修プログラムの特色

当院は424床の総合病院で、救急車受入台数は約4,500台となっています。当直においては内科系・外科系・循環器内科・ICU・小児科・産婦人科の6科体制となっています。救急外来でのファーストタッチは研修医が行うので、様々な症例(特に脳神経領域)を経験する事が可能です。また、地域医療研修に関しては救急車同乗研修や岩手県にある済生会岩泉病院での研修もできます。選択科は36週設定されており、年度内での選択科変更も可能となっています。1学年12名という過不足ない人数且つ、指導医数50余名の中で時間に追われる事なく豊富な症例経験が可能です。

プログラム例 済生会川口総合病院臨床研修プログラム / 募集定員: 12名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科 (24週)						外科 (8週)		麻酔科 (8週)		産婦人科 (4週)	救急 (4週)
2年目	小児科 (8週)	救急 (4週)	地域医療 (4週)	精神科 (4週)	選択科 (36週)、一般外来 (4週)							

・必修科目 64週：内科24週（消化器内科・循環器内科各8週のほか、腎臓内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科から8週選択）、救急8週（救急外来での8週の研修の他に、日当直業務および各診療科ローテート時の救急当番での研修を加えて、合計12週の研修とします。）、地域医療4週、外科8週、小児科8週、産婦人科4週、精神4週、一般外来4週
 ・病院必修：麻酔科8週
 ・選択科目 36週：上記「病院の概要」の診療科目のほか、保健・医療行政から選択。ただし、精神科を選択した場合は、協力病院である順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院若しくは埼玉県済生会鴻巣病院での研修となります。

■ 研修医の処遇

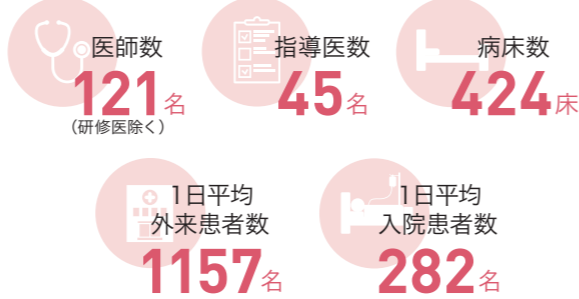
給与	1年目:36万/月、2年目:40万/月(※医師手当含)	勤務時間	8時45分～17時00分(平日日勤)
諸手当	(準)夜勤手当、住宅手当、通勤手当等		9時00分～17時00分(土日祝日直)
保険	組合健保(埼玉県医師会健康保険) 厚生年金保険 雇用保険あり 労災保険 医師賠償責任保険(病院において加入)		14時45分～23時00分(準夜) 16時45分～翌8時45分(夜勤) ※上述時間については原則であり状況等によって前後します。また、休日を含めた研修時間等は研修科によって異なり、状況等によっては休日研修も生じます。
その他	賞与 1年目:10万円/年、2年目:20万円/年 健康診断2回/年 ワクチン接種等	当直	あり(4回程度/月)
		休暇	2日/週、有給休暇(1年目:14日、2年目:15日)
		宿舎	あり

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- 川口市消防局
- 地域診療所
- 訪問看護ステーションきゅうばら
- 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
- 埼玉県済生会鴻巣病院
- 岩手県済生会岩泉病院
- 川口市保健所
- 済生会特別養護老人ホーム彩光苑

病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 有



■ 診療科

内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、神経内科、腫瘍内科、放射線科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、血管外科、呼吸器外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、麻酔科、小児科、精神科、リハビリテーション科、病理診断科、臨床検査科、心臓外科
 ※上記は標榜科であり研修科とは異なります。

■ 主な認定施設

地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院、地域周産期母子医療センター、ISO9001:2015認定等

当院の魅力

～基本的診療能力と医師としてのプロ意識を培う～

済生会川口総合病院は埼玉県南部にあり、東京からは荒川をはさんだ川口市に位置しており社会福祉法人恩賜財団済生会に所属する病院です。社会福祉法人恩賜財団済生会は、明治44年明治天皇により恵まれない人々に手をさしのべて救うようにとの「済生勅語(さいせいよくご)」に基づき、生活困窮者支援の精神のもと創立されました。現在全国81病院をはじめ、診療所・福祉施設など約400の施設により構成されている日本最大の社会福祉法人で、日本の保健・医療・福祉において重要な役割を担っています。当院は現在424床の病床と専門学会から指導施設としての認定を受けている25の標榜診療科を有する総合病院で、職員数は常勤医師・看護師・派遣・業務委託をあわせて約1,400名を抱える病院です。手術室は7室・ICU14床・NICU6床・GCU6床に加え放射線部門ではPET・CT・MRI・DSA・RI・IMRT、診療部門ではda Vinci(ダビンチ)・IMRTなどの最新の医療機器を導入し、救急車搬送数は年に5,000台、手術は年に4,800件をおこない、臨床研修病院・救急指定医療機関・災害拠点病院・地域がん診療連携拠点病院・地域周産期母子医療センター・地域医療支援病院などの認定を受ける、まさに人口60万の川口市、隣接する戸田・蕨を含めて80万人の地域の医療を担う急性期型の中核病院です。

<LINE公式アカウントを開設しました>

当院の診療情報やイベント開催等を定期的に発信しておりますので、友だち登録の上ご利用下さい。



女性医師支援

産前産後休暇

育児休業

母性の保護のための業務従事制限

(妊娠中または出産後1年を経過しない女子職員が深夜に労働しない事等を希望する時は、時間外・休日・当直帯での勤務等について制限する事が可能です)

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受付
(申し込みは当院HPより)

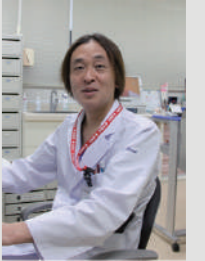


連絡先

病院名 済生会川口総合病院
 所属 臨床研修室
 住所 〒332-8558 埼玉県川口市西川口5-11-5
 TEL 0570-081-551(代表)
 FAX 048-256-5703

E-mail kensyu@saiseikai.gr.jp
 URL https://www.saiseikai.gr.jp
 アクセス JR京浜東北線西川口駅から徒歩10分

研修責任者
から
メッセージ



プログラム責任者、救急・総合内科主任部長

笠井 英裕

当院は、荒川をはさんで東京都と接する埼玉県川口市に位置する病院です。そして、地域中核型の急性期病院としての使命を果たしています。医療の質向上への終わりのなき挑戦を日々続け、次世代に継承しうる病院創りを確実に進めています。本館の改築とICU14床の開設により、救急と周産期部門が充実しました。また、東館のオープンにより、健診・透析・リハビリ部門が拡充されました。常勤医123名中47名が厚生労働省の指針による講習会を受講した指導医で、十分な指導体制が確保され医療人育成強化を推進しています。当院での患者中心の医療を経験することにより、優れた技術・メディカルスタッフとのチーム医療・患者との信頼関係・プロ意識等を体験し、臨床研修の2年間で、プライマリ・ケアを中心とした医師として最低必要な態度・知識・技術を体得できるよう研鑽を積んでください。研修医個々人の立てた目標に向けた取り組みを継続的に支援し、できる限りの協力をおしませません。

先輩研修医
の声

修了研修医

- 研修医は都内、地方出身者と色々
 ・小児科はNICU有(小児・産婦志望ならお薦め)
- ・自身が望めば色々やらせてもらえる
 - ・手技が取り合いにならない
 - ・指導医が充実
 - ・先輩研修医が優しい
 - ・食堂が安くてヘルシー(雑穀米)

修了研修医

私は関東の市中病院で研修病院を探していました。当院の、①経験できる症例数や手技が豊富である事②上級医の先生からのご指導が手厚い事③雰囲気がよく活気がある事に惹かれたため研修先として選びました。どの科の先生方もとても優しく、研修医に対して熱心に指導して下さいます。また、自分が希望すれば多くの手技も経験させてもらえます。内科を中心に自分でローテート科を調整できる点もよかったです。そして日々助け合える同期が12人いるので、とても心強いです。

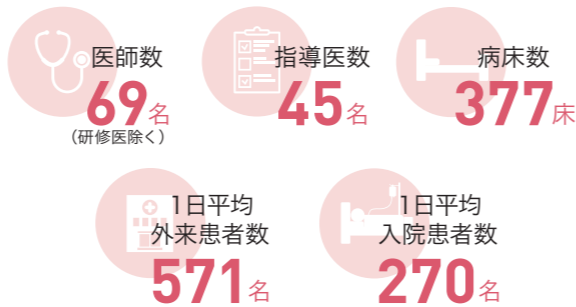


- ▶ 研修医数 1年目 8名、2年目 7名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 40名
- ▶ 研修医の主な出身大学

関西医科大学、国際医療福祉大学、順天堂大学、東京医科大学、東京慈恵会医科大学、獨協医科大学、新潟大学、日本大学、山形大学、琉球大学

病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 有



診療科

内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、緩和ケア内科、神経内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、精神科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科、リウマチ科、臨床検査科、腎臓内科、血液内科、糖尿病内科、救急科、泌尿器科（人工透析）、緩和ケア外科

主な認定施設

埼玉県がん診療指定病院、日本プライマリ・ケア連合学会認定研修施設、日本内科学会認定制度教育関連病院、日本消化器病学会認定施設、日本緩和医療学会認定研修施設 他

研修プログラムの特色

当院の研修の特徴は2年間でその後の医師人生の土台となる一般診療能力を身につけられることです。内科を中心として救急、小児科、麻酔科、外科、産婦人科、精神科、地域医療、選択科をローテーション研修します。ローテート内容は自由度があり、3年目の専攻を見据えて選択科やローテート順などの希望に柔軟に対応します。研修を開始した最初の16週間は内科病棟で一貫した指導を受け入院してから退院するまでの基本的な診療を主体的に行うことで覚えます。2年間の研修でどの科を回っていても看護師、医療相談員、薬剤師、セラピストなどのメディカルスタッフとともにカンファレンスを行うことで患者さんに寄り添ったチーム医療を行う姿勢を身につけます。一般診療能力に必要な初期診療対応はどの科をローテート中でも救急当直に入ることによって学ぶことができます。地域医療研修は同法人の中小規模病院または診療所で行いますので、一貫した研修として地域包括ケアを学び実践できます。

プログラム例 埼玉協同病院初期総合臨床研修プログラム / 募集定員: 8名

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週
1年目	内科		内科		救急(麻酔科4週含む)		外科		産婦人科			
2年目	内科	地域医療	小児科	精神科	選択							

必修

内科(32週)、救急(救急12週:麻酔科での4週間の研修を加えて合計12週の研修とします)、地域医療(8週)、外科(8週)、小児科(8週)、産婦人科(4週)、精神科(4週)、一般外来(4週、並行研修)

選択(20週)

内科、救急科、地域医療、外科、小児科、産婦人科、精神科、整形外科、皮膚科、麻酔科

研修医の処遇

給与	1年目:約35万円/月、2年目:約39万円/月 年2回賞与あり	勤務時間	平日8時30分~17時00分 土曜日8時30分~13時00分
諸手当	住宅手当・家族手当・宿直手当・年末年始勤務手当等	当直	あり(3~4回/月)
保険	協会けんぽ・厚生年金保険・雇用保険・労災保険 厚生年金基金等企業年金 医師賠償責任保険(病院において加入)	休暇	有給休暇(1年目:10日、2年目:12日) リフレッシュ休暇(4日)等
宿舎	なし(住宅手当【家賃の半額、上限5万円】)	その他	常勤採用、学会・研修会参加補助、 院内保育所(病児保育)あり、ワクチン接種 健康診断2回/年

主な臨床研修協力病院・協力施設

【臨床研修協力病院】	【研修協力施設】
<ul style="list-style-type: none"> 北辰病院 みさと協立病院 	<ul style="list-style-type: none"> 熊谷生協病院 埼玉西協同病院 秩父生協病院 浦和民主診療所 大井協同診療所 川口診療所 さいわい診療所

当院の魅力

Kyoudo PRIDE

当院は1978年の開院以来、地域医療を支える医師を育成してきました。内科病棟で受け持つ症例はバラエティに富んでおり、特に高齢の方は複数の慢性疾患を抱えながら急性期疾患で入院するケースが多いので急性期疾患にだけ着目するのではなく総合的に診療することが必要になります。当院は総合医局になっているので診療の相談をどの科の医師にも相談しやすく、指導体制としても屋根瓦方式をとっており、3~6年目の医師が研修医の相談にも乗ってくれます。手技は始め指導医の下で行い、指導医が認めれば自主的に行えるので十分な経験を積むことができます。医療知識や技術を磨くために病気を診るだけではなく、その病気を抱えた患者さんを生活背景(経済状況・住居・家族関係等)や労働環境(労働による疾病への影響)からも理解し診療を行うことで医師として患者さんに寄り添う姿勢を学んでいきます。当院の研修を通して知識・技術・姿勢といった医師としての重要な土台を築くことで、その後どのような場所で働くことになっても埼玉協同病院で研修を行ったというKyoudo PRIDEをもって働き続けることのできる医師を養成します。

女性医師支援



当院では『誰もが安心して働ける職場』を目指して様々なライフイベントに合わせた働き方を応援しています。出産・育児へのサポートとして院内保育所を併設しており、病児保育にも対応しています。保育所を利用しつつ、短時間勤務制度や当直免除制度を使い育児と仕事を両立させながら自分のライフプラン・キャリアプランを考えることができます。当院常勤医師の約30%は女性医師で出産・育児をしながら活躍しています。(写真は院内保育所)

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・病院見学はホームページの見学申し込みフォームより見学希望日の1週間前までにお申し込みください。
- ・大学授業などの関係上見学ができない場合はオンラインでの研修説明も可能です。



連絡先

病院名 埼玉協同病院
所属 医学生担当事務: 千葉 翔太
住所 〒333-0831 埼玉県川口市木曾呂1317
TEL 048-296-5822
FAX 048-296-8247

E-mail skymet@mcp-saitama.or.jp
URL https://kyoudou-hp.com/skymet/
アクセス JR武蔵野線 東浦和駅から徒歩15分

研修責任者からメッセージ

研修管理委員長(病院長) 増田 剛

医師人生にとって初めの2年間でどのように過ごすかはとても大切です。知識や技能の習得は勿論ですが、医師として相応しい基本的な態度や姿勢を学び身に付けることが重要だと私たちは考えています。単に病気を診るのではなく人間を診るということ、社会的背景にしっかり対応すること、常に学習を怠らず謙虚に学び続けることなど、医師人生の土台をこの2年間で創っていただきます。当院は1978年の開院以来、「地域で役に立つ医師は地域でこそ育つ」その考えを実践し、全職種と地域住民の協力で地域で役に立つ臨床医を育ててまいりました。熱いハートを持った指導医集団と良きパートナーを育てることに心血を注げるメディカルスタッフ、そしてその活動を地域から支える住民組織が皆さんのお越しを心待ちにしております。

先輩研修医の声

研修医2年目 橋本 大輝



当院には教育熱心な先生が多く、分からないことは丁寧に教えて下さり、手技も積極的にやらせて頂きます。質問しやすい雰囲気があり、安心して業務を行います。当院の特徴として様々な社会的背景を抱えている患者様も多く、退院後の生活まで考えて治療する大切さを学べます。1人の医師として求められることは多いですが、日々やりがいを持って働いています。興味を持って頂いた方は是非見学にいらしてください。お待ちしております!

プログラム卒業研修医より

当院の初期研修は、総合内科病棟から始まります。何もわからない状態からのスタートですが、指導医の先生を始め、スタッフの皆様が優しく熱心に指導して下さい、安心して研修が行えます。研修医として医学的な管理を学ぶことはもちろんですが、患者様はそれぞれ多様な背景を抱えられています。お一人お一人の問題を解決するために、医師として何が出来るか考えさせられる毎日です。患者様の抱える問題の解決策を模索する、多職種によるチーム医療に自身も参加することで、より広い視野での診療が行えるようになるのではないかと思います。



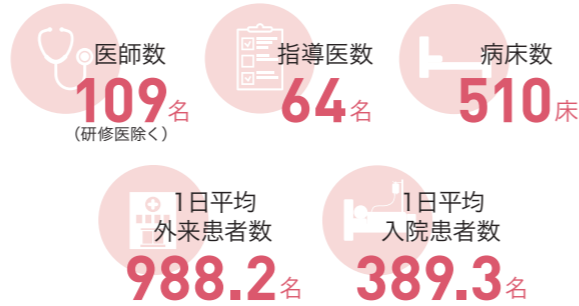


- ▶ 研修医数 1年目 12名、2年目 12名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 98名
- ▶ 研修医の主な出身大学

日本大学、東京慈恵会医科大学、日本医科大学、筑波大学、福島県立医科大学、山形大学、国際医療福祉大学、順天堂大学、東北大学、群馬大学

病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 有



診療科

内科、消化器内科、血液内科、脳神経内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病内分泌内科、循環器科、小児科、精神科、外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、心臓血管外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理診断科、緩和ケア科

主な認定施設

地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院(基幹災害医療センター)、病院機能評価認定病院、エイズ診療協力医療機関、災害派遣医療チーム埼玉

当院の魅力



プライマリ・ケアから高度専門医療まで!

当センターは昭和22年に開設され、平成6年5月に川口駅前から現在の場所に移転し、その名称も川口市市民病院から川口市立医療センターに変更されました。同時に救命救急、周産期および画像診断の各センターを設置し、専門医が中心となり各医療スタッフがー丸になって高度医療の充実に寄与しています。診療科数30科510床を有し、平成30年4月から地域医療支援病院となるなど、地域の基幹病院としてプライマリ・ケアから高度専門医療まで広範な医療を展開しています。日本医療評価機構の認定施設であり、さらにエイズ診療協力医療機関及び基幹災害医療センターにも県より指定されています。

研修プログラムの特色

- 各科・各部門にわたる医師として必要基本的な姿勢・態度及び救急処置の初期治療等プライマリ・ケアを中心とした、医療知識・技能を習得するための内容で構成されています。
- 地域医療は同じ埼玉秩父の国保町立小鹿野中央病院にて医療・保健・福祉が一体となった地域包括ケアの実践を学ぶことができます。
- 精神科研修は同じ埼玉南部の北辰病院または戸田病院での研修となります。

プログラム例 川口市立医療センター卒後臨床研修プログラム(総合コース) / 募集定員: 12名

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
1年目	内科				救急				外科				小児科
2年目	産婦人科	精神科	地域医療	選択科目									

内科: 28週(うち4週を一般外来として研修) 救急部門: 12週 地域医療: 4週
 外科: 8週 産婦人科: 4週 小児科: 4週
 精神科: 4週 選択科目: 40週

研修医の処遇

給与	1年目: 約38.9万円/月、2年目: 約40.4万円/月	勤務時間	8時30分~17時15分
諸手当	通勤手当、時間外手当、期末手当	当直	あり(4回/月)
保険	健康保険(埼玉県市町村職員共済組合) 厚生年金保険(1年目: 日本年金機構 2年目: 埼玉県市町村職員共済組合) 雇用保険、労災保険適用 医師賠償責任保険(病院において加入なし)	休暇	2日/週、有給休暇(20日)、夏季休暇(7日)
		宿舎	あり(使用者負担2万円/月)

主な臨床研修協力病院・協力施設

- | | | |
|--|--|--------------------------|
| 【協力型臨床研修病院】
● 医療法人秀峰会北辰病院
● 医療法人高仁会戸田病院 | 【研修協力施設】
● 医療法人刀水会齋藤記念病院
● 医療法人時任会ときとうクリニック | ● 国保町立小鹿野中央病院
● 安行診療所 |
|--|--|--------------------------|



女性医師支援

院内保育所の設置
(時間外保育も対応)

妊娠中、育児中の当直勤務免除あり



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学を随時受付しています。
ホームページ応募フォームよりお申し込みください。



- 必要項目
- 氏名
 - 大学名
 - 連絡先
 - 見学希望日
 - 見学希望診療科(1~2科)
 - 当院での病院見学経験の有無

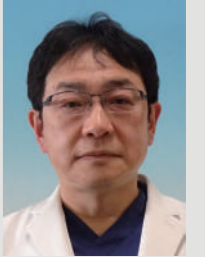
連絡先

病院名 川口市立医療センター
 所属 病院総務課職員係
 住所 〒333-0833 川口市西新井宿180
 TEL 048-287-2525(代表)
 FAX 048-280-1566

E-mail 170.01005@city.kawaguchi.saitama.jp
 URL http://kawaguchi-mmc.org/
 アクセス 埼玉高速鉄道 新井宿駅から徒歩7分

研修責任者
から
メッセージ

副院長
長峰 守



当院では、多彩な臨床経験を通じて、成長できる環境が整っています。特に救命救急センターでは、重症患者への対応を通じて実践的なスキルを身につけることができ、これは将来の医師として大きな強みとなります。他の科でも、中心静脈カテーテル挿入や気管内挿管、内視鏡手技など、さまざまな手技を積極的に経験できるチャンスが豊富にあります。また、上級医からの手厚いサポートを受け、研修医同士で切磋琢磨しながら、知識や技術をどんどん伸ばしていける環境が整っています。この2年間で、医師としての技術だけでなく、人間的にも大きく成長できることを確信しています。楽しく学び、挑戦しながら成長したい方に、当院は理想的な初期研修病院です。

先輩研修医
の声

研修医 2年目
小林 達矢



こんにちは! この文章を読んでいる皆さんは初期研修に何を求めていますか? 豊富な症例数、幅広い手技の経験、何でも聞ける指導医の先生、優しいコ・メディカルの方々、知識豊富な研修医の先輩、楽しい同期などなど。皆さんそれぞれ初期研修病院に求めることがあると思います。我が川口市立医療センターではその全てがそろっております! 是非一度病院見学に来てください。未来ある皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています!!

研修医 1年目
平澤 丈



当院の研修環境は Common Diseaseから3次救急までの幅広い学び、多くの手技の経験、自由度の高いプログラム、熱心に指導してくださる指導医の先生、優しいコ・メディカルの方々など、多くの人が求めるものが揃っています。また、志の高い同期や先輩に恵まれて日々研修に励むことができるのもこの病院の魅力の1つです。生活面でのサポートも充実しており充実した研修医生活を過ごすことができます。ぜひ一度見学にお越しください。



- ▶ 研修医数 1年目 8名、2年目 8名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 85名
- ▶ 研修医の主な出身大学

東京医科大学、順天堂大学、日本医科大学、帝京大学、東邦大学、杏林大学、秋田大学、福井大学、金沢大学、琉球大学

研修プログラムの特色

病院理念と特徴に沿った指導体制を基本に、厚生労働省が指定する必修科目（内科系6ヶ月・救急3ヶ月・外科・小児・産科・精神・地域各1ヶ月）に加え、外科系2ヶ月・麻酔1ヶ月を必修とすることにより研修の到達目標の達成を図り、専門研修への移行が円滑に進む様なプログラムとなっています。

また、募集する研修医数を8名とすることで、指導医と研修医が直接的な臨床現場での教育を行っています。更に、2020年4月にE館が稼働し、より充実した研修が可能となりました。

プログラム例 戸田中央総合病院初期臨床研修プログラム / 募集定員: 8名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科系 (6ヶ月)						外科系 (3ヶ月)			救急科 (3ヶ月)		
2年目	産婦人科 (1ヶ月)	精神科 (1ヶ月)	小児科 (1ヶ月)	麻酔科 (1ヶ月)	地域医療 (1ヶ月)	自由選択 (7ヶ月)						

※当院は月単位での研修となります。

内科6ヶ月（一般・消化器・循環器・脳神経・腎臓+消化器 or 循環器）、外科3ヶ月（外科2ヶ月+外科 or 整形外科）、救急科3ヶ月

小児・麻酔・産科・精神・地域各1ヶ月、自由選択7ヶ月

一般内科・消化器内科・循環器内科・腎臓内科・神経内科・救急科・外科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・緩和医療科・小児科・眼科・心臓血管外科・皮膚科・耳鼻咽喉科・麻酔科・呼吸器外科・婦人科・病理診断科・産婦人科（外部研修）・精神科（外部研修）・地域医療（外部研修）

■ 研修医の処遇

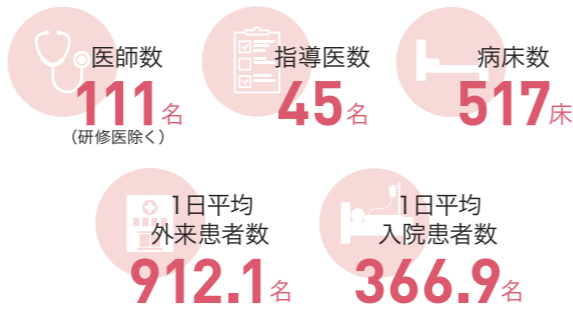
給与	1年目:36万円/月、2年目:40万円/月	勤務時間	9時00分~17時30分
諸手当	時間外・当直手当等※その他当院規程による	当直	義務当直(2回/月) 手挙当直(救急車初療・救急外来・CCU等)
保険	組合健保(TMG健康保険組合) 厚生年金保険 雇用保険あり 労災保険 厚生年金基金等企業年金あり 医師賠償責任保険(個人加入)	休暇	4週8休相当、年次有給休暇、特別有給休暇等
		宿舎	あり

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- 戸田中央産院（戸田市）
- 戸田病院（戸田市）※精神科領域
- 永尾醫院（戸田市）
- 辻川ホームクリニック（蕨市）
- 熱海所記念病院（熱海市）※地域医療領域
- 佐々総合病院（西東京市）※産婦人科領域

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 有



■ 診療科

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、腎臓内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、泌尿器科、移植外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、麻酔科、救急科、放射線科、緩和ケア内科、精神科、病理診断科、リハビリテーション科、婦人科

■ 主な認定施設

地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、日本医療機能評価機構病院機能評価認定病院、搬送困難事案受入医療機関災害、派遣医療チーム埼玉 DMAT 指定病院 等

■ 当院の魅力

戸田中央総合病院の初期研修とは・・・

救急ベッド・ICU・CCUを有し24時間体制で救急疾患に対応するだけでなく、地域がん診療連携拠点病院として、がん診療にも積極的に取り組んでおり、緩和ケア病棟も有しています。救急件数も約18.4件/日、約560件/月で大変忙しい病院ですが、Common Diseaseも非常に多く、初期研修には大変適した病院です。また、当院では研修医も「一人の医師」として接します。その為、「研修医だから・・・」という制限を設けず、やる気と知識さえあれば、責任者許可の元、治療計画や手術、検査なども実践できます。更に、腎移植をはじめ県内初のダ・ヴィンチ導入など最先端医療を積極的に取り入れているところも魅力のひとつです。

その他、月1回開催する「研修医近況報告会」ではその月に開催された臨床研修委員会が出た各研修医評価のフィードバック、研修医からの意見の収集とその結果報告や研修医が希望した内容の勉強会等を行い研修医との意見交換の場、勉強の場を設けています。

当院は1学年8名で全国より研修医が集まっていますが、初日から友人だったかのように打解け、指導医や上級医も研修医に気さくに接し、とてもフレンドリーな職場となっています。



女性医師支援

戸田中央総合病院では働く女性の為に国内最大規模の200名受入れ可能な保育室を2015年8月にリニューアルオープンしました。更に、院内には病児保育施設もあり安心して働くことができる環境作りをしています。

また、院内では常勤医の約27%にあたる30名の女性医師が働いており、2名の医師が育休を取得中です。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

☆病院見学随時募集中☆
戸田中央総合病院では、病院見学を随時募集しています。ご希望の方は氏名・大学名(学年)・見学希望日(第三希望まで)等下記メールアドレスまでお送りください。



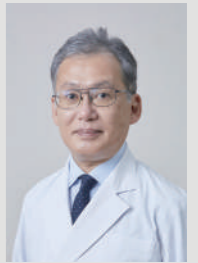
※詳細は当院ホームページをご参照ください。

連絡先

病院名 戸田中央総合病院
所属 臨床研修事務局
住所 〒335-0023 埼玉県戸田市本町1-19-3
TEL 048-442-1111(代表)
FAX 048-433-4076

E-mail toda-rinsyou-kensyu@tmg.or.jp
URL https://www.chuobyoin.or.jp/
アクセス JR埼京線戸田公園駅から徒歩5分

研修責任者からメッセージ



プログラム責任者(副院長)
田中 彰彦

鉄は熱いうちに打てといいますが、初期臨床研修に臨む医師は、多くの希望と不安を抱きながら社会人としての一步を踏み出されることでしょう。

私たち臨床研修病院の使命は、そうした皆さんの情熱を絶やすことなくきちんとした教育を行い、専門研修への礎を築くことにあります。そのために私たちは研修医と向き合うことを大切に、また卒後臨床研修評価機構の審査を受けるなど、自身が教育するための“質の向上”を絶えず模索しております。皆さんも先輩研修医や指導医とともに切磋琢磨できる環境を一緒に構築できる臨床研修病院をつくって行きましょう。

4月に入職し半年経って10月になると学生の風体だった研修医も医師らしい顔つきになってきます。医師としての最も学習曲線が高い時期を見守れるのは毎年嬉しい限りです。“少年易老学難成”良い研修となることを願っています。

先輩研修医の声



研修医2年目
嶋田 あずさ

地域密着型病院であるため Common Diseaseを多く見ることができると考え、当院を選びました。症例数も多く、診療科も揃っていることから多彩な疾患を経験することができます。更にプライマリ・ケアはもちろん、診療においては治療方針を主体的に考えられるため、やりがいもあると思います。また、熱心に指導して下さる先生がとても多く、重要な場面では必ず指導医のサポートやアドバイスが入る恵まれた環境です。



研修医2年目
三輪 要介

当院は新宿まで約20分という好立地で、且つ手技が多くできるところが魅力です。更に内科系・外科系だけでなく救急やマイナー科まで強い市中病院というのも強みだと思います。志望科に合わせてローテーションも自由に組むことができ、専門研修に向けて恥ずかしくない力も付きます。また、看護師をはじめ他の院内職員の方々にも気軽にアドバイスをいただける雰囲気のため、チーム医療が行いやすいのも良い所だと思います。



- ▶ 研修医数 1年目 5名、2年目 5名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 31名
- ▶ 研修医の主な出身大学

新潟大学、山梨大学、北里大学、信州大学、東邦大学、筑波大学、東京大学、国際医療福祉大学、東京医科大学、東京女子医科大学、獨協医科大学、浜松医科大学、海外の大学

研修プログラムの特色

当院の初期研修プログラムでは、研修医の募集定員を5名と少人数制にすることで、指導医とマンツーマンでの研修を実現しています。初期救急医療からプライマリ・ケアを主とした研修をベースに問診、初期治療の実際から適切な判断能力を身につけられます。第二次救急医療機関として地域医療の一端を担っているため、全科で二次救急を研修できるのが特徴です。臨床研修医の皆さんが経験を積むには最良の環境ですので、最新鋭の設備も導入している当院で臨床研修という大事な時期を共に学び喜びを共有しましょう。

プログラム例 基本コース / 募集定員: 5名

	4~9月	10~12月	1~3月
1年目	内科(28週)		救急科(12週麻酔科含む)
2年目	産婦人科(4週) 精神科(4週) 小児科(4週) 麻酔科(4週)	地域医療(4週)	自由選択(28週)

- ・内科系(一般、消化器、糖尿病、脳神経、腎臓+消化器、循環器) 28週
- ・外科系 12週
- ・救急科 12週 ※麻酔科を4週含んで可(※但し、4週を上限とする)
- ・産婦人科、精神科、小児科、麻酔科、地域医療 4週以上
- ・自由選択科目、選択科目から選択 ※期間割りに沿って研修医を配置する。但し人数により変更することがある。

■ 研修医の処遇

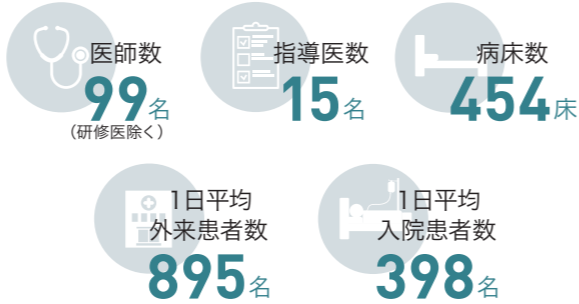
給与	1年目:36万円/月(基本給・調査手当・固定残業代等含む) 2年目:40万円/月(基本給・調査手当・固定残業代等含む)
諸手当	時間外手当、通勤手当(※法人物件入居者は対象外)
保険	TMG健康組合保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
勤務時間	9時00分~17時30分(月曜日~金曜日)
当直	あり/手当:1万円
休暇	土曜日・日曜日・祝日、年末年始、特別休暇(育児・介護)
宿舍	あり(単身用)住宅補助:5万円
その他	診療見舞金制度(グループ病院受診時、月3,000円以上超えた分の診療費支給)、スポーツクラブ、ヘアサロン等の福利厚生制度、学会参加費 年1回のみ病院負担(交通・宿泊)

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

【協力病院】	【協力施設】
・戸田中央総合病院(小児科)	・熱海所記念病院
・戸田中央産院(産婦人科)	・TMG サテライトクリニック朝霞台
・佐々総合病院(産婦人科)	
・菅野病院(精神科)	
・大泉病院(精神科)	
・ハートフル川崎病院(精神科)	

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、小児科、小児外科、外科、消化器外科、呼吸器外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、肛門外科、眼科、循環器内科、脳神経外科、婦人科、麻酔科、形成外科、放射線科、精神科、リハビリテーション科、神経内科、心療内科、救急科、緩和ケア内科、歯科口腔外科、血液内科、糖尿病内科、乳腺外科、小児泌尿器科、病理診断科

■ 主な認定施設

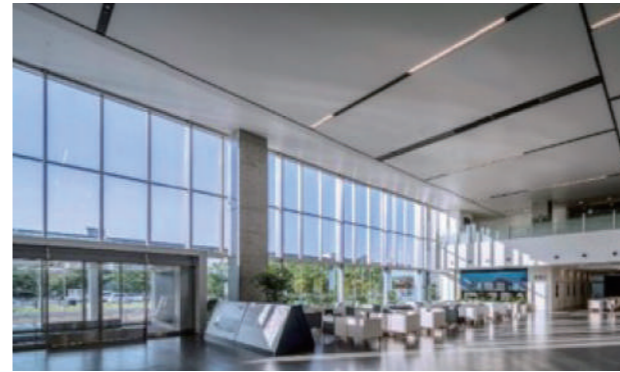
埼玉県がん診療指定病院、日本内科学会教育関連施設、日本脳神経外科学会指定訓練施設、日本救急医学会専門医指定施設、日本整形外科学会認定施設、日本外科学会専門医制度修練施設 他

■ 当院の魅力

TMGあさか医療センターの特徴

昨年度は年間4,992件の救急車を受け入れており、手術件数は年間5,707件です。地域医療に力を注いでおり、埼玉県南西部地域でアクティブに活動している病院です。

特に整形外科・外科・脳神経外科・婦人科の4科は県内トップレベルの診療実績があり、特に脳神経外科に関しては、県内でも1位、2位を争うレベルです。医師・看護師・医療技術部・事務の結び付きが強く、カンファレンスも活発です。当院では救急・専門医療の拡充として、ICU10床、SCUの稼働、てんかんセンターでは患者様を24時間モニタリング検査ができ、外科的治療も可能です。手術室は8室に拡大し、多職種で協力して生命の危機にある患者を24時間体制で対応します。また脊椎内視鏡手術センター最新鋭のアンギオ装置を2台設置、20床個室の緩和ケア病棟、小児病棟といった各部門の強化を図り、幅広い医療が学べる環境です。新病院では地震の被害を低減する「免震構造」を採用し、被害の影響を受けにくい構造となっています。ホスピタルコリドール内には医療ガス設備を設置し、災害時でも医療が継続可能です。



女性医師支援

TMGあさか医療センターでは33名の女性医師が活躍しており、全体比率が33%となっております。研修医の当直は内科・外科・整形外科・脳神経外科にて月4回まで行うことが可能です。また、24時間利用可能な保育室も完備しているため、長期にわたっての勤務にも対応できます。現在も初期臨床研修医10名中3名の女性医師が在籍しており、日々研修に励んでおります。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

当院 HPをご確認ください。



連絡先

病院名 医療法人社団武蔵野会 TMGあさか医療センター
 所属 総務課
 住所 〒351-0023 埼玉県朝霞市溝沼1340-1
 TEL 0570-07-2055(代表)
 FAX 048-466-2059

E-mail asaka_info@tmg.or.jp
 URL http://www.asakadai-hp.jp
 アクセス 武蔵野線 北朝霞駅から徒歩約10分
 東武東上線 朝霞台駅から徒歩約10分

先輩研修医の声

研修医 2年目

横田 悠吾

当院を研修先として決めた最大の理由は雰囲気の良いことです。手術件数や救急車搬送件数など数字で出る指標も研修病院を決める上では大切だと思いますが、私は2年間を過ごす病院の雰囲気が自分に合うかどうかを最重要視しました。私自身まだまだ実際の臨床の現場で戸惑う事も多々あり、気軽に質問や助けを借りることができる当院の雰囲気のおかげで少しずつ成長を実感する日々を過ごしています。指導医の先生方も優しく、医師として基本的な手技や考え方を身につける場として当院を選んで改めて良かったと実感しています。医療従事者や事務等が作り出す病院の雰囲気は見学して初めて分かることです。これから研修先を探す学生の方にはできるだけ多くの病院に見学に行きたいです。その中で自分に合う病院を見つけることが充実した研修生活を始める第一歩になります。

研修医 2年目

渡邊 匠

当院は市中病院ならではの様々な Common Diseaseに多く触れることができます。大学病院との大きな違いは患者様との臨床に対する近さであり、勤務開始早々から臨床現場に立会い、初期研修中に習得すべき様々な手技を学ぶことができます。研修スケジュールは、1年次に自由選択期間が設けられており、マイナー診療科のシーリングが激化している今日において興味のある診療科を回れることはメリットです。また専門知識の豊富な上級医の先生方とも気軽にコミュニケーションが取り、研修医人数も2学年で10名と豊富であることから生活や仕事の悩みまで相談しやすいのも当院の特徴の一つです。将来の方向性が定まっていなくても、やる気があれば多くのことを吸収できる環境です。あさか医療センターを含めて1つでも多くの病院に見学に行き実際の現場を見るのが自分のためになります。



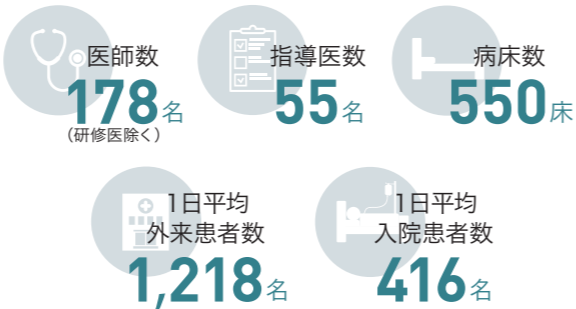


- ▶ 研修医数 1年目 18名、2年目 18名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 137名
- ▶ 研修医の主な出身大学

慶応義塾大学、日本大学、帝京大学、北海道大学、札幌医科大学、東京医科大学、順天堂大学、東北大学、新潟大学、埼玉医科大学、群馬大学、筑波大学、東京慈恵医科大学、京都大学、京都府立医科大学、東北医科薬科大学、岩手医科大学、三重大学、熊本大学、宮崎大学、近畿大学 他

病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 有



診療科

内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、内視鏡内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、内視鏡外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、緩和ケア内科、病理診断科、救急科、総合診療科、歯科口腔外科、血液・膠原病内科

主な認定施設

日本内科学会認定医制度教育病院、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本循環器学会教育認定施設、日本乳癌学会認定施設、日本老年医学会認定施設、日本緩和医療学会認定研修施設

当院の魅力

地域に根ざした中核病院で一緒に忙しく働きましょう!

埼玉病院は、地域医療支援病院・地域癌診療連携拠点病院・循環器病機関医療施設・肝疾患診療地区拠点病院・地域周産期母子医療センターで、地域の中核病院として機能しています。

2018年には200床の新館が完成し550床の病院となりました。また、2021年に救命救急センターを開設しました。埼玉病院は、常に新しいことに挑戦し続ける病院です。研修医の先生方には埼玉病院の一員として現場第一主義で研修していただきます。

地域を支えるやりがいを感じられる病院です。是非、一度見学にいらしてください。



研修責任者
から
メッセージ



副院長/小児・周産期母子センター部長
プログラム責任者

上牧 勇

夜間・休日の救急外来では、2年目研修医を中心として、3~4名の研修医が救急外来の初期対応を担当しています。これは研修の核となる部分で、Common Diseaseから重症疾患まで上級医の指導を受け初期対応を学ぶことになります。2年間やりきった卒業生たちは、自信をもって専門研修に進んでいます。また、当院は職員家族主義のもと病院全体で研修医教育にあたっています。コ・メディカルの方からも是非多くを学んでください。

症例検討会・抄読会・学会発表などの機会も豊富で、プレゼンテーションの指導も行っています。熱心な指導とともに研修生活をスタートさせてみませんか。やる気のある皆さんをお待ちしております。

先輩研修医
の声



研修医1年目 (2024年度入職)

萩原 明日香 (基本コース)

私が埼玉病院を選んだ理由の一つは、病院全体の雰囲気の良いことです。見学の際に、患者さんや職員の方を家族のように大切に「家族主義」の理念のもと、全員が笑顔で挨拶しあう様子を見て、人の温かさを感じることができました。医師として初めの2年間で、知識や経験を身につけることができるだけでなく、人間性も育てることができる病院だと思います。また、当院には入職後にオリエンテーションがあり、実際に現場に出る前に、カルテの使い方からルートの取り方まで一つ一つ丁寧に教えてもらえます。オリエンテーション終了後も職員間の垣根を超えて気軽にコミュニケーションを取り合うことができる環境なので、何かあればすぐに質問することができ、安心して充実した研修生活を送ることができます。明るく優しい先輩方と一緒にお待ちしております。



研修医1年目 (2024年度入職)

佐久間 萌音 (産婦人科コース)

雰囲気がいい! それが私の埼玉病院に対する第一印象でした。安心して学び、研修できる場を探していた私は、ここで働きたいという思いが高まりました。初期研修では、志望科の専門性だけでなく基本的な診療能力も堅実に身につけて、救急科や総合診療科での充実したプログラムは非常に魅力的でした。また、埼玉病院では各コース選択期間が豊富で、将来を見据えたローテーションを決定することもできます。産婦人科コースでは4月から産婦人科で研修し、分娩や手術・診察・科当直などに触れることができるので、早い段階から将来のビジョンを立たい人にはおすすめです。プログラムの柔軟性・病院全体の雰囲気の良い・基本的な診療能力を育むことができる環境、このような点を大切にしたいと思う方は是非一度見学にきてください。ここではお伝えしきれない魅力をお教えします!

研修プログラムの特色

基本コース: 基本コースでは内科・外科・小児科・産婦人科・救急科・精神科・地域・麻酔科が必修です。救急外来では、年間5,000件を超える救急車の受け入れがあり、そのファーストタッチは研修医が担当します。将来どの診療科に進んでも怖くない救急の知識と度胸が身につきます。また、年間通して抄読会や症例検討会が行われ、国立病院学会、埼玉県医学会その他の学会発表を通して、学会発表の指導も受けられます。小児科コース・産婦人科コース: 小児科または産婦人科希望者を対象としています。4月から主科で研修を開始することで、その後、将来をイメージしながら他科での研修ができるようになっています。2年目には大学病院などの専門病院やクリニックで研修し、視野を広げられるようにしています。すでに小児科や産婦人科と決めている方にはお勧めです。外科コース: 将来外科を専門として志望している方を対象とします。他のコースと同様に研修医に必要なプライマリ・ケアを身につけるのはもちろん、消化器外科・心臓血管外科・呼吸器外科・乳腺外科・小児外科の各分野を必修でローテーションし、外科の基本手技・知識を習得します。スムーズに外科専門研修に移行でき、専門医取得に大変有利なプログラムです。

プログラム例 基本コース / 募集定員: 10名

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
1年目	内科系(32週)								麻酔科(6週)	外科(4週)	救急科(6週)	小児科(4週)	
2年目	精神科(4週)	地域(4週)	産婦人科(4週)	選択科目(40週)									

○基本コース:募集定員10名 ○小児科コース:募集定員2名 ○産婦人科コース:募集定員2名

○外科コース:募集定員2名 ○内科コース:募集定員2名

研修医の処遇

給与 1年目:年間見込490~579万円(宿日直・諸手当含) 2年目:年間見込530~654万円(宿日直・諸手当含)
 諸手当 通勤手当
 保険 第二共済組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、厚生年金基金等企業年金なし、医師賠償責任保険(病院において加入なし)
 勤務時間 8時30分~17時15分
 当直 あり(4~5回/月)
 休暇 有給休暇/年23日(リフレッシュ休暇3日含)
 宿舍 あり
 その他 健康診断年2回、インフルエンザ予防接種無料、身分:初期臨床研修医(期間職員)

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 慶應義塾大学病院
- 日本大学板橋病院
- 日本大学病院
- 大泉病院
- 勝海外科
- 天野医院
- 秩父市立病院
- 大塚産婦人科小児科医院
- 朝霞中央クリニック 他



女性医師支援

- 産前休暇 (6週間)
- 産後休暇 (8週間)
- 育児休業制度
- 院内保育園 (0歳から)



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学の申込みは、随時受付しております。詳しくはHPをご覧ください。



当院 X(旧 Twitter) ではイベント情報・試験情報などをいち早くお届けしております。

X(旧 Twitter) : https://twitter.com/NHO_SaitamaHosp

連絡先

病院名 独立行政法人国立病院機構 埼玉病院
 所属 医療支援室 研修医事務担当
 住所 〒351-0102 埼玉県和光市諏訪2-1
 TEL 048-462-1101(代表)
 FAX 048-464-1138

E-mail 209-isikensyukengaku@mail.hosp.go.jp

URL <https://saitama.hosp.go.jp/>

アクセス 東武東上線 成増駅より東武バス・西武バスともに7分



- ▶ 研修医数 1年目 2名、2年目 3名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 11名
- ▶ 研修医の主な出身大学

秋田大学、宮崎大学、信州大学、弘前大学、東邦大学、順天堂大学、香川大学、杏林大学、北里大学、獨協医科大学、山梨大学、帝京大学、筑波大学、新潟大学、鹿児島大学、東京大学、日本医科大学、東京医科大学、旭川医科大学

研修プログラムの特色

当院では、プライマリ・ケアをしっかり研修するために、内科7ヶ月・救急科2ヶ月・麻酔科2ヶ月を1年目に集中して行います。内科系は一般(呼吸器、膠原病、腎臓、神経、血液)・消化器・循環器・糖尿病など、幅広い領域で指導を受けられます。外科系は一般(消化器、呼吸器)と脳神経外科は全身を診れる力を養うために必修として、整形外科・泌尿器科・皮膚科・形成外科・眼科・耳鼻咽喉科・婦人科・緩和科・放射線科(診断)で指導が受けられます。小児科・産婦人科・精神科・地域医療は、協力医療機関で研修が受けられます。原則、各診療科一人研修ができるように少人数制をとっており、濃厚な指導が保証されます。また、自由選択の診療科はいつでも変更でき、長期間の研修も可能です。

プログラム例 新座志木中央総合病院初期臨床研修プログラム(募集定員3名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科 (28週)				救急科・麻酔科 (16週)				外科 (4週)			
2年目	脳神経外科 (4週)	産婦人科 (4週)	精神科 (4週)	地域医療 (4週)	小児科 (4週)	自由選択						

- ・内科と一般外来研修は平行研修となります。
- ・内科ローテーション例(一般→糖尿病→循環器→消化器)
- ・救急科に麻酔科研修を含みます。

■ 研修医の処遇

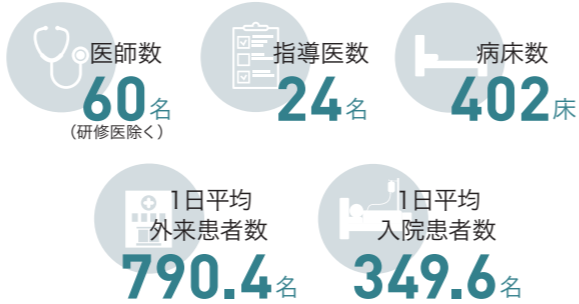
給与	1年目:36万円/月、2年目:40万円/月
諸手当	通勤手当
保険	組合健保(TMG健康保険組合)、厚生年金保険、雇用保険、労災保険あり、厚生年金基金等企業年金なし、医師賠償責任保険(病院において加入)
勤務時間	9時00分~17時30分
当直	月4回、原則週1回
休暇	4週8休+祝日、有給休暇(1年目:10日、2年目:11日)
宿舍	あり(住宅手当は病院規定による)
その他	保育所あり

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・戸田中央総合病院(小児科)
- ・成増厚生病院(精神科)
- ・戸田中央産院(産婦人科)
- ・菅野病院(精神科)
- ・佐々総合病院(産婦人科)
- ・まちだ訪問クリニック(地域医療)

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、小児科、外科、肛門科、消化器外科、呼吸器外科、整形外科、リウマチ科、脳神経外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科、救急科、放射線科、腎臓内科

■ 主な認定施設

日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本循環器学会認定循環器研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本整形外科学会研修施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本消化器病学会認定施設等(ホームページ参照)

■ 当院の魅力

少人数制だから出来る、あなたにぴったりの研修プログラム

当院は、埼玉県南西部70万人の医療圏において、高度な急性期医療から地域に密着した予防(健診)、在宅医療を行う地域の基幹病院です。医療設備の高度化、患者様のアメニティーに配慮した環境、職員の知識・技術・人間性の向上、思いやりのある質の高い医療、地域医療機関との密接な連携、行き届いた管理体制による効率的な医療などを行動の基幹として、皆様に心から信頼される病院を目指して、24時間救急体制で全力を尽くしております。

また、当院は戸田中央メディカルケアグループ(TMG)に属しており、臨床面に於いてもスケールメリットを活かした病院運営を展開し、各大学病院と連携し医療レベルの向上に努めております。

- 当院での研修メリット-
- ・少人数制なので、必修項目以外は研修医の自由裁量で好きな診療科を好きな期間研修できます
- ・全職種との垣根が低く、良好なコミュニケーションを形成することができます
- ・医療秘書課、病棟・外来クラークが十分に整備されており、雑用が少なく知識、技術の習得に専念できます
- ・大学医局派遣の医師も多く、大学での教育に準じた研修ができます
- ・戸田中央メディカルケアグループ学会、院内の検討会で学術発表の経験を積めます



女性医師支援

当院では、常勤医師の約23%にあたる女性医師が活躍しております。当直業務に関しても、体力面や子育て支援を考慮し希望制としております。また保育室も完備し、安心して働くことができます。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時行っております。ご希望の方は、電話またはメールにて氏名・大学名(学年)・見学希望日・見学希望診療科などを担当までご連絡ください。



氏名、大学名(学年)を明記し、希望日、診療科を第三希望までご教示いただくようお願いいたします。

連絡先

病院名 医療法人社団武蔵野会 新座志木中央総合病院
 所属 臨床研修担当
 住所 〒352-0001 埼玉県新座市東北1-7-2
 TEL 048-474-7211(代表)
 FAX 048-472-7581

E-mail y_watanabe2@tmg.or.jp
 URL http://www.niizashiki-hp.jp
 アクセス 東武東上線 志木駅より徒歩7分

研修責任者からメッセージ



副院長/研修プログラム責任者
松浦 直孝

当院は、軽症から重症まで、また救急から介護度の高い人や訪問診療まで、全ての患者様に対応しており、病気のほとんどを占めるCommon Diseaseを十分に経験できます。少人数制であるため回る診療科をいつでも変更でき、興味のある診療科を長く回ることできます。また、採血・点滴当番などのDUTYがないので、他の研修医に気兼ねなく勉強したい手術や手技についたり、休みをとることも可能です。さらに他職種との垣根が低くチーム医療が実践できます。研修医に対して希望することは以下の5項目です。

- ①積極的に研修に取り組むこと
 - ②患者・家族との対話を大事にして、全人的医療を実践すること
 - ③コ・メディカルとのチーム医療を大事にすること
 - ④医療の果たすべき社会的役割を認識すること
 - ⑤病院の行事に積極的に参加すること
- 2年間の臨床研修が充実したものになるよう、お互いに頑張りましょう。

先輩研修医の声



研修医 2年目

私が思う当院の魅力は大きく2つあると思います。1つ目は、少人数制の研修であることです。ローテートする診療科を希望に応じて柔軟に変更することができ、また個人の積極性に応じて多くの診療や手技に携わることのできるため、自由度の高い充実した研修を行うことができます。2つ目は、コ・メディカルとの距離が近いことです。看護師・薬剤師の方々を始めとして医療スタッフ同士の連携が強く、チーム医療の一員としての役割も学ぶことができます。

研修医 1年目



当院は研修医が3人と少人数制のため、非常にフレキシブルにローテーションを組むことが可能です。また、指導医の先生方コ・メディカルの方々の距離が近いので、早くからチーム医療に携わることができます。教育的で相談しやすい先生方のもと充実した研修ができる当院にぜひ見学にいらしてください。

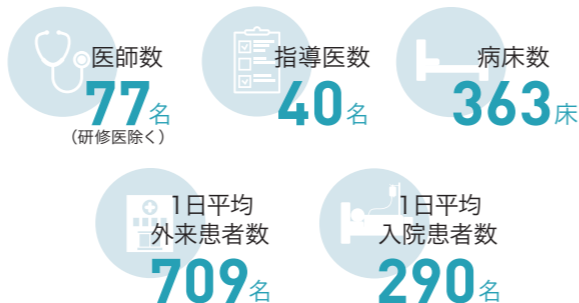


- ▶ 研修医数 1年目 7名、2年目 7名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 33名
- ▶ 研修医の主な出身大学

日本大学、産業医科大学、群馬大学、筑波大学、信州大学、新潟大学、弘前大学、浜松医科大学、国際医療福祉大学、順天堂大学

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

内科、循環器内科、血液内科、呼吸器内科、神経内科、消化器内科、糖尿病・代謝内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、精神神経科、放射線科、麻酔科、ペインクリニック内科、病理診断科、歯科口腔外科

■ 主な認定施設

地域がん診療連携拠点病院、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本緩和医療学会認定研修施設、日本内科学会認定医教育関連施設、日本外科学会専門医制度修練施設、地域周産期母子医療センター、災害時連携病院

研修プログラムの特色

限られた期間に、現在社会的にも要望され、将来どのような専門科に進むにしても必要となる幅広いプライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につけるための選択科目を重視しています。

- ①地域医療は、診療所（外来診療・在宅・デイケア）、緩和ケア、回復期リハビリ病棟、特別老人介護施設等、多様な研修の組み合わせが可能です。
- ②選択科目の診療科は重複も可能です。選択する分野については、プログラム責任者及び選択する分野の指導責任者と研修医間で相談し決定します。
- ③救急医療は内科、外科研修時及び日・当直業務で随時経験できます。また、救急車同乗など救急医療を重視しています。

プログラム例 春日部市立医療センター臨床研修プログラム / 募集定員：7名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科（呼吸器・循環器・消化器・糖尿病・総合・神経・血液）（24週）						救急部門（12週）→外科（6週）→産婦人科（6週）					
2年目	小児科（4週）	選択（6週）→地域医療精神科（各4週）		選択（30週）								

必修科目：内科24週、救急部門12週（麻酔科4週上限）、外科6週、小児科4週、産婦人科6週、精神科4週、地域医療4週、一般外来4週
 選択科目：内科（呼吸器・循環器・消化器・糖尿病・総合・神経・血液）、外科、麻酔科、小児科、産婦人科、脳神経外科、整形外科、呼吸器外科、泌尿器科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、検査科、精神神経科
 ※一般外来については、内科、外科、小児科、地域医療のブロック研修中に計4週並行して研修を実施する。
 （内科/外科2.0週、小児科0.4週、地域医療1.6週）

■ 研修医の処遇

給与	1年目：410,552円/月、2年目：430,952円/月	勤務時間	8時30分～17時15分
諸手当	当直手当 21,000円/回	当直	あり（基本4回まで/月）
保険	埼玉県市町村職員共済組合 厚生年金、雇用保険 労災保険・公務災害 医師賠償責任保険（病院において加入）	休暇	土・日曜・祝日 年末年始、夏休、有給休暇20日/年
		宿舎	なし
		その他	住宅助成あり ※市内居住の場合、上限45,000円/月

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
- 医療法人 春明会 みくに病院
- 日本大学医学部附属板橋病院
- 独立行政法人 国立病院機構 東埼玉病院



■ 当院の魅力

整った環境で充実した研修を！

当院は、2016年7月に新築移転し、延べ床面積を旧病院のおよそ1.5倍に広げ、手術・画像診断・内視鏡・救急の各部門を拡充いたしました。ICU・CCU・NICUの集中治療室や重症観察室に加え、緩和ケア病棟を設置して各部門の強化を図っています。

更に、埼玉県東部医療圏の中核的な医療機関として、地域がん診療連携拠点病院としての充実・強化のため、内視鏡下手術支援装置（ダビンチ）・高精度放射線治療装置（リニアック）・がん細胞を見つけるPET-CT・SPECTなど最新の高度医療機器を導入、更新しています。

院内には医局とは別に研修医室があるので集中して学ぶことができます。医局内にはラウンジがあるので上級医とのコミュニケーションが図りやすいです。その他、綺麗な宿直室・院内コンビニエンスストアもあり、充実した研修医生活を送れる環境が整っています。

上級医と研修医との風通しが良く、また医師以外の医療職員ともコミュニケーションが図られているので、病院見学に来られた方からは雰囲気良かったとの感想をいただいています。

是非一度、見学にお越しください。



女性医師支援

《女性医師からのコメント》

男性が多い職場ですが、産前産後育休期間中も、周囲の医師の方々の御支援をいただき、産後半年で無理なく常勤として復帰する事ができました。復帰後の職場も、忘れかけていた知識の再勉強の場として新患外来の枠をいただいたり、当直免除や勤務時間の短縮など御配慮いただき、女性医師にとっても働きやすい病院です。

また、ベテラン保育士による院内保育も完備され、多くの職員も利用しています。コ・メディカル含め、皆仲が良く楽しい雰囲気の職場です。ぜひ一度、病院見学にいらして下さい。

- ・ 出産休暇制度、育児休暇制度等あり
- ・ 院内保育所完備



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・ 病院見学は随時開催しております。
- ・ 病院見学を希望される方は、まず下記担当までご連絡ください。



連絡先

病院名 春日部市立医療センター
 所属 総務課 総務担当
 住所 〒344-8588 春日部市中央6丁目7番地1
 TEL 048-735-1261（代表）
 FAX 048-734-2471

E-mail somu-hos@city.kasukabe.lg.jp
 URL http://www.kasukabe-cityhp.jp
 アクセス 東武スカイツリーライン春日部駅から徒歩約10分

研修責任者 から メッセージ



臨床研修管理委員長（診療統括部長）

河野 通

当院に興味を持っていただきありがとうございます。

研修医の定員が7人であるため多くの手技や手術症例を経験することができます。基本的に時間外勤務はありません。当直は月に4回までです。十分な年休や夏季休暇が確保されています。給与は近隣の研修施設の中では良い方です。各診療科間のコミュニケーションは良く、また、先輩研修医が後輩研修医の面倒を良くみてくれます。文献検索サイトの契約や予算も十分準備されています。交通の便もよく、都内には1時間程で出ることができます。

一方、内科の診療科に腎臓内科と膠原病内科がないためその領域の症例経験は少なくなってしまいます。救命救急センターがありませんので三次救急疾患を経験することはほとんどありません。

春日部市立医療センターはこんなところですが気軽に見学に来ていただき、気に入ったら一緒に働きましょう。

先輩研修医 の声

研修医 2年目

鳴海 優佳



春日部市立医療センターの最大の魅力は、上級医の先生やコ・メディカルを含めとても雰囲気が良く、わからないことがあればすぐに相談しやすい環境にあることです。先生方からの手厚い指導により多くのことを学ぶことができます。また、研修医の数が1学年7人と少人数のため早くから基本的な手技を一通り経験することができます。ぜひ一度見学にお越しいただき、実際の研修の様子や病院の雰囲気を感じていただきたいです。

研修医 1年目

根岸 駿太郎



春日部市立医療センターでの研修は、バランスよく学び、働きたい方におすすめです。

当院は春日部市の中核を担う総合病院であり、まんべんなく幅広い症例に触れることができます。当直を含め、救急外来での研修医の裁量が大きいことも特徴の一つです。

手技については、メジャーなものを多く、かつ早い時期から経験できます。初めはわからないことばかりですが、上級医の先生方や研修医の先輩に質問しやすい風土があるので心配はいりません。見学でお会いできることを楽しみにしています。

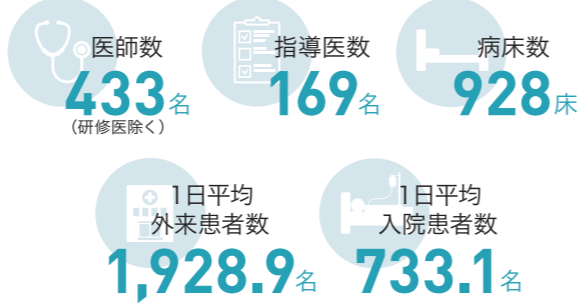


- ▶ 研修医数 1年目 46名、2年目 47名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 220名
- ▶ 研修医の主な出身大学

獨協医科大学、愛知医科大学、秋田大学、鹿児島大学、金沢医科大学、川崎医科大学、北里大学、杏林大学、群馬大学、高知大学、埼玉医科大学、佐賀大学、産業医科大学、順天堂大学、昭和大学、聖マリアンナ医科大学、筑波大学、帝京大学、東京医科大学、東京女子医科大学、東邦大学、日本医科大学、日本大学、宮崎大学、国防医学院（台湾）ほか

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

糖尿病内分泌・血液内科、呼吸器・アレルギー内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、小児科、こころの診療科、皮膚科、総合診療科、外科、整形外科、心臓血管外科、呼吸器外科、産科婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科、乳腺科、救急医療科（救命救急センター）、麻酔科、臨床検査部、放射線科、病理診断科、リハビリテーション科、集中治療科、小児疾患治療センター、子どものこころ診療センター、リプロダクションセンター

■ 主な認定施設

日本医療機能評価機構認定病院、三次救急指定病院、災害拠点病院（埼玉DMAT指定病院）、地域がん診療連携拠点病院

■ 当院の魅力

県内最大規模の病院です！
他大学出身者多数！

当院は交差する二つの路線、JR南越谷駅と東武スカイツリーライン新越谷駅から徒歩3分程の場所に位置し、交通の便が極めて良いところ。病床数は病院全体で928床と県内最大規模で、手術室も22室あり、最先端の機器を導入しています。県内外から多くの患者さんが訪れ、大学病院でありながら地域医療を支える役割も担う、埼玉県東部の中核病院です。

研修プログラムは、一般プログラムの他に小児科・産科婦人科・外科系のプログラムを備えています。希望履修科目選択期間では、当院および獨協医科大学病院・日光医療センターが標榜するすべての診療科・部のどれをも選択することができ、ローテーションの順番も、できる限り皆さんの希望に添えるよう調整しています。将来進みたい診療領域が決まっていなくても、既に決まっている方でも、研修期間でしか経験できない、あらゆる科目の知識に触れることができるプログラムです。

研修医の出身大学は様々ですが、出身や年齢にかかわらず、和気あいあいと語り合い、切磋琢磨しています。オン・オフをうまく切り替えながら、のびのびと研修している研修医が多いのも、当院の特徴です。



女性医師支援

当院では女性医師支援センターを設置しており、女性医師が働きやすい環境づくりを目指しています。学内外の女性医師、研究者同士との情報交換を通じ、医師としてのキャリア継続に役立つよう努め、病院全体における男女共同参画の啓発活動にも力を注いでいます。隣接した保育所もあり、延長保育や、週3回24時間保育も実施しているので、育児をしながらでも安心して研修できます。

他に、初期研修終了後には育児短時間勤務制度が利用できます。専任教員やレジデント（後期研修・専攻医）の身分を保有したまま、週20時間の短時間勤務が申請でき、各医局での柔軟な勤務が可能となります。また、保育所利用などを含め、勤務継続のための相談や、短時間勤務経験者からアドバイスをもらいたい場合、女性医師支援センターが窓口となり、先輩医師に取りつぐことも可能です。

（女性医師支援センターサイト：
<https://dept.dokkyomed.ac.jp/dep-k/jyoseishi-k/>）

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学のお申込み手順

- ①下記 URLよりサイトへアクセス
- ②メールフォームにてお申込み

※見学は随時受け付けております。詳細はお問い合わせください。

連絡先

病院名 獨協医科大学埼玉医療センター
所属 臨床研修センター事務局
住所 〒343-8555 越谷市南越谷2-1-50
TEL 048-965-7842(直通)
FAX 048-965-9356
E-mail k-kenshu@dokkyomed.ac.jp
URL <https://dept.dokkyomed.ac.jp/dep-k/kenshu/>
アクセス JR武蔵野線南越谷駅・東武スカイツリーライン新越谷駅から徒歩3分

研修責任者
から
メッセージ



臨床研修センター長
松島 久雄

当院は埼玉県越谷市に位置し、埼玉県東部地域の基幹病院として地域医療の重要な役割を担っております。病床数は928床、手術室は22室と県内最大規模です。大学病院でありながら市中病院のような研修が魅力的であり、2023年からはプライマリケアを身につけるための研修もスタートしました。臨床能力のみならず、医師としての基本的価値観を身に付けることを目的とした、一般、小児科、産科婦人科、外科系プログラムの4つのプログラムを運用しています。丁寧な指導、精神面でのサポート、充実したカンファレンス、off the jobトレーニングなど要望に応じて Up to Dateな研修を心がけています。都心へのアクセスが良く、学会参加や休日のリフレッシュにも適した環境です。獨協医科大学埼玉医療センターで充実した卒後研修をお勧めします。

先輩研修医
の声

研修医 1年目

王谷 颯来



獨協医科大学埼玉医療センター研修医1年目の王谷です。当院はすぐ近くに駅があり、住宅地の中にあることから多くの方が来院されます。また大学病院でもあり、症例も手技も幅広く経験できるのが魅力です。同期も多くおり先生方も優しく教えて下さる人が多いので、人間関係のストレスも少なく充実した2年間を送ることができると思います。興味のある方はぜひ病院見学へお越しください。研修医一同お待ちしております。

研修医 1年目

秦 健登



獨協医科大学埼玉医療センター研修医1年目の秦健登です。当院の魅力は大学病院のアカデミックな側面を持ちながら、市中病院のように手技を豊富に行うことができる点です。50人程度の同期がいて様々な大学から集まっており、医師同士の人脈が広がることもこの病院の強みだと思います。指導医の先生も優しく、興味のある科に力を入れて頑張るなど、自分に合ったペースで研修生活を行うこともできます。雰囲気を感じるためにもぜひ病院見学へお越しください。



研修プログラムの特色

1. 厚生労働省が掲げる研修理念を実現し、医師としての診療能力を幅広く身に付けるため、プライマリ・ケア修得を各カリキュラムの基本としている
2. プライマリ・ケア修得を目的とした研修を 2023 年度より新たにスタートした
3. 必修科目履修では、同省が定める到達目標の確実な達成を図っている。希望履修選択期間には標榜する診療科のすべてを選択できるとともに、同時期に獨協医科大学病院・日光医療センターで標榜する診療科も選択研修可能。また、小児科、産科婦人科や外科系に特化したプログラムも設けている
4. 専門・高度医療を実践するためのミニワーク・カリキュラムを重層的に備えている
5. 臨床研究の基礎トレーニングができる
6. 医師としてのキャリア構築につながる

プログラム例 一般プログラム(募集定員38名)

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
1年目	内科						救急部門		外科		麻酔科		
2年目	小児科	産科婦人科	精神科	地域医療	希望履修選択科目								

※当院は「月単位」でローテーションを実施しており、上記図式と一部異なる場合があります。

- ・ローテーション順は各自によって異なります。詳細はお問い合わせください。
- ・その他 小児科プログラム(定員: 2名) 産科婦人科プログラム(定員: 2名) 外科系プログラム(定員: 8名)

■ 研修医の処遇

給与	34万円/月(一律支給) ※月額には時間外手当8万円分を含む	勤務時間	8時50分～17時10分
諸手当	当直手当	当直	あり(4回程度/月)
保険	日本私立学校振興・共済事業団(公的医療保険/公的年金)、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険(施設限定)加入	休診日	第3土曜日・日曜日、国民の祝祭日、開学記念日、年末年始
		休暇	有給休暇(1年目: 15日間、2年目: 17日間) ※年5日間のフレックス休暇を含む
		宿舎	あり(有料)
		その他	学会、研究会への参加費用支給、定期健康診断、採用時健康診断、各種予防接種 他

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・獨協医科大学病院
- ・獨協医科大学日光医療センター
- ・春日部厚生病院
- ・東埼玉総合病院
- ・新越谷病院
- ・深谷赤十字病院
- ・久喜すずのき病院
- ・順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
- ・越谷ハートフルクリニック
- 他 5施設



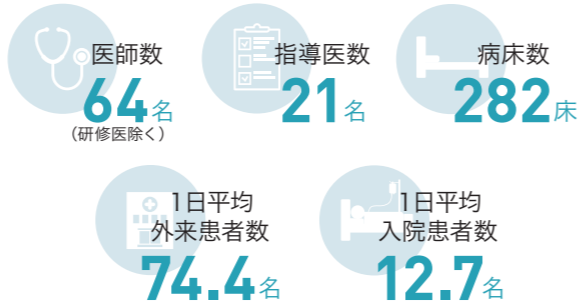


- ▶ 研修医数 1年目 7名、2年目 7名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 11名
- ▶ 研修医の主な出身大学

岐阜大学、東海大学、鳥取大学、日本医科大学、中国医科大学、東京慈恵会医科大学、東邦大学、和歌山県立医科大学、近畿大学、東京大学、東北大学、金沢大学、帝京大学

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 有



■ 診療科

内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、内分泌代謝科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、肛門外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、精神科、リハビリテーション科、麻酔科、消化器外科、救急科、病理診断科

■ 主な認定施設

日本糖尿病学会認定教育施設、日本内分泌学会認定教育施設、日本腎臓学会研修施設、日本プライマリ・ケア連合学会認定研修施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設

■ 当院の魅力

研修プログラムの特徴

1年目の総合内科の研修は連続して4ヶ月の研修を行うことで、入院から退院まで多くの症例を一連で経験することができます。

また、整形外科を必修としています。地域病院として腰痛や関節痛を訴える患者さんが多く、プライマリ・ケアの部分で今後の専門分野によらず、初期研修のうち2ヶ月は経験してほしい、との思いから必修として組み込んでいます。

2年目の地域医療研修は3ヶ月を必修とし、都内100床規模の協力型病院で地域に密着した研修として組み込んでおり、外来診療や訪問診療を通じてプライマリ・ケアを学ぶ機会としています。

外来研修は、1年目後半の8ヶ月と地域医療の3ヶ月で週1単位の外来枠を持つようにしているため、初診の患者さんや慢性疾患の管理を継続的に学ぶことができます。

研修指導の特徴として、指導専任の医師を配置しています。総合内科は週2回、救急は週1回、それぞれベッドフリーの指導専任医が指導にあたっています。指導医がベッドを受け持っている、どうしても忙しいタイミングなどで相談しにくい場面も出てきますが、指導専任医を配置することで、ショートプレゼンなどを通じてコンサルトを行ったり、じっくりと時間をかけて問題解決を行うことができます。



女性医師支援

子育て中の方は、当直や勤務時間についてはプログラム修了を目指して相談に応じます。

- ・院内保育…ここに保育園では、0～3歳児までのお子さんをお預かりできます。時差にも対応し、安心して働ける保育体制を整えています。
- ・病児保育…0～9歳までのお子さんをお預かりできます。(感染症又は感染症疑いは除く)

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

当院は平日随時・希望内容相談・交通＆宿舎補助ありで受け入れています。まずは下記までお問い合わせください。

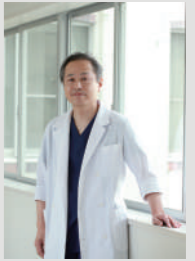


web 研修説明会を平日の希望日時に開催しています。詳しくはホームページをご覧ください。

連絡先

病院名 みさと健和病院
所属 医局事務室 医学生担当
住所 〒341-8555 三郷市鷹野4-494-1
TEL 048-955-7171 (代表)
FAX 048-948-0007
E-mail gakusei@kenwa.or.jp
URL http://gakusei.kenwa.or.jp/
アクセス JR/新成松戸駅よりバス12分
JR/京成金町駅よりバス15分
つくばエクスプレス三郷中央駅よりバス12分

研修責任者からメッセージ



みさと健和病院院長/初期研修プログラム責任者

岡村 博

私たちはずっと初期研修を大切にしてきました。1994年に臨床研修病院の指定をうけましたが、それ以前より研修医を受け入れてきました(私もその一人です)。当時、大学病院が主流の中、最小の病床数で指定を受けることができたのは、外来研修や往診研修など、地域に密着した医療そのものの研修が認められたのだと思います。研修制度に移行後、このような地域病院ならではの研修を大切にしつつ、必修科目を網羅するプログラムを作ってきました。

どんな医師になりたいのか、自分の進むべき方向を決める時期が初期研修期間であり、臨床研修病院はその手助けをしてくれるところです。初期研修の目標は医療技術の獲得だけではなく、チーム医療の実践、患者さん目線の思考、取り巻く環境への配慮など、bio-psycho-socialといわれる複合的な問題解決能力の獲得も含まれます。

地域の人たちの健康を守り、病める人たちの支えになりながら、実は自分たちも成長させてもらっているのです。臨床研修というものはずっと続いていくものであり、そういう視点を大切にしながら、常に on the job trainingの気持ちを持ち続けたいものです。

先輩研修医の声



初期研修医 2年目

小池 悠太郎

生活環境・経済的背景に関わらず、地域の一人でも多くの患者さんに平等に医療を届けることができる病院の基本理念に惹かれて当院を志望しました。

上級医の先生方をはじめ、看護師や薬剤師などコ・メディカルの方々もとても丁寧に指導してくださるので、分からないことや不安に思っていることを都度相談できる環境はとてもありがたいと感じています。研修医にただ裁量権を与えるだけではなく、その判断一つ一つを振り返り、指導していただける環境に大変魅力を感じています。

研修プログラムの特色

みさと健和病院は大都市近郊の埼玉県三郷市にあり、第二次救急医療を担う中核的医療機関です。研修理念を「良識のある社会人、思いやりのある医療人としての成長を促す。将来の専門にかかわらず、医師としての基本的な診療能力と学習能力を習得できるように援助する」と掲げ、地域第一線医療機関でのプライマリ・ケア、在宅医療の先駆的実践、総合診療を中心とした内科研修、必修としている整形外科研修、外来研修、往診研修などに力を入れています。

三郷市は近くに大規模な医療機関が少ないこともあって、当院は老人はもちろん若青年・婦人・小児をめぐる多様な疾患の医療を担っています。特に、第二次救急における当直研修などを通じて、救急疾患・外傷の初期対応の習得もできる事が特徴です。

プログラム例 卒後臨床研修 地域医療総合プログラム / 募集定員: 8名

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週
1年目	総合内科 (2ヶ月)		外科 (2ヶ月)		総合内科 (4ヶ月)				救急 (2ヶ月)		整形外科 (2ヶ月)	
2年目	小児科 (1ヶ月)	産婦人科 (1ヶ月)	精神科 (1ヶ月)	地域医療 (3ヶ月)			救急 (1ヶ月)	選択 (5ヶ月)				

- ・ローテーションは順不同です。
- ・外来は年間を通して並行研修で行います。
- ・都市型中小病院での導入研修も選択できます。
- ・必修科目(内科計6ヶ月、外科2ヶ月、整形外科2ヶ月、救急2～3ヶ月+救急外来・当直研修4週、地域医療3ヶ月、小児科1ヶ月、産婦人科1ヶ月、精神科1ヶ月)
- ・選択科目(上記科に加えて、内分泌内科、消化器内科、泌尿器科、麻酔科、病理科、皮膚科、その他外部病院での選択科あり)

■ 研修医の処遇

給与	1年目:355,050円/月、2年目:406,600円/月 ※全て住宅・固定時間外手当込み	勤務時間	8時30分～17時30分 当直 あり(2～3回/月)
諸手当	当直手当(時間外手当として支給) 家族手当(最初の1名12,000円、以降1名につき8,000円)	休暇	完全週休2日制(土日祝日勤務の場合代休あり) 夏期休暇(5日間)、年末年始休暇(5日間) 年次有給(1年目:10日、2年目:14日) 特別休暇、時間有給休暇他あり
保険	組合健保(東京医療健保組合) 厚生年金保険 雇用保険あり 労災保険適用 厚生年金基金等企業年金なし 医師賠償責任保険(病院において加入)	宿舎	希望者は病院徒歩2分の寮に入寮可
		その他	・給与は住宅・固定時間外手当込み ・法人独自の共済制度あり ・学会保障あり (費用:年間10万円まで、日数:年間7日まで) ・採用された研修医に対し、月の給与額を上限として引越し料金を支給

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- 松戸市立総合医療センター
- 東京女子医科大学病院東医療センター
- 柳原病院
- 豊島病院
- 東京都健康長寿医療センター
- グループ内医療機関多数



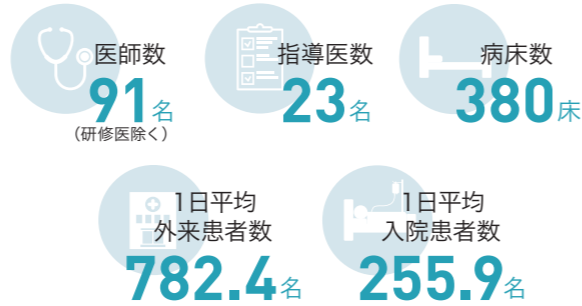


- ▶ 研修医数 1年目 10名、2年目 8名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 48名
- ▶ 研修医の主な出身大学

大阪医科薬科大学、杏林大学、群馬大学、筑波大学、東海大学、東京医科歯科大学（現：東京科学大学）、東京医科大学、東京女子医科大学、東北大学、獨協医科大学、山形大学

病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



診療科

内科、血液内科、内分泌・代謝内科、膠原病内科、腎臓内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、小児科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、眼科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、精神科、救急科、病理診断科、緩和ケア科

主な認定施設

日本医療機能評価機構認定病院（3rdG:Ver.2.0）、災害拠点病院、救急告示病院

当院の魅力



年間5,000件以上の救急搬送受入

当院が位置する草加市は東京都足立区に隣接し、若い世代の多く住む人口約25万の街です。当院は地域で唯一の総合病院機能を持つ中核病院であり、様々な疾患が多く集まります。診療科も27科と充実し、多くが学会研修認定を受けています。関連大学である東京医科歯科大学（現：東京科学大学）と連携した医療チームを形成し、これまで大きな成果をあげてきました。特に救急医療に力を入れており、内科系・小児科系・外科系・循環器内科系・脳神経外科が連日当直しており、毎年約5,000件以上の救急搬送を受け入れています。



女性医師支援



草加市立病院では心臓・脳血管センター5階に院内保育室を設置し、医療スタッフの0歳から就学前までの乳幼児を保育しています。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学：随時受入可能(事前予約)。詳細は当院ホームページをご確認ください。



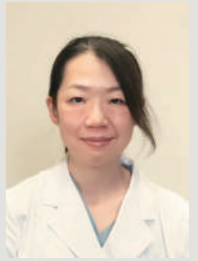
連絡先

病院名 草加市立病院
 所属 事務部経営管理課
 住所 〒340-8560 埼玉県草加市草加2-21-1
 TEL 048-946-2200(代表)
 FAX 048-946-2211

E-mail soka-hosp2200@max.odn.ne.jp
 URL https://www.soka-city-hospital.jp/
 アクセス 東武スカイツリーライン草加駅から徒歩18分、バス5分

研修責任者からメッセージ

プログラム責任者
 小澤 直子



当院では、研修医を当院で単独採用するほか、東京医科歯科大学（現：東京科学大学）の協力型病院として1年目は4人、2年目は2人引き受けしており、適切な人数での研修ができます。また、常勤医師数は病床数（380床）に比べて多く、卒後7年目以上の医師も50人以上在籍しており、研修医に対し綿密な指導を行えるのも当院の強みです。臨床研修を通じてコモンな病態・疾患を幅広く経験できることも地域中核病院としての当院の魅力です。手術や各種検査も数多く行われており、年間で内視鏡検査及び治療は約5,000件、一般外来の手術は約700件実施されています。研修医のやる気と達成度により、消化器内視鏡・中心静脈穿刺・虫垂炎手術なども指導医のもとで行うことができますので、満足がいく研修ができると確信しています。

先輩研修医の声

研修医 1年目
 杉山 雄一



当院の魅力は一年目に外科と様々な内科を研修できることです。内科は一つのタームで複数の診療科を同時に研修するため幅広い疾患を学ぶことができます。市中病院ならではのコモンな疾患を多く経験するとともに、各診療科で大学医局所属の指導医による手厚い指導を受けることができます。また2年目では8か月の選択期間があり興味のある診療科を重点的に研修することが出来るため、3年目以降の進路を決めるうえで非常に役立つと考えております。ぜひ一度当院に見学に来てみてください。

研修医 1年目
 神林 広朗



当院では Common Diseaseを中心に幅広い疾患を経験できます。1年目はローテーションが2ヶ月ごとなので、それぞれの科をじっくりと回ることができます。手技も多く経験できますし、レクチャーや研修医の発表機会も充実しています。また優しい上級医の先生方ばかりなので、疑問点があれば質問しやすい環境です。研修医同士の仲も良く、毎日楽しく働くことができます。興味のある方はぜひ一度見学に来てください。

研修プログラムの特色

研修の1年目には8週間ずつ「消化器内科+腎臓内科」「循環器内科+膠原病内科+内分泌・代謝内科」「呼吸器内科+血液内科」「救急科」「外科」「麻酔科」をまわります。2年目には4週間ずつ「小児科」「産婦人科」「精神科」「地域医療」をまわります。残る1年目の4週と2年目の36週は選択制となりますが、内科系・外科系の専門科をはじめマイナー科での研修も可能です。この間に救急当直（20回以上/36週）の研修も行います。外来研修は内科・外科・小児科研修中に一般外来での診療を0.5日/週で行うのに加え、「地域医療」研修期間中に診療所で全日4日間の診療を行います。研修スケジュールは研修医の志望に合わせて組み替え可能で、研修途中で希望が変われば研修予定科の変更も可能です。研修後の進路については自由ですが、当院で正規職員（地方公務員）としての身分で採用が可能です。また、東京医科歯科大学（現：東京科学大学）各科医局への入局の相談にも応じています。

プログラム例 草加市立病院臨床研修プログラム(募集定員6名)

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
1年目	内科(必修)				救急科(必修)		外科(必修)		選択科(麻酔科)		選択科(自由選択)		
2年目	小児科(必修)	産婦人科(必修)*1	精神科(必修)*2	地域医療(必修)*3	選択科(自由選択) 救急当直 20回								

- *1 産婦人科は春日部市立医療センターで研修を行っています。
- *2 精神科は東京足立病院で研修を行っています。
- *3 地域医療はメディクス草加クリニックで研修を行っています。(地域医療の外来研修のみ あや総合内科クリニック)

研修医の処遇

給与	1年目:28.1万円/月、2年目:29.1万円/月(諸手当除く)	勤務時間	原則 8時30分から17時00分
諸手当	地域手当、特殊勤務手当、期末・勤勉手当、通勤手当	当直	あり(30~50回/年)
保険	埼玉県市町村職員共済組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険・公務災害適用、厚生年金基金等企業年金なし、医師賠償責任保険(病院において加入)	休暇	有給休暇(1年目:10日、2年目:11日) 夏季休暇7日(令和6年度実績)
		宿舎	なし
		その他	身分は非常勤職員(フルタイム会計年度任用職員)となります。特定の要件を満たした場合、退職手当の支給対象となります。

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・東京足立病院
- ・あや総合内科クリニック
- ・メディクス草加クリニック
- ・春日部市立医療センター



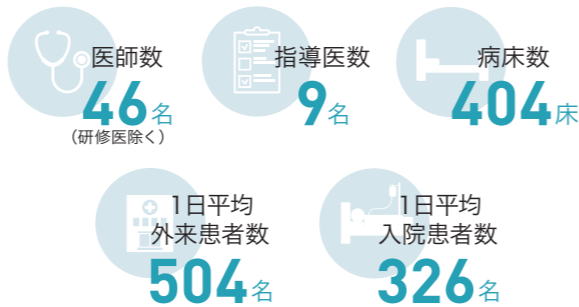


- ▶ 研修医数 1年目 6名、2年目 6名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 29名
- ▶ 研修医の主な出身大学

順天堂大学、聖マリアナ医科大学、大阪大学、産業医科大学、東北医科薬科大学、東京大学、長崎大学、帝京大学、信州大学、金沢医科大学

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

内科、循環器科、不整脈科、緩和ケア内科、消化器科、呼吸器科、腎臓内科、腫瘍内科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、婦人科、糖尿病・代謝内科、麻酔科、人工透析、放射線科、リハビリテーション科、救急科、血液内科

■ 主な認定施設

日本医療機能評価機構認定病院 3rdG: Ver.2.0、内科領域専門研修プログラム認定施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本心臓血管インターベンション治療学会研修施設、日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設、腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設、胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設、浅大動脈ステントグラフト実施施設下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本大腸肛門病学会関連施設、日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設関連教育施設、日本臨床栄養代謝学会NST稼働施設、日本皮膚科学会認定専門医研修施設、三学会構成心臓血管外科専門医認定基幹施設、日本麻酔科学会認定施設、日本消化器病学会認定施設、日本消化器学会指導施設、日本腎臓学会認定研修指定施設、日本透析医学専門医制度教育関連施設、日本腎臓学会認定教育施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、左心耳閉鎖システム実施施設、一次脳卒中センター (PSC) 認定施設、日本脳神経血管内治療学会研修施設、日本臨床腫瘍学会がん診療連携拠点病院、画像診断管理認定施設 (MRI安全管理に関する事項)

■ 当院の魅力

医師の自主性・働きやすさを大切にしています

- ①《プログラムの自由度が高い》
研修プログラムの選択科目は最大40週です。自分の将来のために、自由にプログラムを作ることができます。
- ②《研修環境の重視》
IMS(イムス) グループ6施設が集まる入職前合同研修会を開催。毎年30名近い同期と巡り会えます。4月はオリエンテーションでメディカルスタッフとの人間関係を作ります。また、年1回、自分の研修の成果を発表する症例発表があります。
- ③《QOLも大切にしたい》
主に日中を中心とした研修です。当直は月2回から。当直の回数を調整できるのも、自由度の高いプログラムの特徴です。日曜・祝日の日勤務はありません。



女性医師支援

当院では、女性が働きやすい環境を第一に考え、産前産後休暇・育児休暇・育児短時間勤務・当直免除等の制度を整備しています。また、院内保育所も完備していることから、女性職員が育児しながら働く場所の提供を積極的に行っています。
2017年からは「埼玉県子育て応援企業」として、埼玉県より『多様な働き方実践企業』の認定を受けています。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受付しております。
記載のメールアドレスへ担当者宛にご連絡ください。
ご希望の日にて病院見学を調整します。



是非一度病院に来て、
研修医の声と病院の雰囲気を感じてください。

連絡先

病院名 春日部中央総合病院
所属 総務課 臨床研修医担当
住所 〒344-0063 埼玉県春日部市緑町5-9-4
TEL 048-736-1222(直通)
FAX 048-738-1559
E-mail jinji@kasukabechuo.com
URL http://www.kasukabechuo.com/
アクセス 東武スカイツリーライン「一ノ割」駅から徒歩5分

研修責任者 から メッセージ

副院長/整形外科 部長
片山 一雄



初期研修は、プライマリ・ケアの習得が主な目的です。そのためには、患者様との接し方、基本的な手技の習得、コ・メディカルとの関係など、学ぶことがたくさんあります。中でも当院では、基本的な手技の指導に重点を置いています。また、救急医療にも力を入れていて、様々な症例を学ぶことが可能です。

当院の研修プログラムは、他のグループ病院や近隣病院でも研修が可能のため、多くの症例を経験できる利点があります。また、自由選択期間が最大40週と長いところも特徴です。職員一同、初期研修が実りあるものとなるようサポートさせていただきます。

先輩研修医 の声

研修医 2年目

当院は研修医が少数であり、指導医の先生方に1カ月しっかりとマンツーマンで指導していただけます。先生方やコ・メディカルの方々も優しく、研修医1,2年目の関係性も良好なので、非常に過ごしやすい環境で研修医生活を送れています。また、事務の方が定期的に面談や声かけをしてくださるので、研修プログラムについてだけでなく、生活面でのサポートも充実しているのも魅力の一つです。是非当院を研修病院として考えてみてください。

研修医 1年目

当院の初期研修は研修医それぞれのペースや興味に合わせた指導を行っていただけるのが特徴で、希望に応じて様々な手技や治療方針の提案にチャレンジし、経験を積ませてもらうことができます。また、関連病院や近隣の病院・施設との結びつきが強いのも特徴です。研修医同士の雰囲気はもちろん、先生方や多職種のスタッフさんたちとの雰囲気もとても和やかで相談しやすい空気があります。ぜひ一度病院見学へお越しください。

研修プログラムの特色

- ① 自由度の高いプログラム選択が可能です。
- ② マンツーマン指導で「手技」を中心とした研修を行います。
- ③ 年2回のIMS(イムス) グループ内学会にて症例の発表を行います。
- ④ 入職後にオリエンテーションを実施します。
メディカルスタッフの役割を知り、人間関係を作ることで、「聞きやすい・話しやすい研修環境」を作ります。
- ⑤ 当直は月2回。研修の中心時間は日中です。

プログラム例 春日部中央総合病院群初期臨床研修プログラム / 募集定員: 6名

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週
1年目	内科(腎臓内科・消化器内科・循環器内科含む)				救急(麻酔科含む)				外科	小児科	産婦人科	
2年目	精神科	地域医療	選択科目(内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、糖尿病代謝内科、外科、整形外科、心臓血管外科、脳神経外科、麻酔科、泌尿器科、皮膚科、眼科、形成外科、精神科、耳鼻咽喉科、救急、一般外来)									

必修科目: 内科(24週)、救急(12週)、外科(4週)、小児科(4週)、産婦人科(4週)、精神科(4週)、地域医療(4週)、一般外来(4週)
選択科目: 最大40週

■ 研修医の処遇

給与 1年目: 約40万円/月、2年目: 約43万円/月
諸手当 当直手当(2.5万円/回)
保険 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険適用
勤務時間 平日 9:00~17:00
土曜日 9:00~13:00
当直 2回/月
休暇 土曜日午後・日曜日・祝祭日
宿舎 借上げ寮家賃の50%を病院が負担(上限有)

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- 板橋中央総合病院
- 順天堂越谷病院
- 春日部市立医療センター
- 新松戸中央総合病院
- 東戸塚記念病院
- 丸山記念総合病院
- 新越谷病院
- 横浜旭中央総合病院
- イムス富士見総合病院
- 越谷市立病院
- 埼玉県立精神医療センター
- 西八王子病院



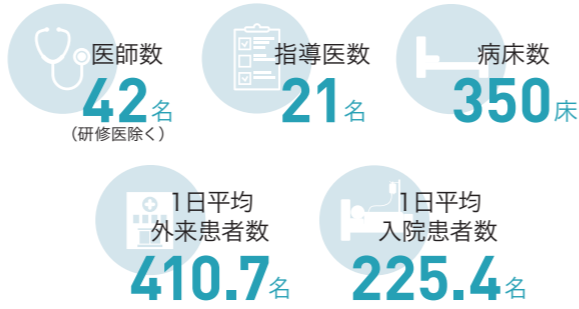


- ▶ 研修医数 1年目 2名、2年目 2名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 0名
- ▶ 研修医の主な出身大学

東京医科歯科大学、北海道大学、東京女子医科大学、藤田医科大学、東京医科大学、順天堂大学、山梨大学、千葉大学 ほか

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

初診内科（総合内科）、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、神経内科、腎臓内科、内分泌・糖尿病内科、膠原病リウマチ内科、内科、一般外科、消化器外科、呼吸器外科、血管外科、整形外科、脳神経外科、内視鏡外科、泌尿器科、形成外科、乳腺外科、病理診断科、リハビリテーション科、皮膚科、眼科、婦人科、麻酔科、放射線科、放射線診断科、救急科、血液透析

■ 主な認定施設

埼玉県がん診療指定病院、埼玉県搬送困難事例対応医療機関（6号基準）、二次救急指定病院、埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク、日本栄養療法推進協議会・NST（栄養サポートチーム）稼働施設

研修プログラムの特色

プライマリ・ケアを中心に、専門医へ到達する前段階として初期研修を位置づけ、知識・技術の修得のみならず医師としての倫理性、医療安全管理への対応、医療チームの一員としての協調性、患者及びその家族とのコミュニケーションなど、医師に必要な資質を涵養します。

1年目に医師としての基本能力を身につけるために内科（腎臓、循環器、内分泌代謝、呼吸器、消化器）・外科（消化器、一般、血管）・麻酔科・救急を必修としています。2年目に協力医療施設にて小児科・精神科・産婦人科・地域医療を行い、さらに選択科目として前出科に加えて整形外科・脳神経外科・泌尿器科より選択可能となっております。

1学年4人であり、さらに東京科学大学病院（旧：東京医科歯科大学病院）からのたすき掛け研修として1年目の研修医が1～2人加わります。

少人数であるため指導医とのマンツーマン研修が行える体制となっており、多くの手技も積極的にに行える環境を整えております。

プログラム例 卒後初期臨床研修プログラム(募集定員2名)

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
1年目	内科				外科				麻酔科		救急		
2年目	小児科	精神科	婦人科	地域医療	選択科目								

・必修 内科32週、外科8週、麻酔科8週、救急8週(4週+当直4週 ※当直4週は他科重複研修。週に1回程度実施)、小児科4週、精神科4週、産婦人科4週、地域医療4週

・自由選択36週 内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、麻酔科より選択

■ 研修医の処遇

給与	約41万円/月	当直	あり(3~4回/月)
諸手当	通勤手当、当直手当	休暇	有給休暇(1年目:10日、2年目:11日)、土曜午後・土曜(隔週)・日曜・祝日、夏季休暇、年末年始
保険	協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険、労災保険あり 厚生年金基金等企業年金あり、医師賠償責任保険	宿舍	あり(2.5万円/月)
勤務時間	9時00分~17時00分	その他	昼食費補助あり、宿舎費補助あり、学会発表・研究会発表等への参加費用支給あり

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・東京科学大学病院（旧：東京医科歯科大学病院）
- ・秀和透析クリニック
- ・春日部在宅診療所ウエルネス



■ 当院の魅力

地域に密着した高度医療の研修で医師のキャリアをスタート

当院は春日部市にある急性期医療の中核病院です。各診療科に高度な専門性と豊富な経験を持つ専門医が在籍しており、最新の医療機器や治療法を用いて、患者さんの健康をサポートしています。多くの医師の出身母体である東京科学大学病院(旧：東京医科歯科大学病院)や獨協医科大学埼玉医療センターなどと密接な医療連携も保持しています。また、地域の医療機関との連携や協力を重視し、地域に根ざした医療を提供しています。

内科系は腎臓、循環器、内分泌代謝、呼吸器、消化器を常設し、さらに大学からの支援で脳神経内科、膠原病・リウマチ内科の外来診療を行っています。特に腎臓内科は開設40年以上の透析医療の長い歴史があり、別館・透析クリニックで関東最大級400例以上の維持透析を担っております。

外科系は消化器、末梢血管、泌尿器、整形外科、脳外科から乳腺外科皮膚科、形成外科まで幅広く対応しています。

救急医療に関しては、年間3,000台の救急車を受け入れており、2017年末から開始された埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク(Saitama Stroke Network: SSN)の参加施設として脳卒中治療を、また心筋梗塞、腹部大動脈瘤、肺炎などの急性期医療を行っており埼玉県の救急搬送困難事例対応病院としても救急診療に力を注いでおります。是非、高齢化率が高く比較的医師数の少ない当地で「地域に密着」した「最新の高度医療」の研修を受けてみてください。

女性医師支援

これまでの女性医師支援プログラムは院内保育・病児保育などを含めた柔軟な勤務体制の整備と活用が主な対応で、これらは既に卒後数年目の女性医師に実施されています。

臨床研修期間中は、その勤務形態や内容に男女別の分け隔てなく対応しながら適時、研修医の体調などを観察しながら、医師としての初めての貴重な経験に進進してもらおうべく注意深く育てて行く方針です。病院としては、研修医はチーム環境の中で多方面にお世話になりながら、一方では医師としての責務を自覚し、いずれはリーダーとして立ち立ちるように温かく優しい、頼れる女性医師として育む考えです。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

随時、病院見学を受付けております。



http://www.shuuwa-gh.or.jp/recruit/trainee_recruit.php の『お問い合わせフォーム』からお申し込みください。

連絡先

病院名 秀和総合病院
所属 人事課(医局) 堀内
住所 〒344-0035 埼玉県春日部市谷原新田1200
TEL 048-737-2121(代表)
FAX 048-737-5575

E-mail sgh.ikyoku@shuuwa-gh.or.jp
URL <http://www.shuuwa-gh.or.jp>
アクセス 東武スカイツリーライン・東武アーバンパークライン「春日部駅」下車後、西口より朝日バス「秀和総合病院」下車 所要時間10分

研修責任者からメッセージ

プログラム責任者
桑原 博



当院は埼玉県東部医療圏の救急基幹病院で、地域の急性期医療を担っているのみならず、がん医療・緩和医療・健診センター・透析クリニックなど幅広く展開し、より専門性が高くより質の高い医療を提供できる病院として機能しています。また、病院には最新の医療機器や電子カルテシステム、文献検索などが行える図書室を備えており、快適に研修に取り組むことができる環境にあります。

当院がある春日部市は人口約23万人の街で、程よく落ち着いた暮らしやすい環境である一方、東武鉄道のスカイツリーラインとアーバンパークラインが乗り入れており、都心や大宮・千葉からのアクセスが良い場所にあります。普段はのんびり?研修に集中、休日はリフレッシュ目的で都会へ繰り出すなんてことも可能です。

単独採用の研修医は少ないのですが、東京医科歯科大学の協力病院としても研修医を受け入れておりますので、適度な人数の仲間たちと和気あいあいとした研修生活を送ることができます。充実した研修となるよう、我々指導医は全力でサポートしますので是非一緒に働きましょう。

先輩研修医の声

研修医 1年目

吉井 俊一郎



当院では経験豊富な指導医の先生方の丁寧なご指導のもと、Common Diseaseを多く経験することができます。上級医の先方をはじめ、コメディカルの方々も皆さん優しく、手厚いサポートをしていただけるので、雰囲気の良い職場でストレスなく研修を送ることができます。

また、研修医の人数が多くない分、多彩な手技を沢山経験することができることも当院の魅力の1つです。それぞれの性格や個性に合った研修ができるため、自分に合った方法で実の是非研修を送ることができます。もし少しでも興味を持たれた方は、是非見学にお越しいただき、当院の魅力を感じていただければと思います。

研修医 2年目

家高 紘一郎



私が思う秀和総合病院の初期研修でのメリットは、①ローテートする科に研修医は1人しかいないため、その科での勉強になる症例や手技をほぼ全て経験することができること。②規模が大きすぎない分上級医の先生方に認識していただき、医局などでも気軽に相談できること。③コ・メディカルの方とも距離が近く、職種の垣根なく様々な相談をできること。の3点があります。救急外来でも市中病院ならではの症例を多く経験でき、初期対応などを積極的に任せていただきとても力がつきます。

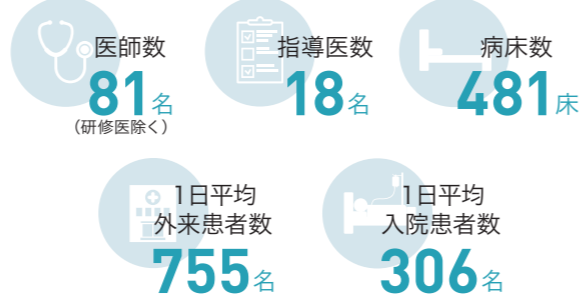


- ▶ 研修医数 1年目 8名、2年目 7名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 27名
- ▶ 研修医の主な出身大学

東京医科大学、順天堂大学、東京慈恵会医科大学、信州大学、宮崎大学、高知大学、長崎大学、獨協医科大学

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

内科、脳神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科

■ 主な認定施設

日本医療機能評価機構認定病院(3rdG: Ver.2.0)、日本内科学会教育関連病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本呼吸器学会認定施設、日本消化器病学会専門医制度認定施設、小児科専門医研修施設 ほか

■ 当院の魅力



プライマリ・ケアの研修に適した病院です。

救急・高度・特殊医療を中心に地域の医療機関との連携を重視しつつ、基幹病院として地域医療の充実に努めています。各種学会専門医等の認定のための研修病院であり、救急患者も多く、プライマリ・ケアの研修に適した病院です。また、令和5年7月には(公財)日本医療機能評価機構より病院機能評価3rdG: Ver.2.0として更新の認定を受けました。



女性医師支援

院内保育室の設置

(臨床研修医利用実績あり)

産前・産後休暇／育児休業制度



《女性研修医(平成28年度修了)からのコメント》

私は初期臨床研修期間中に妊娠しました。体調が優れないときや造影検査・放射線注射で被曝の心配があるときなどは、同期の研修医の仲間や先生方に助けをもらい、出産数週間前のぎりぎりまで研修を続けることができました。出産後も、比較的早期に復帰することができ、多くの方々の支えで研修を2年間で無事に修了することができました。

研修医(平成28年度修了) S医師

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・病院見学は随時実施(希望者はホームページを参照)



連絡先

病院名 越谷市立病院
所属 事務部庶務課庶務担当
住所 〒343-8577 埼玉県越谷市東越谷十丁目32番地
TEL 048-965-2221 (代表)
FAX 048-965-3019

E-mail shomu@city.koshigaya.lg.jp
URL http://www.mhp.koshigaya.saitama.jp/
アクセス

越谷駅東口から朝日バス「市立病院行き」「市立病院経由総合公園・いきいき館行き」「市立病院経由増林地区センター行き」「市立病院経由レイクタウン駅北口行き」乗車約7分
南越谷駅北口から朝日バス「花田行き」「市立図書館行き」乗車約15分
南越谷駅東口からタクシーバス「東埼玉テクノポリス行き」乗車約12分

研修責任者からメッセージ

臨床研修管理委員長
山中 貴博

当院の研修の特色は次の3点に集約できます。

- ① Common Diseaseが多数経験できること
- ② 基本的手技が身につくこと
- ③ 2年目の選択期間に臨床研修協力病院である順天堂大学医学部附属病院での研修が可能であること

①については、一般市中病院であり、医療連携などで紹介されてくる患者さんも多く、総合診療科での研修も含め、Common Diseaseが多数経験できます。

②については、研修医の数が比較的小さいため、基本的手技を多く経験できます。

③については、大学病院において最新医療やより専門的な臨床経験を積むことができます。

当院の指導医は協力を惜しみません。意欲に燃えた研修希望者のご応募をお待ちしています。

先輩研修医の声

研修医(令和5年度修了)

中村 瑛

当院の研修プログラムは非常に自由度が高く、個々に合った研修生活を送ることができるため、現在の科に進むか悩んでいたとしてもやりがいをもって学ぶことができます。2年目には40週の実践的な医療のみならず、最先端のアカデミックな治療も経験することが可能です。

またスタッフの方々みなさん優しく、病院全体で研修医を育てて下さる雰囲気は当院の魅力の一つだと思います。研修医同士も仲がいいので是非一度見学にいらしてください。

研修医2年目

上田 龍太郎

当院の研修プログラムの最大の利点は市中病院と大学病院を高い自由度で研修できることです。選択診療科の期間が他院と比較して長め(40週)なので、現時点で志望科が決まっている方にはもちろん、そうでない方にも適したプログラムだと思います。その期間は大学病院も選択できるので、Common Diseaseから専門的な症例まで幅広い疾患・治療を経験できます。

また、募集人員が8名と比較的少数であることから、手技を経験する機会は多く、同期の研修医間の意見交換や交流も活発に行いやすい環境です。指導医の先生方も熱心で優しく、実りある研修ができると思います。ぜひ一度見学にいらしてください。

研修プログラムの特色

越谷市立病院初期臨床研修プログラムは、市中病院と大学病院で臨床研修を積むことができる内容です。当院内での研修では、募集人数が8名の少人数制のため、マンツーマンで一般的な症例や各種手技に積極的に取り組んでいただけます。

また、選択診療科が40週あり、希望者は2年目に順天堂大学医学部附属病院(順天堂医院・練馬病院・浦安病院・越谷病院)などで研修を積むことができるなど、研修医の将来における希望に応じた、より充実した研修を可能とする構成です。

プログラム例 越谷市立病院初期臨床研修プログラム(募集定員8名)

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週
1年目	内科				小児科	外科	産婦人科	麻酔科	救急部門			
2年目	精神科	地域医療	救急部門	選択診療科								

※ローテーションは順不同

※内科研修は、一般内科8週、呼吸器科4週、循環器科4週、消化器科4週及び脳神経内科4週で実施

※救急部門研修は、救急科8週及び麻酔科4週で実施

※一般外来研修は、一般内科・一般外科・小児科で並行研修により実施

※選択診療科(選択科目)は、(一般)内科・脳神経内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・小児科・(一般)外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・麻酔科・救急科・臨床検査科(病理診断科)及び精神科の中から選択し、1科4週以上のまとまった期間を基本に実施

■ 研修医の処遇

給与	1年目:約31万円/月、2年目:約32万円/月(地域手当含む。毎年1月1日に昇給あり。給料表等改正時に金額変更の場合あり。)	勤務時間	8時30分～17時00分
期末勤労手当(賞与)	1年目:約90万円/年、2年目:約140万円/年	当直	あり
※令和5年度実績により算出		休暇	有給休暇(20日/年)、夏季特別休暇等
諸手当	住宅手当、通勤手当、扶養手当、当日直手当、退職手当等を該当者に支給	宿舎	なし
保険	埼玉県市町村職員共済組合保険 地方公務員災害補償法適用	その他	埼玉県市町村職員共済組合が実施する各種共済事業(レクリエーション施設・保養施設割引制度、各種給付・保険・年金制度)が利用可能。 身分は任期付職員(公務員)。

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・順天堂大学医学部附属順天堂医院(東京都文京区)
- ・順天堂大学医学部附属浦安病院(千葉県浦安市)
- ・順天堂大学医学部附属練馬病院(東京都練馬区)
- ・順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院(埼玉県越谷市・精神科)
- ・リハビリテーション天草病院(埼玉県越谷市・地域医療)



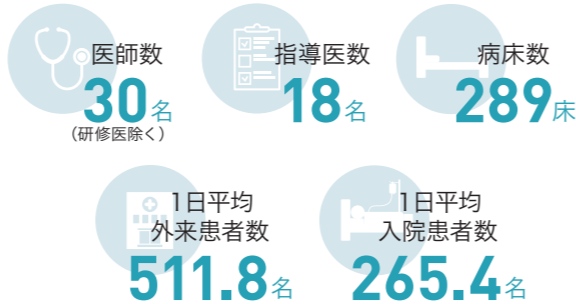


- ▶ 研修医数 1年目 1名、2年目 0名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 0名
- ▶ 研修医の主な出身大学

東邦大学、日本医科大学、産業医科大学、千葉大学、長崎大学、鹿児島大学、東京医科歯科大学、東京慈恵会医科大学、愛知医科大学、中国医科大学、埼玉医科大学、名古屋市立大学、帝京大学

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

内科、循環器内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、神経内科、外科、心臓血管外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、麻酔科

■ 主な認定施設

日本医療機能評価機構認定病院、二次救急指定病院

■ 当院の魅力

優しさと思いやりのある質の高い安全な医療の提供を目指して

当院は、埼玉県の南東部に位置し、東京都、千葉県と隣接しており、東京都心から20km程の距離にあります。つくばエクスプレスの開通により、ベッドタウンとして近年急速に発展している三郷市の急性期医療の中核病院として、地域住民に貢献できる医療の提供を目標として38年間の歴史を重ねて参りました。

三郷市の基幹病院として17診療科を標榜し、病床数は289床(一般病床223床、回復期リハビリテーション病棟58床、ICU8床)、血液浄化センター(27床)となっております。急性期医療については、動脈硬化性疾患(狭心症、心筋梗塞、急性心不全、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血等)や腹部外科疾患(吐血、下血、急性腹症等)、並びに整形外科疾患(骨折、外傷等)に迅速に対応し、二次救急医療機関として夜間帯においては常に複数診療科(内科、整形外科、脳神経外科、循環器内科)の体制を整備しています。

ひとりひとりが質の高い医療の提供をする為に、高度な知識と技術を兼ね備えたメディカルスタッフの育成にも力を注ぎ、病院機能の充実や質の向上に積極的に取り組んでおります。



女性医師支援

三郷中央総合病院では多くの女性医師が勤務しており、今後も活躍の場は増加していくと考えています。女性医師は、経験を積み更に輝けると思われる年代に結婚や出産、育児等のライフイベントを迎え退職を余儀なくされることもあります。その為、三郷中央総合病院では女性医師のキャリアアップを支援する体制を整備することが大切であると考えています。

当院では女性医師が安心して勤務できる為に、短時間勤務制度、院内保育の設置、当直の免除等様々な支援を行っています。過去において、多くの女性研修医を採用し柔軟な対応により初期研修をサポートしてきました。安心して研修を実施できる環境がありますので、どうぞご安心ください。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

【病院見学】

随時受付しています。

下記連絡先までお電話をいただくか、E-mailにてお申込みください。医学生であれば、どなたでもお申込みいただけます。



連絡先

病院名 三郷中央総合病院
所属 臨床研修採用担当
住所 〒341-8526 三郷市中央四丁目5番地1
TEL 048-953-1321(代表)
FAX 048-952-7279

E-mail ishi-jinji@mchp.jp
URL http://mchp.jp/
アクセス つくばエクスプレス線三郷中央駅から徒歩8分

研修責任者からメッセージ

プログラム責任者
並木 温

当院の初期研修は、初期研修病院としては比較的小さい規模であることを活かした自由度の高いプログラムを特色としています。また、研修医が少ないため、指導医と研修医の垣根が低く、信頼関係を築きながら研修医が主体となってプライマリケアから救急医療、入院診療まできめ細かい指導を受けることができます。更に当院での研修に加え、大学病院や地域の中核病院、地元クリニック等が研修協力施設になっており2年間を通じて総合的な研修を行っています。医師としての第一歩を踏みだす若き研修医と共に育っていく病院でありたいと思っています。臨床での研修のみならず、学会や研修会への参加等、積極的にチャレンジする姿勢を全力でサポートいたします。まずはお気軽に病院見学にいらしてください。

先輩研修医の声

卒業生

当院の初期研修は一般症例に触れる機会が多く、実践的な研修を積みたい研修医には非常に魅力的です。当直研修は、来院された患者の初期対応をおこないますので、幅広い疾患を経験することができます。指導医と共にひとつひとつの症例にじっくり向き合う事ができます。まずは病院見学をしていただき、初期研修医と話をしながら当院の雰囲気を感じていただければと思います。

研修医1年目

当院の初期研修の特徴は、指導医の先生や2年目の研修医の先生との距離が近く、困ったことやわからないことがあればすぐに質問することができることです。また、研修医は少人数の為、上級医の先生が各研修医の研修状況を把握して、経験すべき症例や手技等は、研修医の実力に合わせて丁寧に指導する体制が整っています。そのため、日々自分の知識や技術が身についていることを実感できます。まずはお気軽に病院見学にお越しください。当院の雰囲気の良さを実感して頂けると幸いです。

研修プログラムの特色

当院の臨床研修プログラムは、病院理念である『愛し愛される病院』に基づき、地域に開かれた患者中心の医療を推進する病院として、全ての臨床医に求められる医師としての基本的価値観及び医師としての使命の遂行に必要な資質・能力を習得することを目的としています。研修医は少人数制を採用し、指導医との距離が近く、様々な処置や手技を経験できるチャンスも豊富であり、実践的な研修を実施できることも当院のプログラムの特徴です。

主に1年目は必修科目(内科、外科、麻酔科、救急科)を中心に研修を実施し基本的な知識、技術、多職種とのチーム医療の必要性の修得を目指します。2年目には、協力医療機関(東邦大学医療センター、上尾中央総合病院、柏厚生総合病院、三郷ケアセンター、永井マザーズホスピタル等)での研修(地域医療、小児科、精神科、産婦人科)や、選択科目(泌尿器科、循環器内科、脳外科、整形外科、皮膚科)により研修医個々の目指す専門性に沿うよう可能な限り柔軟に対応をしています。2年間の初期研修を通じて、人間的にも優秀な医師を育成することを第一に考えています。

プログラム例 三郷中央総合病院臨床研修プログラム / 募集定員:2名

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週
1年目	内科(24週)						外科(4週)	麻酔科(4週)	選択(4週)	救急(12週)		
2年目	地域医療(4週)	小児科(4週)	精神科(4週)	産婦人科(4週)	選択(4週)	選択(4週)	選択(4週)	選択(4週)	選択(4週)	選択(4週)	選択(4週)	選択(4週)

必修: 内科(24週うち外来診療4週含む)、救急(12週)、外科(4週)、麻酔科(4週)、小児科(4週)、産婦人科(4週)、精神科(4週)、地域医療(4週)

選択必修: 36週(内科、循環器内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

※外科、小児科、産婦人科、精神科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、地域医療については、臨床協力病院にて研修可能。

■ 研修医の処遇

給与	1年目:35万円/月、2年目:40万円/月(税込)	勤務時間	9時00分~17時30分
諸手当	当直手当	当直	あり(3~4回/月)
保険	健康保険 雇用保険 厚生年金保険 労災保険 医師賠償責任保険	休暇	有給休暇 (入職3ヵ月後3日、6ヵ月後7日、初年度10日支給) その他特別休暇 年未年始 産前産後休暇 育児休暇 介護休暇
待遇	常勤 医療費見舞金制度あり 保養所(軽井沢、熱海、那須)利用可 病院保育所利用可 その他福利厚生制度あり	宿舎	あり 当院規定により補助あり

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- 東邦大学医療センター 大森病院
- 上尾中央総合病院
- 三郷ケアセンター
- うつみ内科クリニック
- 東邦大学医療センター 大橋病院
- 柏厚生総合病院
- 永井マザーズホスピタル
- クリニックふれあい早稲田



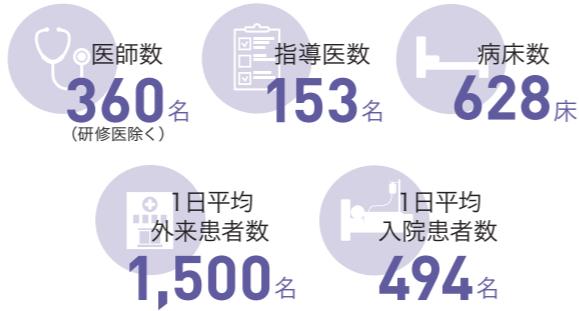


- ▶ 研修医数 1年目 30名、2年目 30名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 175名
- ▶ 研修医の主な出身大学

秋田大学、熊本大学、群馬大学、高知大学、滋賀医科大学、自治医科大学、昭和大学、筑波大学、帝京大学、東邦大学、東北大学、長崎大学、日本大学、浜松医科大学、兵庫医科大学、福井大学、福島県立医科大学、山形大学、琉球大学 他

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

総合診療科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、内分泌代謝科、血液科、リウマチ膠原病科、腎臓内科、脳神経内科、心療内科、小児科、放射線科、メンタルヘルス科、病理診断科、救急科、一般・消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、眼科、産婦人科、皮膚科、形成外科、リハビリテーション科、麻酔科、歯科口腔外科、緩和ケア科、周産期科

■ 主な認定施設

難病連携拠点病院、災害拠点病院、エイズ治療拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、救急救命センター

研修プログラムの特色

創立以来、総合医養成を主眼としたプログラムを全国でもいち早く取り入れ、一貫してスーパーローテーション方式の研修実績を積み上げてきました。Common Disease の研修を決しておこなうことはなく、稀有な疾患や最先端の医療技術を駆使した高度医療を必要とする症例にいたるまで多彩な疾患の診療に当たっています。一般プログラムは、総合医学オープン・内科・外科・救急・外科系専門の5コースから選択できます。将来、皆さんが、どの専門診療科を専攻することになっても、日常診療で頻りに遭遇する病気や病態に適切に対応できるように、医師としての人格を涵養し、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につけるための研修構成になっており、5つの特色があります。①厚生労働省指定の必修分野に加えて、麻酔科研修を必修としました。②全ての臓器別内科と総合診療科を研修します。③地域医療と一般外来を並行研修の8週間とし、Common Disease の外来診療を十分に経験します。④研修期間を通じて週1回の救急研修を継続することで、初期診療能力の足腰を鍛えます。⑤オプションは、皆さんが希望する研修内容を個別に取り入れるように柔軟に対応します。豊かな経験と業績をもつ指導医、教職員が皆さんの研修を支援します。

プログラム例 一般研修プログラム(募集定員24名)

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
1年目	オリエンテーション	救急	内科	内科	内科	内科	内科	内科	内科	内科	内科	外科	
2年目	精神科	地域・一般外来	産婦人科	麻酔科	小児科	オプションA	オプションA	オプションA	オプションA	オプションA	オプションA	オプションA	オプションA

- ・ローテーションは順不同です。
- ・採用後に行うオリエンテーション終了後は、第2クールのローテーションでの研修を開始します。
- ・救急科はブロック研修に加え、週1回の日当直研修を通年で実施します。
- ・オプションAは自治医科大学附属さいたま医療センターの診療科から選択します。(「総合医学オープンコース」以外のプログラム・コースには、協力病院での研修も選択できる「オプションB」の研修期間があります)

■ 研修医の処遇

給与 1年目:約28万円/月、2年目:約29万円/月
賞与(1年目:約42万円/年、2年目:約67万円/年)

諸手当 時間外手当、期末手当

保険 日本私立学校振興・共済事業団(健康保険・年金)、雇用保険あり、労災保険、医師賠償責任保険(初期研修の2年間のみ)

勤務時間 8時30分~17時15分
但し、研修先の診療科等により前後することがある

当直 あり(約4回/月)

休暇 有給休暇(20日/年)
土・日曜日・祝日、年末年始、夏期休暇、その他特別休暇 等

宿舎 あり

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・さいたま市民医療センター
- ・さいたま赤十字病院
- ・埼玉精神神経センター
- ・埼玉県立精神医療センター
- ・大宮厚生病院
- ・自治医科大学附属病院
- ・秩父市立病院
- ・JCHO さいたま北部医療センター
- ・大宮双愛病院
- ・南魚沼市民病院



■ 当院の魅力

総合医療と専門医療の一体化とその実践を目指します

自治医科大学附属さいたま医療センターは、さいたま市及びその周辺を含む埼玉県中央部における大学病院として高度専門医療の提供も重要な責務としています。

開設当初は自治医科大学卒業生による総合診療の基幹病院としての役割と急性期循環器疾患に対する高度先進医療の提供を中心としておりましたが、現在では全ての専門分野において最先端の高度医療を提供する施設となりました。しかし、設立目的の1つである総合診療の実践と総合医の育成についての努力も脈々と続いており、大学病院では経験することの少ない所謂 Common Disease の診療も決しておこなうことはなく、また一方では大学病院として一般の市中病院では診られない稀有な疾患や最先端の技術を駆使した高度医療を必要とする症例に至るまでの多彩な疾患の診療にあたっております。

当センターでの研修は、長年の地域医療の経験に基づいた総合医療の基盤に立つ指導と、それに続く高度専門医療の研修を可能にしていることなど多くの特徴があります。中でもそれぞれの専門領域で第一線に立つ専門医が、本学の建学の精神(地域住民の保健・福祉の増進を図るため、高度な臨床的実力を有し、地域医療・福祉に貢献する医師を養成する)に基づき、総合診療の重要性を理解してそれぞれの専門領域という壁を立てずに研修指導に当たっていることが最も大きな特徴です。

また、さらに良質な研修を提供できるように、意欲のある若い医師の期待に応える研修体制の改善に努力を続けております。

来年の春に皆さんとお会いできることを楽しみにしております。



女性医師支援



次世代を担う医師のキャリア形成が産後・育児等により中断されることがないように就業継続のための短時間勤務制度があります。全職員対象の育児短時間勤務(所定勤務時間内において30分単位で2時間まで勤務時間を短縮)と、医師対象の短時間勤務(週20時間勤務。午前・午後をそれぞれ4時間とし、週20時間になるよう組合せ)があります。2024年8月1日現在13名の女性医師が短時間勤務制度を利用しています。また、職員の子の育児を支援するため、院内保育所・病児保育所を設けています。更に、育児中は(申請により)当直を免除するなど配慮しています。また、センター一丸となって、「医師の働き方改革」に取り組んでいます。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

*オンライン説明会を実施しております。

*病院見学は随時受け付けています。

当センターホームページ(卒後臨床研修室のページ)をご覧ください。



連絡先

病院名 自治医科大学附属さいたま医療センター
所属 卒後臨床研修室
住所 〒330-8503 さいたま市大宮区天沼町1-847
TEL 048-648-5382(直通)
FAX 048-648-5166

E-mail rinshoukenshu2@omiya.jichi.ac.jp
URL https://www.jichi.ac.jp/center/learn/sotsugo/index.html
アクセス JR大宮駅東口からバスで約10分

研修責任者からメッセージ

卒後臨床研修室長
大河原 晋



入職時には、シミュレーション・シャドーイング・電子カルテ・ICLS などの実習からなるきめ細かなオリエンテーションがありますので、臨床研修を円滑に開始できます。ここに示した特色あるプログラムによって、「患者にとって最善をめざす総合医療」と「高度先進医療をめざす専門医療」の一体化とそれを実践する幅広い医学知識と技能を有し、深い人間性に基づいた優れた臨床能力を発揮できる医師を養成していきます。

これらの研修プログラムは、卒後3年目以降の専門研修プログラムとも連動しており、各専門医の取得だけでなく、大学院へ進学し、学位(医学博士)を取得することも可能です。

当センターの研修医は、全国から集まります。様々な情報を研修医間でも共有し、卒後臨床研修室との意見交換を通じて研修プログラムの見直しを行っています。

豊かな経験と業績をもつ指導医、教職員が皆さんの研修を支援します。

先輩研修医の声

研修医 2年目

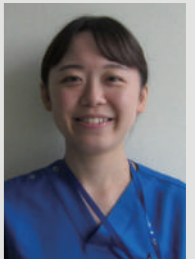
斉藤 開



当院は、研修医が研修しやすい環境が整っています。指導医をはじめ、病院全体として研修医を育てようとしてくださる雰囲気があります。また、当院は大学病院でありながら研修医としての業務も豊富であり、特に救急外来ではファーストタッチから検査方針の決定、治療方針まで上級医と相談しながらはなりますが、研修医主体で進めることができます。当院での研修では多くのことを実践的に学ぶことができると思います。皆様とお会いできることを楽しみにしております。

研修医 1年目

坂本 野春来



当院の研修は、月4回の救急当直をはじめ研修医にかなり大きな裁量を委ねてもらえるのが一つの特徴です。優しく教育熱心な上級医や先輩のもと充実した研修を行い、着実に自分の力をつけることができます。また、裁量が大きい自分自身の不甲斐なさに落ち込む時もありますが、温かく志高い同期と励ましあいながら研修に励んでいます。自分自身、当院での研修を選んで本当に良かったと実感する日々で、皆様にも是非一度この雰囲気を感じて頂けると嬉しいです。職員一同、皆様にお会いできる日を楽しみにしております。

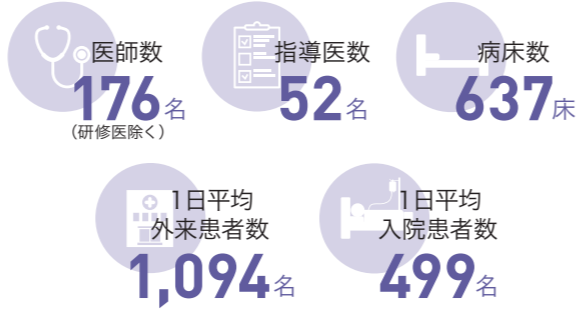


- ▶ 研修医数 1年目 14名、2年目 14名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 128名
- ▶ 研修医の主な出身大学

秋田大学、旭川医科大学、金沢大学、九州大学、慶應義塾大学、埼玉医科大学、順天堂大学、昭和大学、信州大学、千葉大学、筑波大学、東京医科歯科大学、東京慈恵会医科大学、東邦大学、鳥取大学、新潟大学、日本大学、北海道大学、宮崎大学、山口大学、山形大学、山梨大学

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

内科、消化器内科、呼吸器内科、精神科、脳神経内科、循環器内科、小児科、新生児内科、外科、消化器外科、血管外科、呼吸器外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、救急科、病理診断科、緩和ケア内科、スポーツ医学総合センター

■ 主な認定施設

救命救急センター、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、災害拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院

研修プログラムの特色

当院はさいたま市の基幹病院の1つであり、年間約9,000台の救急車の受入れを中心に、急性期医療・がん医療・周産期医療・地域連携(病診連携)に力を入れています。研修プログラムはプライマリ・ケアの基本的診療能力(態度・技能・知識)を身につけることを第一目標とし、さらに各自の到達度と希望に合わせて専門的知識・技術を習得できるよう柔軟なプログラムとなっています。一般コースの1年目は内科(26週)・救急(9週)・小児科(5週)・外科(4週)・麻酔科(4週)・産婦人科(4週)をローテートし、2年目は各自の希望に合わせた選択科を中心に内科・精神科・地域医療・救急をローテートします。2年間を通して内科系・外科系及び救命救急センターの日当直を行うことで、より実践的なトレーニングを積むことができます。また、研修医セミナーを毎週開催し、知識の整理や症例検討を行っています。その他、小児科希望者を対象とした小児科・育成医療コースを設けています。

プログラム例

さいたま市立病院初期臨床研修プログラム(一般コース/募集定員12名)

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
1年目	内科				救急				小児科	外科	麻酔科	産婦人科	
2年目	内科	精神科	地域	救急	選択								

内科:各専門科(循環器、呼吸器、消化器、脳神経、血液、腎臓・内分泌代謝)に分かれてローテートします。
 地域医療:①石川県奥能登の4病院(珠洲市総合病院・公立宇津総合病院・市立輪島病院・公立穴水総合病院)での地域医療研修、②福井県越前市にある医療法人池慶会池端病院での地域医療研修、③近隣診療所(医療法人明医研ハーモニークリニック)での研修、のいずれかの選択となります。
 精神科:当院及び埼玉県立精神医療センターで行います。
 外来研修:内科(2年目)ローテーション中に1週、小児科ローテーション中に1週、外科ローテーション中に0.8週、地域ローテーション中に1.2週、それぞれ並行研修で行います。
 その他 さいたま市立病院初期臨床研修プログラム(小児科・育成医療コース/募集定員2人)

■ 研修医の処遇

給与	1年目:350,552円/月、2年目:367,952円/月(地域手当を含む)	勤務時間	8時30分~17時15分
諸手当	賞与支給あり、通勤手当、時間外勤務手当	当直	あり(5回程度/月)
保険	健康保険(埼玉県市町村共済組合) 年金(1年目:厚生年金、2年目:埼玉県市町村共済組合) 雇用保険あり 労災保険 厚生年金基金等企業年金なし 医師賠償責任保険(病院において加入なし)	休暇	年次有給休暇(年10日)、夏季休暇等
		宿舎	なし
		その他	定期健康診断あり、白衣・スクラブ支給あり

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・医療法人明医研ハーモニークリニック
- ・埼玉県立精神医療センター
- ・珠洲市総合病院
- ・公立宇津総合病院
- ・市立輪島病院
- ・公立穴水総合病院
- ・医療法人池慶会池端病院

■ 当院の魅力

プライマリ・ケアを学ぶ!豊富で多彩な症例!
~地域完結型医療の要として~

さいたま市立病院は、市民の皆様が安心して暮らせるさいたま市のシンボルとして、地域完結型医療の要となる病院です。人口135万人を有するさいたま市の基幹病院である当院は、プライマリ・ケアから各専門領域での高いレベルの医療まで幅広い医療サービスを提供しており、Common Disease から学会発表につながる稀な疾患まで豊富な症例を経験することができます。内科は消化器、循環器、脳神経、呼吸器、腎内分泌代謝、血液、膠原病、感染の各分野をカバーしており、外科は一般・血管外科、消化器外科、小児外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科が高いレベルの手術を行っています。地域周産期母子医療センターを設置し周産期医療、小児医療にも力を入れています。救急医療では一次・二次救急に加え、令和2年12月に救命救急センターが開設され、幅広い疾患に対応しています。そのほか、緩和ケア病棟、精神科身体合併症病棟の設置など充実した医療設備を持ち、安心で安全な医療を提供しています。



女性医師支援

- ・当院では0歳から6歳までの乳幼児を対象とした院内保育室を設置していますので、小さなお子様のいる方であっても働くことが可能です。
- ・年次有給休暇のほかに、出産休暇や小さなお子様のいる職員を対象とした保育時間などの特別休暇も整備されています。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・年間を通して個別病院見学を受け付けています。
- 申込方法の詳細は当院ホームページ上に掲載しています。ホームページでは見学に際しての各診療科からのメッセージや研修医の声も掲載していますので、そちらも是非ご覧ください。



連絡先

病院名 さいたま市立病院
 所属 病院総務課 職員係 高橋
 住所 〒336-8522 さいたま市緑区三室2460
 TEL 048-873-4111(代表)
 FAX 048-873-5451

E-mail hsp-jimukyoku-somu@city.saitama.lg.jp
 URL https://www.city.saitama.jp/hospital/index.html
 アクセス JR北浦和駅からバス15分、浦和駅からバス20分、東浦和駅からバス20分

研修責任者からメッセージ

臨床研修管理委員長
明石 真幸



当院では2004年の医師臨床研修制度開始時から研修医を受け入れ、研修医教育に情熱を傾けて取り組んできています。このため、臨床研修医は充実した環境と上級医の指導の下、多数の Common Disease を経験し、医師としての基本的診療能力、そして基本的姿勢や態度を習得する事ができます。臨床研修医は日々、めざましい成長を遂げていきます。昨日できなかった事が今日できるようになり、2年目後半になる頃には1年目を指導出来るほどの臨床能力を習得して、自信を持って診療に当たるようになります。私達は自己研鑽を重ねながら、皆で学び助け合いながら成長できる研修医を求めています。医学生の皆さん、さいたま市立病院で臨床研修を行い、一緒に成長していきませんか。

先輩研修医の声

研修医 2年目
近本 圭祐



当院は何より人に恵まれています。病院スタッフは職種を問わず優しく、とても働きやすい環境で、お互いを尊重し助け合いながら仕事をする文化が醸成されています。研修医2年目や専攻医とも距離が近く、身近に目標となる先輩方が沢山います。上級医から多くの事を教えて頂き、積極的・主体的に患者さんの診療にあたりながらフォローやフィードバックを欠かさずして頂き、日々の成長に繋がっています。ぜひ見学にお越しください。

研修医 2年目
佐野 文香



医師としての第一歩目を当院で過ごせることを誇りに思います。人として尊敬すべき先生方、ロールモデルとなるような先生方がたくさんいらっしゃいます。また同期は自ら学ぶ姿勢が強い人が多く皆例外なく向上心が高いです。経験した症例や知識を共有したり、自主的に先輩方が勉強会を開いてくださることもあり刺激的な日々です。是非当院の雰囲気の良いを実際に肌で感じていただきたいです。研修医、病院一同お待ちしております。

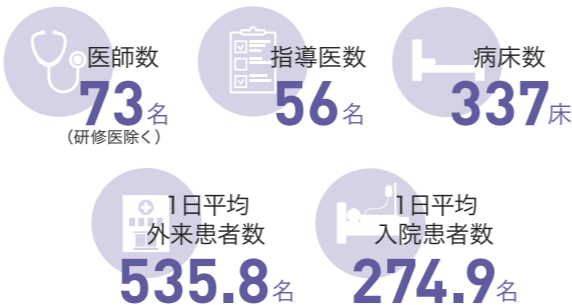


- ▶ 研修医数 1年目 8名、2年目 7名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 65名
- ▶ 研修医の主な出身大学

順天堂大学、千葉大学、東京医科大学、昭和大学、東京慈恵会医科大学、秋田大学、東北大学、北里大学、信州大学、愛媛大学

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、脳神経内科、腎臓内科、糖尿病・代謝内科、血液内科、リウマチ科、緩和ケア内科、外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、腫瘍内科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、婦人科、皮膚科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科、救急科、病理診断科、歯科口腔外科

■ 主な認定施設

埼玉県がん診療指定病院、日本医療機能評価機構認定病院、日本麻酔科学会認定研修施設、日本内科学会認定教育関連病院、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設

研修プログラムの特色

当院では、初期研修の2年間は、将来どの専攻分野に進んでも困らないよう、基本的な臨床能力を習得する期間としています。厚生労働省が定める到達目標をこの2年間で達成し、「3年目に独り立ちできること」をスローガンとしています。専門医になったときの能力差は専門知識の量と技術はもちろん、他科との境界領域の知識量にも表れると言われております。ぜひこの2年間は、しっかりと「generalist mind」を育てていただきたいと思います。

常勤医師のほとんどが指導医であり、指導医をはじめ科全体、病院全体で研修医を育てる充実した指導体制をとっております。救急ローテート時や日当直では、ファーストタッチから一連の検査オーダー、診断までを研修医が主体的に行います。もちろん指導医や上級医がしっかりサポート・指導をしてくれますので安心して研修に臨むことができ、3年目独り立ちに向けて臨床能力を養うことができます。また、産婦人科・小児科・精神科・地域医療については、専門的な知識を十分に経験できる施設と連携しています。

プログラム例 彩の国東大宮メディカルセンター初期臨床研修プログラム / 募集定員: 8名

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
1年目	内科 (24週以上)						外科 (8週・2ヶ月)		救急 (8週・2ヶ月)		麻酔 (8週・2ヶ月) (当院必修)		
2年目	地域医療 (4週) ※外来平行研修 (外部研修)	小児科 (4週) ※外来平行研修 (外部研修)	産婦人科 (4週) (外部研修)	精神科 (4週) (外部研修)	救急 (4週)	調整月 (4週)	自由選択科目 ※1科につき最長12週まで						

○必修: 内科24週 (内科、消化器内科、循環器内科)、救急科12週、外科8週、麻酔科8週、地域医療4週 (外来4週)、精神科4週、小児科4週 (外来4週)、産婦人科4週、調整科4週 (必須科目の達成度、日数不足等の調整)
○自由選択24週 (内科、消化器内科、循環器内科、救急科、外科、麻酔科、放射線科、整形外科、泌尿器科、脳神経外科、膠原病・リウマチ内科、血液内科、緩和ケア内科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、病理診断科)
※産婦人科、小児科、精神科、地域医療については、連携病院との調整 ※自由選択は、1科につき最長16週まで ※外来研修は内科・小児科・地域医療にて対応

■ 研修医の処遇

給与	1年目: 45万円/月、2年目: 50万円/月	勤務時間	①月～金: 9時～17時30分、土: 9時～13時 (隔週) ②月～金: 9時～18時/8時30分～17時30分
諸手当	当直手当、日動手当	当直	あり (週1回まで)
保険	協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険、労災保険あり、医師賠償責任保険 (病院において加入)	休暇	有給休暇 (1年目: 10日、2年目: 11日)
		宿舎	住宅貸与、家賃補助有 (5万円まで/月)
		その他	学会・研修会等参加の費用負担あり (8万円/年) 3回/年 (公休扱い) 医療費見舞金制度 (月3万円まで)、保養所 院内旅行、その他

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

小池内科クリニック (地域医療)、平戸市民病院 (長崎県・地域医療)、大宮厚生病院 (精神科)、埼玉精神神経センター (精神科) 上尾中央総合病院 (小児科・産婦人科)、埼玉医科大学総合医療センター (小児科・産婦人科)、越谷市立病院 (小児科・産婦人科) 国立病院機構埼玉病院 (小児科)、自治医科大学附属さいたま医療センター (産婦人科)、国立病院機構西埼玉中央病院 (産婦人科) 他

■ 当院の魅力

3年目の独り立ちを目指して

- ①救急部での幅広い症例経験
新病院移転後、急性期対応型に進化した救急部は、救急搬送患者を年間約5,000件受け入れています。1次、2次救急を中心に、小児科・産科以外の患者すべての受け入れを目指しています。救急部の研修では、「3年目に独り立ちできていること」を強く意識し、様々な疾患の初期対応をファーストタッチから経験できます。
- ②指導医だけではない、診療科全体、多職種によるサポート
当院では、マンツーマンの指導体制を取っていますが、指導医だけではなく、診療科全体で研修医を育てる体制となっており、幅広い指導が受けられます。
各科診療科の連携が良く、看護師、薬剤師、リハビリ、事務職など、病院全体で研修医の成長をサポートします。
- ③off the job trainingのサポートも充実
モーニングレクチャー、ランチョンセミナー、院内学会、EBMセミナーなど、各種開催
- ④メンター医師制度の確立、センター長面接
初期研修医3～4人に1人の常勤医師を配置し、皆様のメンタルヘルスケアのみならず、多くの指導医が専門分野だけでなく、初期研修医の日常に接することで、臨床研修センター自体の活性化を図っていきます。また定期的なセンター長との個人面談で、研修進捗の確認や今後の進路などについても相談できる体制です。



女性医師支援

- ・育児休業制度・短時間勤務制度・深夜業務の制限
- ・時間外労働時間の制限・子の看護休暇制度
- ・病院のすぐ横に、24時間保育室を運営
- ・医局に女性専用ラウンジ設置

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

随時開催

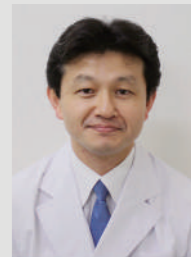
- ・病院HPの応募フォームからお申込みください。
- ・研修医へのQ&A、メッセージリレー動画も掲載していますので、ぜひご覧ください。



連絡先

病院名 彩の国東大宮メディカルセンター
所属 臨床研修センター 野口
住所 〒331-8577 さいたま市北区土呂町1522
TEL 048-665-6111 (代表)
FAX 048-665-6112
E-mail kenshui@shmc.jp
URL https://www.shmc.jp/index.html
アクセス JR宇都宮線 土呂駅から徒歩11分

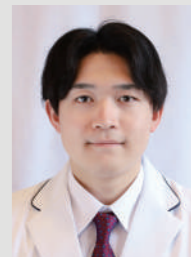
研修責任者からメッセージ



プログラム責任者
長田 秀夫

- 当院の様々な取り組みの一端をご紹介します。
1. 「挨拶をする」「時間を守る」「約束を守る」「協力する」
医師として成長していく上で非常に重要な要素の1つと考えております。医師である前に、社会人としての常識は当然備えていなければなりません。当たり前のことを自然にできるように指導しております。
 2. チーフレジデントの選出
院内の各種部会への参加、研修医の意見・要望のとりまとめ、初期研修採用試験の面接官の一員等々、上から与えられてこなしのみではなく、自ら考え行動し、自分達のみならず未来の後輩たちにも更により良い研修をできるように活動していく中心的役割を担います。
 3. 学会発表などのプレゼンテーション教育
皆様には2年間の研修中、多くのプレゼンテーションを実施する機会が与えられます。特に院内学会やランチョンでは専門科の枠を超えて院内常勤医や他職種が集い、様々な質疑応答を経験することができます。研修終了時にはスライド作成、プレゼンテーション能力が十分身につくように指導に力を入れております。
 4. 各診療科の研修内容のフィードバック
時代や環境の変化とともに、研修メニューや指導医の考え方も柔軟な対応が要求されます。各診療科部長には皆様も参加する臨床研修委員会等を通じ、研修内容のフィードバックや改善など随時お願いしております。そして当院の柱の1つである救急科 (2次救急、年間5,000件程度) の現場でCommon Diseaseを中心にして幅広い分野の疾患、外傷などの初期対応能力を習得して頂きます。
未来に向けてまだまだ新たな取り組みを導入したり、改善していく所存です。一緒に頑張りましょう!!

先輩研修医の声



研修医 1年目
久勝 康史

当院の魅力の1つは、多くの経験を積めるということです。当院には専攻医がほばいないため、多くの手技や症例を経験することができます。縫合や静脈・動脈採血、ルート確保、気管挿管、尿道カテーテルなどの一通りの手技を、指導医の下で受けられるだけではなく、的確なフィードバックによりさらに深く学ぶことができます。私は外科をローテートして、縫合について確実な自信を持つことができました。



研修医 1年目
堺 愛果

当院を選んだ理由の1つは、病院全体の雰囲気や明るさに魅力を感じたことです。医師同士はもちろん、スタッフ同士での挨拶が頻繁に交わされており、それにより明るい雰囲気となりメディカルスタッフと良い関係を築けていると思います。普段からメディカルスタッフの方々に相談する機会は多く、患者さんの状態や処方、退院に向けての計画など些細なことでも快く教えてください。スタッフとの良好な関係は、働きやすい職場環境につながり、結果的に質の高いチーム医療を患者さんにも提供できると思います。

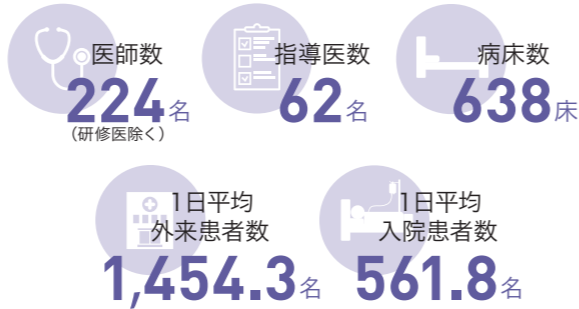


- ▶ 研修医数 1年目 14名、2年目 15名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 137名
- ▶ 研修医の主な出身大学

金沢大学、埼玉医科大学、筑波大学、群馬大学、熊本大学、東京慈恵会医科大学、自治医科大学、順天堂大学、千葉大学、東京医科歯科大学、日本医科大学、金沢医科大学、杏林大学、東京大学、東京女子医科大学、聖マリアンナ医科大学、東北大学、福島県立医科大学、昭和大学、産業医科大学

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

肝・胆・膵内科、消化器内科、呼吸器内科、血液内科、膠原病・リウマチ内科、腎臓内科、糖尿病内分泌内科、総合臨床内科、腫瘍内科、脳神経内科、循環器内科、心療科、小児科、消化器外科、乳腺科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、緩和ケア診療科、口腔外科、病理診断科、救急科

■ 主な認定施設

総合周産期母子医療センター、高度救命救急センター、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院、基幹災害拠点病院

■ 当院の魅力

研修医の声を聞いてみました!

【プログラムを選んだ理由】

- ・三次救急を提供する高度救命救急センターを併設しており、初期研修でハードな救急症例を経験できるから。
- ・診療科が揃っているから。
- ・自由選択期間が長いから。
- ・病院の雰囲気がいいから。
- ・立地がいいから。
- ・建物がきれいだから。



【当院研修での感想】

- ・上級医の先生方のご指導が丁寧で、手技の機会も多いのが嬉しいです。
 - ・学会時など上級医の先生方の面倒見がよく、いつも助けていただいています。
 - ・研修医からそのまま専攻医として専門研修を行っている先生もおり、相談しやすい環境です。
 - ・症例が揃っているため、研修医が能動的に頑張れば多くの症例を経験できます。
 - ・研修医同期の仲が良く、プライベートでも良い関係が築けます。
- など
様々な意見がありますね!是非見学にお越しの上確かめていただけたらと思います。



女性医師支援

妊娠・出産・育児のための支援制度等

- ・短時間勤務制度
- ・院内保育の設置
- ・当直免除
- ・時間外勤務、深夜勤務の制限及び深夜勤務の免除
- ・子の看護休暇(年間5日間)
- ・出産祝金、育児休業復帰一時金
- ・産前産後休暇、育児休暇
- ・日本赤十字社は、職員の育児と仕事の両立を支援している企業として、次世代育成支援対策推進法に基づく「子育てサポート企業」の認定を受けています。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学の申込方法

- ・当院ホームページに掲載
- ・見学希望の方はホームページからお申込ください。



連絡先

病院名 さいたま赤十字病院
 所属 人事課教育研修係
 住所 〒330-8553 さいたま市中央区新都心1-5
 TEL 048-852-1572(直通)
 FAX 048-852-3120

E-mail kensyu@saitama-med.jrc.or.jp
 URL https://www.saitama-med.jrc.or.jp/
 アクセス JRさいたま新都心駅から徒歩4分、JR北与野駅から徒歩6分

研修責任者からメッセージ

プログラム責任者
甲嶋 洋平



さいたま赤十字病院は、人口134万人のさいたま市の基幹病院として急性期から慢性期の医療を幅広く担っています。

急性期では、3次救急患者さんに対応するため高度救命救急センター、リスクの高い妊産婦さんに対応するため総合周産期母子医療センターを設置しております。また ER体制をとっており、24時間積極的に患者さんの受け入れを行っております。

慢性期では、地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム連携病院、地域医療支援病院に認定されており、全科にわたり専門的に患者さんの診療にあたっています。

当院は、プログラム基幹病院(内科・外科・麻酔科・眼科・救急科・産婦人科)で独自のプログラムを擁しています。

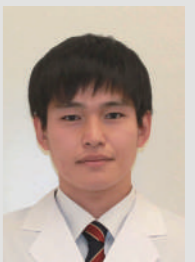
積極参加型の研修を信条としており、研修医の先生方自らが、指導医とともに患者さんの治療に取り組んでいます。また先輩研修医の後輩研修医への面倒見の良さが長年にわたり受け継がれております。

心技体ともに充実した研修をお約束いたしますのでぜひ当院プログラムに参加ください。

先輩研修医の声

研修医 2年目

遠藤 真吾



当院はさいたま市の基幹病院として急性期を中心に地域の医療を幅広く担っています。高度専門医療から Common Diseaseまで幅広く診療しており、ER当直や日々の診療の中で十二分な経験を積むことができます。指導医は教育熱心な方ばかりで、優しく丁寧に指導していただけます。研修医同士の雰囲気も良く、助け合いながら研修生活を送っています。ぜひ一度見学にいらして当院の魅力を直接感じていただきたいです。お待ちしております。

研修医 1年目

菅野 詔子



当院は診療科が豊富にそろっており分け隔てなく経験できるため、医師としての基盤を築くにはこの上なく素晴らしい環境であると思います。また、指導医の先生方が優しく熱心に指導して下さるため、学びある研修医生活を送ることができます。さらに多職種の方々にも相談しやすいため、専門性の高い医療を提供できることも魅力です。とても素敵な病院ですので、ぜひ一度見学にいらしてください。研修医一同、皆様にお会いできることを楽しみにしております。



研修プログラムの特色

- ・高度救命救急センターを併設しており、救急医療に関してより実践的な研修を行うことができます。
- ・選択研修期間が 40 週あり、可能な範囲で研修医の希望に沿って研修スケジュールを組むことができます。
- ・適宜「研修医ミーティング」を開催し、プログラム責任者と研修医がそれぞれの研修状況について情報共有をします。不安な点や、改善して欲しい点など意見を出し合い、研修医たちの意見を反映したより良い研修環境を作ることができます。

プログラム例 さいたま赤十字病院臨床研修プログラム(募集定員15名)

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
1年目	内科				外科	選択必修	救急部門			産婦人科			
2年目	小児科	精神科	地域医療	自由選択									

内科24週(うち4週は総合臨床内科)、一般外科8週、救急部門12週(うち4週は麻酔科選択が可能)、産婦人科4週、小児科4週、精神科4週、地域医療4週必修、選択必修4週:以下より1診療科選択(呼吸器外科、乳腺科、一般外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、形成外科)自由選択40週(消化器内科、呼吸器内科、血液内科、糖尿病内分泌内科、膠原病・リウマチ内科、腎臓内科、総合臨床内科、腫瘍内科、精神科、脳神経内科、循環器内科、小児科、外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、緩和ケア診療科、救急科、検査部、病理診断科)

※当院では月単位での研修のため、研修期間に若干ずれが生じます。

■ 研修医の処遇

給与	1年目:30万円/月、2年目:35万円/月	勤務時間	8時30分~17時00分
諸手当	通勤手当、住宅手当、時間外手当、日・当直手当、賞与(1年目10万円、2年目20万円)	当直	あり(2回程度/月)
保険	組合健保(埼玉県医師会健康保険組合)、厚生年金保険、雇用保険あり、労災保険適用、厚生年金基金等企業年金なし、医師賠償責任保険(病院において加入) ※個人は任意	休暇	有給休暇(1年目:10日 ※入職から半年後に付与、2年目:11日)
		宿舎	なし
		その他	研修医室あり

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・埼玉県立小児医療センター
- ・埼玉精神神経センター
- ・特別養護老人ホーム ナーシングヴィラ与野
- ・埼玉県赤十字血液センター
- ・埼玉県内保健所
- ・原町赤十字病院(群馬県)
- ・自治医科大学附属さいたま医療センターなど





- ▶ 研修医数 1年目 8名、2年目 8名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 79名
- ▶ 研修医の主な出身大学

秋田大学、埼玉医科大学、長崎大学、獨協医科大学、信州大学、浜松医科大学、国際医療福祉大学、琉球大学、高知大学、東京慈恵医科大学、福島県立医科大学、順天堂大学

研修プログラムの特色

深い人間性に基づく、かつ優れたプライマリ・ケア能力を修得した医師養成を目指しています。年間入院患者数 7,000 名以上、2 次救急外来患者数は約 7,500 名と幅広い豊富な患者数に支えられ多様な疾患の経験ができます。さらに総合的な視野を有する各専門領域のサブスペシャリティの指導医を備えていることも当院の特徴です。特に当院では大学病院では経験できない、都会型の地域医療に密着した内科、外科、小児科、整形外科、脳外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科疾患を経験できます。放射線科、病理診断科における診断学研修レベルは高度で、これらの特色をもとに、将来あらゆる領域のキャリア形成にも対応可能な多能性医師養成プログラムを提供します。内科系のみならず外科系領域においても総合医マインドを備えた臨床研修(内科系、外科系ジェネラリスト)プログラムでプロフェッショナル医師を養成します。

プログラム例 **さいたま市民医療センター初期臨床研修プログラム / 募集定員: 8名**

	1-4 週	5-8 週	9-12 週	13-16 週	17-20 週	21-24 週	25-28 週	29-32 週	33-36 週	37-40 週	41-44 週	45-48 週	49-52 週
1年目	オリエンテーション	救急			内科				外科		外科系診療科		
2年目	小児科		産婦人科	精神科	地域医療	選択必修			選択科目				

内科 24 週、救急 12 週、外科 8 週、外科系診療科 4 週、小児科 12 週、産婦人科 4 週、精神科 4 週、地域医療 4 週を研修する。外科系診療科 4 週については、外科、麻酔科、整形外科、脳卒中・神経センター、泌尿器科、耳鼻咽喉科、皮膚科のうち 1 科を選択する。選択科目については 4 週を 1 クールとするローテーション方式とする。一般外来研修に関しては内科、外科、小児科研修中に総合診療外来を週 1 回 1 日で並行研修(4 週以上)を行う。地域医療については原則として 2 年目に研修を行う。

■ 研修医の処遇

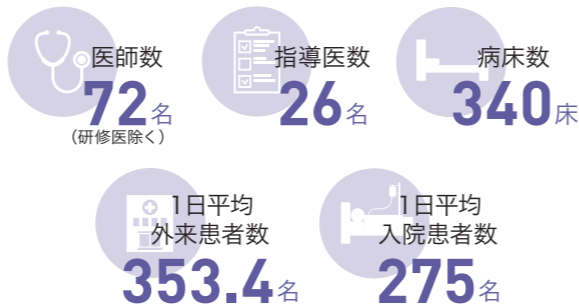
給与	1年目: 40.4万円/月(当直手当含) 賞与93万円/年(実績) 2年目: 45.3万円/月(当直手当含) 賞与161万円/年(実績)	勤務時間	8時30分~17時30分
諸手当	宿日直手当、時間外手当	当直	あり(3~4回/月)
保険	埼玉県医師会健康保険組合 厚生年金保険 雇用保険・労災保険 厚生年金基金等企業年金なし 医師賠償責任保険(病院において加入)	休暇	日曜・祝日・有給休暇 夏季・年末年始休暇
		宿舎	あり

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- 自治医科大学附属さいたま医療センター
- 埼玉精神神経センター
- さいたま市立病院
- 南魚沼市民病院
- さいたま北部医療センター
- 小笠原村診療所
- 明医研ハーモニークリニック
- 丸山記念総合病院
- 平陽会いわさきクリニック
- 村上総合病院

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、整形外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科、リハビリテーション科、アレルギー科、内科(化学療法)、外科(化学療法)、麻酔科、救急科

■ 主な認定施設

地域医療支援型病院、日本内科学会認定制度教育関連病院、がん診療指定病院、外科医専門医制度修練施設、災害拠点病院、日本脳卒中学会研修教育病院

■ 当院の魅力

専門診療と総合診療が融合した指導体制で”軸”になれる医師を育成します

当院は医療需要が増加している「さいたま医療圏」の地域医療支援病院であり、地域医療の司令塔としての役割を担っています。年間7,500台の救急搬送、かかりつけ医からの紹介、そして大学病院との連携で超急性期から回復期までを担当し、患者さんを住み慣れた自宅や施設などに復帰させています。「心と命をつなぐホスピタリティ」をモットーに「患者中心の医療を目指す総合医」と「専門的技術と視野を兼ねた専門診療支援」の融合による病院総合医(ホスピタリスト)による医療支援の実践を行っています。内科では当日勤務の全医師が集結し、新入院患者の毎朝カンファレンスを行い、患者の治療方針を議論し、臨床診断プロセスを共有しています。小児科においては埼玉県有数の救急搬送数を誇っており、さいたま市の小児救急輪番病院として地域医療に貢献しています。集約化される小児医療の Common Disease を学ぶことができます。指導医、専攻医、研修医と屋根瓦式の指導体制を敷いており、働き方改革により患者から学ぶ時間が以前より短くなった若い医師にとって理想的な教育環境を提供しています。

女性医師支援

- 短時間勤務制度
- 院内保育の設置
- 当直免除
- 女性特有の事情に合わせた勤務体系を構築することによりライフステージに合わせた働き方を選択できるようにしています。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

※病院見学希望の方は、総務課 採用担当までメールにてご連絡ください。



連絡先

病院名 社会医療法人 さいたま市民医療センター
 所属 総務課 並木
 住所 〒331-0054 埼玉県さいたま市西区島根299-1
 TEL 048-626-0011(代表)
 FAX 048-799-5146
 E-mail soumu@scmc.or.jp
 URL https://www.scmc.or.jp
 アクセス 大宮駅西口よりバス約20分

研修責任者からメッセージ

プログラム責任者 坪井 謙



当院の臨床研修プログラムは深い人間性に基づく、かつ優れたプライマリ・ケアの臨床能力を発揮する医師育成を目指しています。「病気」「けが」「こども」に対して、まず「診る」ことができるジェネラリストとしての医師を育てる研修を提供しています。また、大学病院では経験できない地域に密着した医療を体験できます。そのため、どの専門医プログラムに行っても通用する土台を築くことができ、必ず皆さんの将来的キャリア構築に役立つと思います。豊富な臨床経験を持つ指導医に加え、各科の垣根も低いため、病院内のどこでも気軽に相談できる環境になっています。ローテーションに関しては研修医の希望に柔軟に対応しつつも、次のステップに行くために必要な研修のアドバイスをし、より自分の理想に近づけるような研修を提供しています。ぜひ、当院と一緒に働いてみたい人、待っています。

先輩研修医の声

研修医 2 年目

川端 伸明



内科ローテーションが9クール(約9ヶ月)あり、その間週1~2回救急対応を行います。初療を行った患者さんが入院した場合、病棟での管理も引き続き行い、最初から最後まで診ることができます。また個人的な当院の魅力の一つで病院全体のスタッフの温かさがあります。それが私のこの病院を選んだきっかけでもあります。一度病院にきて当院の雰囲気を感じてみてください。

研修医 2 年目

小杉 奈津実



当院では各内科2ヶ月ずつ、外科2ヶ月、小児科3ヶ月とまとまって研修できるようプログラムされています。2ヶ月目になると自分で主体的に動けるようになり、より興味を持って研修できている実感があります。他の診療科ローテ中にも活きる知識を身につけることができます。内科ローテ中は指導医とともに初診外来に携わることも可能です。入院となった場合は担当チームに加わり、退院後のフォローまで患者さんに関わります。患者さんが退院するまでに様々なスタッフの協力が必要であることを肌で学べる点も、これからの医師人生に必要な財産だと思います。当院の研修は将来の希望診療科に関わらず、内科管理をしっかり学びたい方、救急対応力を身に付けたい方におすすめです。

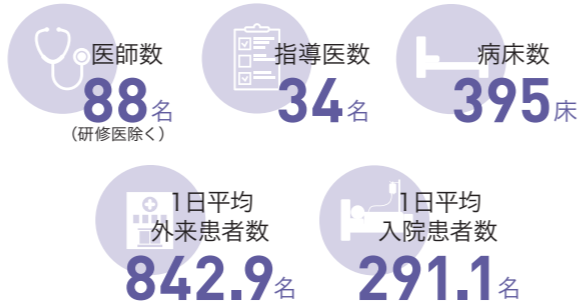


- ▶ 研修医数 1年目 8名、2年目 6名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 56名
- ▶ 研修医の主な出身大学

東北大学、筑波大学、群馬大学、滋賀医科大学、慶応義塾大学、福井大学、藤田医科大学、東京女子医科大学、日本医科大学

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 有



■ 診療科

内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、内分泌内科、神経内科、腎臓内科、心療内科、血液内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、神経精神科、リウマチ科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科、麻酔科、救急科

■ 主な認定施設

埼玉県がん診療指定病院、地域医療支援病院、救急病院、日本医療機能評価機構認定病院、人間ドック・健診施設機能評価認定施設、卒後臨床研修評価認定施設

研修プログラムの特色

埼玉メディカルセンターにおける初期研修プログラムは、研修医に必要な基本的医学知識と技術を修得すると同時に、医師として望ましい態度と習慣を身につけること、能動的に診断・治療を行える能力を培うことを目的としています。1年目の内科では、呼吸器・循環器・膠原病・消化器・神経内科・内分泌・代謝・血液の内科4病棟をローテートし、すべての内科疾患を経験します。各病棟では、それぞれの専門医・指導医に指導を受け、最新の知識を学びます。外科は食道、胃、大腸、肝・胆・膵、すべてに専門医・指導医がいます。手術数が多いので、毎日手術に入ることも可能です。麻酔科では、気管挿管などの手術や全身管理を学び、知識と技術のある程度身につけたうえで救急を行います。小児科・産婦人科・神経科・地域医療の研修について小児科では小児のプライマリ・ケアについて十分な研修を積めます。また、地域医療では、診療所で一般外来診療や在宅医療を学べるようになっています。

プログラム例 埼玉メディカルセンター臨床研修プログラム / 募集定員: 8名

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
1年目	内科							救急	麻酔科	外科	選択		
2年目	産婦人科	小児科	精神科	地域医療	救急	選択科目							

- ・必修: 内科28週、救急12週、麻酔科4週、外科4週、産婦人科4週、小児科4週、精神科4週、地域医療4週
- ・その他: 自由選択40週

■ 研修医の処遇

給与	1年目: 約26万円/月、2年目: 約28万円/月	勤務時間	8時30分~17時15分
諸手当	賞与、時間外手当、休日手当、住宅手当、通勤手当	当直	あり(約3回/月)
保険	組合健保 (独立行政法人地域医療機能推進機構健康保険組合) 厚生年金保険、雇用保険あり、労災保険あり、 厚生年金基金等企業年金なし 医師賠償責任保険(病院において加入)	休暇	有給休暇(1年目: 15日、2年目: 20日)、 土日・祝日、年末年始、夏季休暇
		宿舎	なし
		その他	研修医室あり

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- さいたま市立病院
- 埼玉協同病院
- 国立病院機構 東埼玉病院
- 国立病院機構 埼玉病院
- さいたま市民医療センター
- 埼玉精神神経センター
- 大宮厚生病院
- 浦和民主診療所
- JCHO 湯布院病院
- JCHO 高岡ふしき病院

■ 当院の魅力

多様な症例を経験し、多職種の中での医師の基本的な姿勢を学ぶ

埼玉メディカルセンターは政令指定都市「さいたま市」の中核病院として395床を有する急性期医療中心の病院です。初代院長がかかげた「和の精神」をモットーに全職員一丸となって日々の職務に当たっています。各専門分野では常に最先端の医療を提供しながら、一方で、健康予防医療業務を担う健康管理センター、地域医療の緩衝地帯となる地域包括ケア病棟、その他、老人保健施設も併設しており、超高齢化社会に突入した地域の医療のニーズにも対応しています。1968年に臨床研修病院の指定を受け、以来若い医師の教育にも携わってきました。現在、内科系外科系とも多くの学会の認定教育施設を取得しており各分野の専門医が研修医の指導に当たっています。多様な症例を経験し基本的な知識と技術を習得するとともに、患者に寄り添う精神をはぐくみます。さらに、メディカルスタッフとの関わりを通して多職種の中での医師の基本的姿勢を学びます。

女性医師支援

- 産前産後休暇
- 育児休業
- 育児短時間勤務制度
- 院内保育の設置
- 子の看護休暇(年間5日間)



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

随時病院見学を行っております。
Zoomでの説明会も第2・4木曜日の16:00~行っております。
詳細についてはホームページをご覧ください。



連絡先

病院名 埼玉メディカルセンター
所属 総務企画課
住所 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和4-9-3
TEL 048-832-4951(代表)
FAX 048-833-7527

E-mail main@saitama.jcho.go.jp
URL http://saitama.jcho.go.jp
アクセス JR京浜東北線 北浦和駅西口から徒歩3分

研修責任者
から
メッセージ



プログラム責任者
森本 二郎

毎年4月になると卒業したばかりのフレッシュな研修医がキラキラとした目で我々の前に登場します。我々指導医も身の引き締まる瞬間です。その研修医も2年の研修を終える頃には皆驚くほど成長し医師らしくなり、それは全ての病院職員にとって大きな喜びであります。研修医は2年間で、知識や技術、多職種との協調性など、非常に多くのことを学ぶ必要があります。当院の研修プログラムでは、それらを学ぶ機会を十分に提供し、選択期間は研修医の主体性を重視し希望に合わせて可能な限り柔軟に対応するよう心がけています。前向きで意欲のある皆様をお待ちしています。

先輩研修医
の声

研修医1年目

小川 一徹

当院は、研修医をサポートするための充実した指導環境があり、特に内科を中心に、経験豊富な指導医の元で研修を行えます。スタッフもとても優しく接して下さります。また、患者中心の医療を実践し、チーム医療の重要性や地域医療の現場を学べる環境でもあります。研修期間中は、幅広い症例に触れ、実践的なスキルを磨くことができ、基礎的な素養を身につけられます。ぜひ見学に一度きていただき、実際の雰囲気を感じていただければと思います。

研修医1年目

清水 さくら

当院のプログラムでは選択期間が長く柔軟性に富んだ研修を受けることができる点が魅力だと思います。また、内科ローテで始まることで、焦ることなくカルテの使い方等に慣れていくことができ安心して研修を始めることができました。上級医の先生も相談しやすい先生ばかりで、手厚いサポートのもと日々の診療に取り組むことができました。同期も含め人にとっても恵まれた職場だと思います。興味を持ってくださった方はぜひ見学にいらっしゃってください。



- ▶ 研修医数 1年目 19名、2年目 18名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 86名
- ▶ 研修医の主な出身大学

北海道大学、旭川医科大学、札幌医科大学、弘前大学、秋田大学、岩手医科大学、山形大学、東北大学、福島県立医科大学、東京医科歯科大学、東京医科大学、東京女子医科大学、日本医科大学、東京慈恵会医科大学、東邦大学、帝京大学、順天堂大学、杏林大学、日本大学、昭和大学、埼玉医科大学、獨協医科大学、聖マリアンナ医科大学、国際医療福祉大学、北里大学、東海大学、群馬大学、山梨大学、筑波大学、新潟大学、金沢大学、富山大学、福井大学、浜松医科大学、名古屋大学、名古屋大学、信州大学、藤田保健衛生大学、近畿大学、滋賀医科大学、三重大学、鳥取大学、川崎医科大学、島根大学、広島大学、徳島大学、産業医科大学、長崎大学、熊本大学、鹿児島大学、佐賀大学、大分大学、宮崎大学、琉球大学、漢陽大学、Shahid Beheshti University

研修プログラムの特色

今後数十年の医師としての人生を歩んで行くことをふまえ、医師としてのプロフェッショナリズムに多角的な視点で気づくこと、そしてそれを自分のものとすることを主眼としたプログラムです。そのために総合診療科研修・救急科研修&当直研修・地域医療研修を3本の柱とし、自ら責任をもって医療を行う姿勢を重視しています。総合診療科では主治医と同等の立場で診療を行うことで、医師の責任の重さや決断の難しさを学びます。救急科・当直研修では2年間にわたって搬送患者のファーストタッチを行い、どのような状況であつても冷静にかつ適切に判断する力を磨いていきます。地域医療研修を北海道・岡山県・鹿児島県などで行うへき地・離島研修としていることは本院の研修の特にユニークな点です。地域の医療ニーズ、訪問診療などの地域に密着した医療、医療資源の少ない地域での医療の特徴を学び、さらに異なる環境での研修を通じ医師としての自信を深めるチャンスとなります。

プログラム例 上尾中央総合病院臨床研修プログラム / 募集定員: 19名

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
1年目	内科系(糖尿病内科・血液内科・消化器内科・循環器内科・脳神経内科・腎臓内科・腫瘍内科・総合診療科)から2科以上選択 ※総合診療科は12週必修								救急部門		麻酔科		外科
2年目	外科	小児科	産婦人科	地域医療 ※1	精神 ※2	選択期間							

必修: 内科系24週、救急科12週、麻酔科8週、外科8週、小児科4週、産婦人科4週、精神科4週
 選択: 24週~28週(糖尿病内科、血液内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、腎臓内科、腫瘍内科、総合診療科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、産婦人科、耳鼻いんこう科、麻酔科、放射線診断科、臨床検査科、救急科、病理診断科、地域研修)
 ※当院で決めた必須科目の外科については、4週は外科を必須として4週については外科系(外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、耳鼻いんこう科、泌尿器科)の中から選択できることとする。
 ※1 地域研修は必修4週、選択4週まで(合計8週選択可能)
 ※2 精神科研修は埼玉県立精神医療センター・帝京大学医学部附属病院で実施する。

■ 研修医の処遇

給与	1年目:40万円/月、2年目:43万円/月	当直	あり(4回程度/月)
諸手当	当直手当、日勤手当	休暇	有給休暇(入職3カ月後:3日、6カ月後:7日、初年度:10日支給) その他(特別休暇・年末年始・産前産後休業・育児休業・介護休業)
保険	埼玉県医師会健康保険組合 厚生年金保険、雇用保険 労災保険適用、厚生年金基金等企業年金 医師賠償責任保険(病院において加入)	宿舎	当院規定(5万円を上限として、家賃半分を支給する ※上尾市内在住限定)
勤務時間	9時~17時30分	その他	処遇:常勤、健康診断:年2回、 医師賠償責任保険:病院において加入・個人加入は任意、 学会・研究会等への参加:可、参加費用支給有、 医療費見舞金制度、24時間保育園、 保養所(軽井沢/那須/熱海)、院内旅行、その他

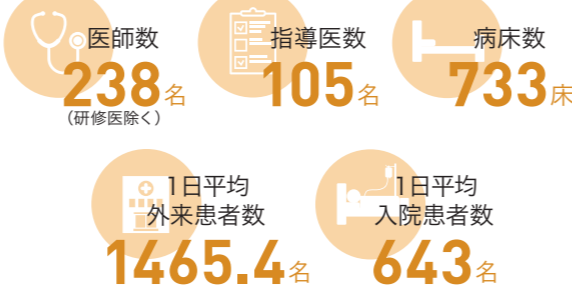
■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- 埼玉県立精神医療センター
- 医療法人 徳洲会 徳之島徳洲会病院
- 医療法人 徳洲会 日高徳洲会病院
- 医療法人 徳洲会 帯広徳洲会病院
- 医療法人 徳洲会 与論徳洲会病院
- 医療法人 徳洲会 石垣島徳洲会病院
- 社会医療法人 緑社会 金田病院
- 医療法人 徳洲会 小豆島中央病院
- 社会医療法人 哲西会 哲西町診療所
- 市立輪島病院 他



■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、糖尿病内科、腎臓内科、血液内科、呼吸器内科、呼吸器腫瘍内科、肝臓内科、アレルギー疾患内科、感染症内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、心療内科、小児科、産婦人科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、消化器外科、肝臓外科、乳腺外科、呼吸器外科、気管食道外科、肛門外科、内視鏡外科、小児外科、泌尿器科、女性泌尿器科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、眼科、形成外科、美容外科、皮膚科、麻酔科、救急科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、臨床検査科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、総合診療科(院内標榜)、膠原病内科(院内標榜)、臨床遺伝科(院内標榜)

■ 主な認定施設

地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、災害拠点病院、ロボット心臓手術実施施設、ダヴィンチ手術症例見学施設(前立腺摘出術、膀胱全摘除術、ロボット支援下膝頭十二指腸切除術、ロボット支援下腓体尾部切除術)、埼玉 DMAT 指定病院 他

■ 当院の魅力

『自立』『責任』『信頼』

当院の初期臨床研修のキーワードです。医師としての基盤となる3つの資質を身につけ、伸ばすことを約束するプログラムです。

『自立』 救急外来では年間約8,400件の救急車を研修医たちがファーストタッチで捌きます。指導医は裏方の役目に徹し、研修医がまさしく自分自身の力で診療する能力を養います。
 『責任』 総合診療科研修ではほぼ主治医に匹敵する仕事を任せられます。治療方針の決定やICも研修医の仕事です。甘えは許されません。
 『信頼』 地域医療研修では自外来卒をもちます。患者さんひとりひとりと密接な関係を構築することが求められます。

◎「ほどほど」「そこそこ」という研修を求めています。「徹底的に」学んでください。サポートもしっかり行います。臨床研修管理委員会とは別に臨床研修指導者委員会を設置し、5~10年目の若手医師、看護師、メディカルスタッフが研修医ひとりひとりに目を向けて研修の様子をいつも見守っています。



女性医師支援

当院では、女性医師の働きやすい環境を整えるため、以下の規定があり、ひとりひとりの研修医にそれぞれの働きやすい環境を提供できるようにサポートします。

- 妊娠婦への配慮 -
- 【妊娠中】
母体保護の観点から、妊娠中の研修医は原則として当直研修を行わない。ただし、本人より当直以外の時間外勤務の希望があれば臨床研修センター長 および救急総合診療科責任者との面談・調整の上、土曜日の午後や日祝日の日中等に研修を行っても良いこととする。
- 【育児中】
育児中の当直は研修医および児の状況を勘案し、臨床研修センター長および救急総合診療科責任者との面談・調整の上、当直研修実施の有無および回数 を決定することとする。
・短時間勤務制度、院内保育の設置、当直免除
※ 実績あり。現在も当院で勤務しています。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

【見学】
ホームページ上の初期臨床研修、
見学申し込みはフォームより
お申込みください。



連絡先

病院名 上尾中央総合病院
 所属 人事課 秘書係(臨床研修担当)
 住所 〒362-8588 埼玉県上尾市柏座1-10-10
 TEL 048-773-1111(代表)
 FAX 048-773-2952

E-mail ishi_jinji@ach.or.jp
 URL https://www.ach.or.jp
 アクセス JR高崎線 上尾駅西口より徒歩3分



研修責任者
から
メッセージ

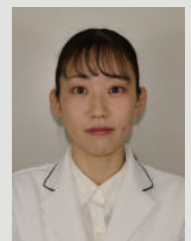


プログラム責任者
黒沢 祥浩

当院の研修医たちのゴールは「たくましさ」です。未来の自分が、どのような苦境にも負けることなく、周囲からの信頼を得て医療を遂行するためのスキルです。そして、それは生涯にわたって彼らを助けてくれることでしょう。

私たちが指導医は彼らの「たくましさ」の獲得を援助します。「自ら考え行動する」という研修医の姿勢を見守り、ときに手を差し伸べるのが私たちの大切な役割です。研修医たちはもがきながら多くを学び、成長し、そして答えをみつけたときに達成感と明日へのモチベーションが生まれていきます。救急科研修でくじかれ、総合診療科研修で悩み、離島へき地研修で新たな発見をしていく。ダイナミックな研修プログラムです。

先輩研修医
の声



研修医 1年目

星川 真帆

もう医者になったんだ。
 病棟ではじめて看護師さんから「先生」と呼ばれたとき、少し間を置いて自分のことか気づきました。「先生、モニターを外して良いですか」「このお薬は中止して良いですか」問われて返事をして、後からカルテで 星川医師に確認し〇〇中止との記載をみたときはとてつもない責任を感じ、いても立ってもいられず、すぐさま上級医に再確認しました。

はがきの医師免許(仮)を手にして、分からないことだらけで始まった研修。強い支えになっているのは先輩・同期の存在です。たった1年差であることを信じられないほど頼れる先輩たち、助け合って一緒に高め合える同期たちと、不安を感じる暇もなく日々たくさん意見と杯を交わしながら動いています。

退勤後や休日は得た知識をまとめる、新たに調べる時間をとりつつ、同僚・友人とご飯に行き、学生時代からの趣味も継続しています。上尾はいわゆるハイパー病院と言われますが、メリハリある働き方ができ、野戦病院とは全く違います。ただ、忙しい勤務の合間にも私生活を充実させる研修医が集っていて、各々の生き方がハイパーなのだろうと思います。

飲み過ぎに気をつけながら、先輩・同期、まだ見ぬ後輩と全力で2年間の研修を堪能する所存です。



研修医 1年目

大根田 優輝

「猫背を伸ばして、自信をもって堂々としなさい」
 入職式で先生から自分へ向けられた第一声です。初見で自分とわかるほどの猫背でございます。

入職してから2か月が経ちました。自信?そんなもの入職してから一度も感じたことはありません。2か月間救急科を回りましたが、何ができるようになったかと言われると自信をもって言えるものは何もありません。毎日、毎患者、不安を抱えながら初療にあたります。上級医の先生に問診の不足を指摘され、手技は一人ではままならないこともあり、検査結果の解釈も甘々、他科へのコンサルトでも怒られます。果たして何から手を付ければいいのか。

そんな中、2年生の先輩は自分の初療のバックアップをしながら、サクサクと自身の受け持ちの患者さんの診察を進めていきます。自分ができなかった手技を「貸して」と言ってサラッとこなしていきます。あと10か月で自分は先輩方のようになれるのでしょうか。

へこたれる毎日ですが、先輩方、上級医の先生方は丁寧に指導をしてくださいます。本当に初歩的なくだらないかもしれない質問でも丁寧に教えてくださいます。自分は上尾中央総合病院では珍しく生気の薄い人間ですが、バイタリティにあふれた医師、メディカルスタッフに日々引っ張られるかのように踏ん張り精進しています。

来年、後輩ができる頃には、身体の猫背は改善がなくても、心の猫背が少しでも改善しているように努力を重ねていきます。

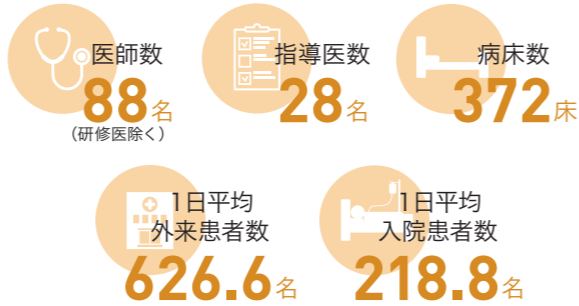


- ▶ 研修医数 1年目 8名、2年目 8名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 32名
- ▶ 研修医の主な出身大学

北里大学、名古屋大学、信州大学、獨協医科大学、秋田大学、新潟大学、日本大学、慶應義塾大学、福島県立医科大学、川崎医科大学、愛知医科大学、東京女子医科大学、中国大連医科大学

病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



診療科

内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、内分泌・代謝内科、リウマチ・膠原病内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科(全27科)

主な認定施設

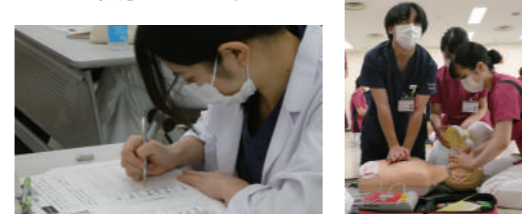
災害拠点病院、埼玉 DMAT・埼玉 SMART (特別機動援助隊) 指定病院、日本医療機能評価機構認定病院、地域医療支援病院他

当院の魅力

スキルアップ支援とコミュニケーションの充実

当院では医師を中心に様々なメディカルスタッフの協力により、研修医のスキルアップに重要な勉強会を多数開催しています。職種間の垣根も低いので多職種とのコミュニケーションがとりやすい環境です。
例) 輸液療法・ルート・ポンプの扱い方(主催:看護部)
検査技師による採血指導、血液像の読み方(主催:検査部)・・・等々

また、全診療科が同じ医局を使用しており、そこに研修医の机を配置することで、診療科の垣根を越えたコミュニケーションがとりやすい環境です。上級医との信頼関係も築きやすく、「相談しやすい・コミュニケーションがとりやすい」と研修医から好評です。医局とは別に「臨床研修医室」も設けているため研修医だけの環境もあり、適宜自分の時間を確保できるよう配慮しています。



女性医師支援

- ・保育園「オレンジハウス」
豊かな自然環境を背景に自由保育思想を取り入れ、のびのびと子供の個性を育む保育園「オレンジハウス」。
子供の成長に合わせた教育システムや多彩な年間行事も充実。仕事と家庭生活の両立を図る当院スタッフの力強い支えとなっています。
夜勤の仕事に携わる職員の要請に応じ、週2回の夜間保育も実施。安心して仕事が継続できるよう、バックアップ体制も万全です。
- ・病児保育室あり 定員: 3名



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

※病院見学 随時受付中です。
いつでもお気軽にご連絡下さい



連絡先

病院名 北里大学メディカルセンター
所属 人事課 人事・教育研修係
住所 〒364-8501 北本市荒井6-100
TEL 048-593-1215(人事課直通)
FAX 048-593-1239

E-mail k-rinsho@kitasato-u.ac.jp
URL http://www.kitasato-u.ac.jp/kmc-hp/
アクセス JR高崎線北本駅からバス約15分位

研修プログラムの特色

臨床研修医が2年間に習得する必要がある「臨床研修の到達目標」を満たすとともに、各診療科の臨床研修の到達目標を定め研修医による自己評価と指導医による評価を行い適切、かつ、良質な研修を提供できるよう配慮しています。また、少人数制による密度の高い指導体制を敷いています。

専門分化した医療技術習得の前段階として、全人的な初期治療のできる臨床医を育成することを目標としており、特にプライマリ・ケアに重きを置き、救急医療疾患に広く対処できるような医師を目指します。また、法人の取り組みとしてのチーム医療教育ができるプログラムです。2年目には自由選択枠があり、将来の専攻等を考慮し診療科及び研修先を各自で組み立てることができます。

プログラム例 北里大学メディカルセンター臨床研修プログラム / 募集定員: 10名

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
1年目	内科(外来研修8週含む)						救急(うち麻酔科4週)		麻酔科	外科	産婦人科	小児科	
2年目	精神科	自由選択										地域医療	

1年目: 内科24週、救急部門12週(うち麻酔科4週)、麻酔科(4週)、外科(4週)、産婦人科(4週)、小児科(4週)
2年目: 精神科(4週)、地域医療(4週)、自由選択(40週)

自由選択枠については、当院を含め北里大学病院、北里大学北里研究所病院及び東京ベイ浦安市川医療センターの各診療科において、希望の診療科と調整の上決定します。将来の専攻等を考慮し診療科及び研修先を各自選択することができます。

研修医の処遇

給与	1年目:約34万円/月、2年目:約36万円/月	勤務時間	8時30分~17時00分
諸手当	時間外手当、住宅手当、宿日直手当、救急手当等	当直	あり(3~4回/月)
保険	組合健保(私学共済)、共済組合(長期給付) 雇用保険あり、労災保険・公務災害適用 厚生年金基金等企業年金あり 医師賠償責任保険 (病院において加入しているが個人でも強制加入)	休暇	有給休暇(1年目:12日、2年目:16日)
		その他	奨励金:年2回支給 1年目:約10万円、2年目:40万円

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 北里大学病院
- 北里大学 北里研究所病院
- 埼玉県済生会鴻巣病院
- 東京ベイ・浦安市川医療センター
- さいたま市民医療センター
- 渡辺医院
- サンビレッジクリニック鴻巣
- 春日部在宅診療所ウエルネス
- 大空町東葉琴診療所

研修責任者
から
メッセージ



臨床研修センター長
長場 泰

大病院 VS 市中病院、多くの医学生がまず最初に悩むことです。北里大学メディカルセンター(地域支援病院)は、埼玉県東部地区の中核的医療施設として機能しており、北里大学の分院として、大学本院(特定機能病院、相模原市)と北里研究所病院(都市型救急病院、東京白金)との連携を行い大学病院的な医療と地域医療をバランスよく研修することが可能なプログラムを提供しています。3病院の自由選択期間(2年目の6か月間)を設けることにより、プライマリ・ケアから高度先進医療まで、希望する研修を行うことが可能です。また北里大学は薬学部・看護学部・医療衛生学部などを有する医療系総合大学であり診療科や職種を超えたチーム医療を重視しています。「市中病院も大病院もどちらも経験できる研修プログラム」そんなうまい話かと思ったあなた、ぜひ当院へ見学に来てください。

先輩研修医
の声



研修医 2年目
和田 文絵

当院では、自然の多い環境で、主に Common Diseaseを対象とした、地域に根差した医療活動に携われると思います。各科の上級医の指導のもと、自身でもしっかり勉強しながら日々研鑽をつむことができ、また院内では、誰もがお互いを知っているといった関係性の近い雰囲気のもと、医師としての仕事以外にもたくさんの経験を経て、将来に役立つ「学び」に出会えることと思います。それらプロセスを通して、ひいては将来のビジョンも明確にできるのではないかと思います。



研修医 1年目
江川 由希子

当院の研修の最大の魅力は、患者やスタッフとの距離が近い点です。中規模病院であるため、医師だけでなくコ・メディカルとも自然と知り合いが増え、情報共有や相談しやすい環境です。皆さん質問をすると快く教えてくださり、様々な場面で学びの場となっています。科を研修医一人でローテーションする場合がありますが、心細い反面、マンツーマンでの指導は非常に実り多きものです。研修医同士も仲が良く、切磋琢磨して成長しています。ぜひ一度見学にお越しください。



- ▶ 研修医数 1年目 45名、2年目 45名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 190名
- ▶ 研修医の主な出身大学

埼玉医科大学、日本大学、富山大学、秋田大学、滋賀医科大学、鳥取大学、獨協医科大学、ランシット大学、慶応義塾大学、高知大学、東京医科大学、岐阜大学、大分大学、北海道大学、弘前大学、群馬大学、山形大学、金沢医科大学、順天堂大学、国際医療福祉大学、信州大学、東邦大学、聖マリアンナ医科大学

研修プログラムの特色

当院では病院の特性を活かし、日常的に遭遇する Common Disease から専門性の高い疾患のマネージメントまで幅広い研修ができるように工夫しています。研修プログラムは、研修医自身が自由にプログラムを組むことができる『埼玉医科大学3病院自由選択プログラム』、臨床研修と大学院コースを同時に学べる『研究マインド育成自由選択プログラム』、小児科・産婦人科等での研修を重視した『産婦人科・小児科重点研修プログラム』があります。4月の導入研修(オリエンテーションを含む)では、内科病棟を中心に診療に必要な基本的姿勢、手技を身につけます。内科・救急研修では、時間外外来を経験し、一次から三次まで幅広く救急医療に従事することでプライマリ・ケアに必要な基本的技能を修得することが可能です。地域医療研修では全プログラムで沖縄県での研修を選択することができます。また、2年目に高度救命救急センターでの研修を選択した場合には、希望があればドクターヘリに搭乗することも可能です。毎月1回のCPCの他に、ランチョンセミナーも定期的に開催し、必修項目に関連した講義を行っています。

プログラム例 埼玉医科大学3病院自由選択プログラム(募集定員44名)

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
1年目	導入研修	内科						救急	麻酔科		外科	小児科	
2年目	産婦人科	精神科	地域医療	自由選択									

【必修】内科24週、救急8週、麻酔科8週、外科4週、小児科4週、産婦人科4週、精神科4週、地域医療4週(2年目)
 【自由選択】2年目の40週(地域医療8週の場合は36週)は、どの診療科・施設で研修するか、研修期間を含めて研修医自身が選択出来る。
 その他 産婦人科・小児科重点研修プログラム(募集定員4名)、研究マインド育成自由選択プログラム(定員2名)



■ 研修医の処遇

給与	基本給36万円/月(基本給25万円、諸手当含む平均額)、賞与別途支給50万円/年	勤務時間	原則8時30分~17時30分
諸手当	日・当直手当、時間外手当、通勤手当、住宅手当、扶養手当	当直	あり(平均4回/月)(診療科により多少異なります)
保険	日本私立学校振興・共済事業団、雇用保険、労災保険、医師賠償保険(個人加入、義務)	休暇	9日/月、有給休暇(1年目:10日、2年目:11日)
		宿舎	あり(月額2万円、補助あり)
		その他	白衣貸与(クリーニングは病院負担)、研修医個人専用の机、ロッカー、仮眠室・シャワールーム(男女別)、電子カルテ、共有PC(インターネット接続可能)

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- 埼玉医科大学病院
- 埼玉医科大学国際医療センター
- イムス富士見総合病院
- 東松山市立市民病院
- 神楽坂 D.S. マイクリニック
- かわごえファミリークリニック
- 沖縄県立北部病院 (附属診療所含む)
- 帯津三敬病院
- 秩父病院
- 安藤医院 他



■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

消化器・肝臓内科、内分泌・糖尿病内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科、心臓内科、呼吸器内科、腎・高血圧内科、脳神経内科、神経精神科(メンタルクリニック)、小児科、新生児科、消化管外科・一般外科、肝胆膵外科・小児外科、血管外科、プレストケア科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科・美容外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、産科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、産科麻酔科、高度救命救急センター、救急科(ER)、総合診療内科/感染症科・感染制御科、輸血・細胞治療部、病理部

■ 主な認定施設

高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター、災害拠点病院、災害派遣医療チーム埼玉 DMAT 指定病院、がん診療連携拠点病院、臨床研修指定病院

■ 当院の魅力



大学病院から離島まで

埼玉医科大学総合医療センターは、最先端の設備の中で平成19年には埼玉県よりドクターヘリ基地病院、平成28年には小児救命救急センターの指定を受けた地域基幹病院として高度な医療を提供し地域医療に貢献するのみならず、埼玉医科大学病院群の中では” Super General Hospital”と位置づけられ、診療のみならず大学病院として教育・研究についても優れた成果をあげています。

高度救命救急センター新棟を始め、外来化学療法センター・血液浄化センター・内視鏡センター・無菌室病棟などを新設し、病棟も順次改修を進めており、最新の設備で充実した研修を行うことができます。

地域医療研修では、沖縄県立北部病院(同附属診療所を含む)での研修を2ヶ月間選択することができます。(往復の交通費及び宿泊費(上限あり)の補助があります。)

実際に研修した先生方からは、大学病院とは大きく異なる環境で研修することで、とても勉強になったと好評です。

小江戸川越は古い街並みを残す歴史のある落ち着いた都市です。都内から近いこともあり近年多くの観光客で賑わっています。伝統と都会的な新しい感覚が混じった川越で研修医としての2年間をスタートしてみませんか。

女性医師支援



- ・当院では子育て支援の一環として、短時間勤務制度を設けており、女性医師の働きやすい環境を支援しています。産前産後の休暇はもちろんのこと、日直・当直の免除や短時間勤務を利用しながら、安心して子育てと研修ができるようサポートしています。
- ・院内には保育所(定員80名)を設置しており、保育士は25名以上在籍しておりますので安心して預けられます。
- ・女性医師就業継続支援窓口(医療人育成支援センター女性医師部門)を設けています。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受け付けています。当院ホームページに掲載の申込書に入力し、メールに添付してお申込み下さい。



連絡先

病院名 埼玉医科大学総合医療センター
 所属 臨床研修センター
 住所 〒350-8550 川越市鴨田1981
 TEL 049-228-3802(直通)
 E-mail kensi@saitama-med.ac.jp
 URL http://www.kawagoe.saitama-med.ac.jp/resident/
 アクセス 東武東上線・JR川越線 川越駅からバス25分

研修責任者からメッセージ



研修管理委員長
高橋 健夫

埼玉医科大学総合医療センターは、歴史あふれる小江戸川越に位置する病床数1,053、1日外来患者数2,000名超、36診療科に総合周産期母子医療センター・高度救命救急センター及び小児救命救急センターを有し、がん・難病など多くの拠点病院となっている県内最大の医療施設です。診療とともに教育・研究にも力を入れており、初期臨床研修では大学病院としての機能を十二分に発揮した高度な先端医療から、Common Diseaseを中心とした地域医療まで幅広い疾患を学ぶことができます。一言で表すと「大学病院でありながら Common Diseaseも経験できる」研修病院です。私もは、臨床研修の目標を「日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的診療能力を身につける」ことを基本とし、その上でさらなる専門教育を行っています。全診療科に研修指導責任者、指導医をおき、日常の悩みから効果的な研修などの適切なアドバイスをを行い、研修目標が到達できるように支援しています。さらに研修管理委員会に研修医や若手医師が委員として加わっており、研修医の生の声を反映できる研修システムとなっています。

2年間の研修中には、人気の沖縄離島研修も組み込まれていますので、大学病院から離島までの幅広い医療の現場を体験することが可能です。私もは研修医の先生方ひとりひとりを大切に育て、次世代のわが国の医療を担う人材を育てたいと考えています。多くの方々がわれわれの門戸を叩いてくれることを心より歓迎いたします。

先輩研修医の声



研修医 2年目
吉川 公基

埼玉医科大学総合医療センターでの研修には多くの魅力があります。1つは充実した診療科の存在です。基本的な知識や手技はもちろん、大学病院ならではの専門的な知識を学ぶことができます。将来の診療科選択にも活かすことができます。また「屋根瓦式」の教育体制も魅力の1つです。研修医1年目は2年目が、2年目は専攻医が、と1つ上の代が教育・指導をすることで上は責任を持つこと、下の学年にとっては質問しやすい環境を作ることができています。みなさんお待ちしております。

研修医 1年目

河野 里咲



当院の研修では、Common Diseaseから高度医療まで幅広く経験することができます。そのため、研修医として基礎的な力を身につけながら、興味のある分野はとことん深くまで学ぶことができます。また、「この手技をやりたい!」という要望に、先生方が真摯に向き合い、指導して下さいます。研修を始めて間もない時期でしたが、挿管・CV挿入・Aライン確保・腰椎穿刺等を経験することができ、日々成長できていると実感します。自分の積極性次第で多様な経験を積むことができるのが魅力であると思います。そして何より、同期が多いことは心の支えになること間違いなしです!頼もしい先輩方も多く、分からないことはすぐに聞ける環境なので、安心して研修できます。是非一度、病院見学にいらしてください!職員一同、お待ちしております。

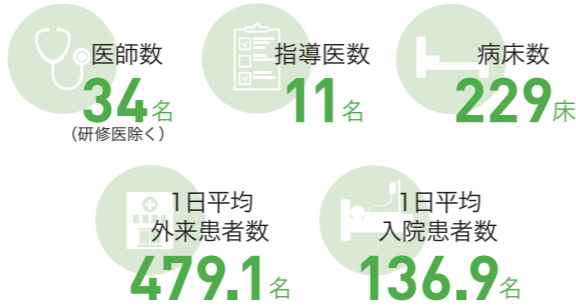


- ▶ 研修医数 1年目 4名、2年目 4名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 20名
- ▶ 研修医の主な出身大学

北里大学、鹿児島大学、徳島大学、東京医科大学、信州大学、佐賀大学、日本医科大学、埼玉医科大学、昭和大学、大阪医科大学、筑波大学、琉球大学、鳥取大学、帝京大学、産業医科大学、高知大学、群馬大学、島根大学、日本大学、山形大学、大分大学、弘前大学、京都府立医科大学、山口大学、浜松医科大学、北海道大学、杏林大学、岡山大学、富山大学、滋賀医科大学

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

内科、外科、整形外科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、皮膚科、リウマチ科、アレルギー科、形成外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、脳神経外科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、糖尿病内科、神経内科、人工透析内科、救急科、眼科、麻酔科

■ 主な認定施設

日本内科学会認定教育関連施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本泌尿器科学会関連教育施設、日本プライマリ・ケア連合学会認定施設 等

■ 当院の魅力

2020年新病院がオープンしました!

当院では建物の老朽化に伴い、2015年7月から全面的な建替工事を行っていましたが、2020年9月に全ての工事が終了し、フルオープンを迎えました。ER部門や手術室、ICUの整備を行い、患者さんの療養環境を整えると共に医師をはじめとする職員の働く環境の改善に配慮して改築を行いました。新病院では職員用のラウンジを設置したり、地域の医療機関や福祉施設との連携を更に強化し、患者さんやそのご家族・地域関係者のご要望に幅広くお応えするために患者支援センターを新設しました。今まで以上に地域の医療介護に携わる皆様と共に連携をしっかりと行い、地域のために役立てるよう努めております。



女性医師支援



当院では、女性・男性分け隔てなく、仕事と家庭の両立する職員の支援を積極的に進めております。主な支援策として、①365日保育可能な保育園を敷地内に完備。平日だけでなく日直の時にもご利用いただけます。②産前産後休暇や育児休暇、復帰後の短時間勤務③日当直の免除もしくは制限の3点が対応可能となっております。またご家族の事情を勘案した働き方も相談の上、勤務を決定することも出来ます。病院見学時には保育園の見学も可能ですので、是非お申し出ください。

研修責任者からメッセージ

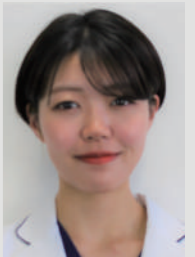
プログラム責任者
松田 香



なぜ医師になろうと思ったか初めの気持ちを思い出してみませんか。当院では急性期医療を担う地域の病院として、よくある疾患を経験しながら、見逃してはいけない疾患を見分ける研修が出来ます。特に当直ではどの医師も一般診療に当たりますので共に様々な経験をしましょう。また、院内の医療チームのカンファへの参加や、勉強会を通して力をつけていく機会もあります。患者さんとは高齢で様々な背景を持っている方が多くおり、退院に向けての多職種を通してのマネジメントが必要です。その中で医療チームとしての医師の役割を実感しましょう。2年間の研修の中で、学生時代にはないダイナミックな経験をしながら、コミュニケーション力、バランス感覚も身につきます。初めの気持ちを行動に移すため、長い職業人生のスタートを私達と歩み出しましょう。お待ちしております。

先輩研修医の声

研修医 1年目
小南 紗奈



関越病院では研修医は少人数ということもあり、手技を経験できる機会が多く、指導医や先輩方のフォローがあるので安心して研修に臨むことが出来ます。コ・メディカルの方々と情報交換をしたりと学べる機会も多く、患者さん毎に最適な医療を提供するために、各職がお互いの役割を理解してチーム医療を実践しています。研修病院を選ぶ上で沢山の選択肢があり迷われることと思いますが、全ての希望に沿う病院を探すことは難しいので、どこに行くとしても主体性を持って学び続ける姿勢を忘れないで下さい。関越病院であれば、そういった姿勢に応えてくれる先輩方が沢山おり、充実した研修生活を送ることが出来ます。ぜひ一度見学にお越し下さい。

研修プログラムの特色

昭和49年に開院以来、地域密着医療を行ってきた急性期病院です。診療する疾患は多岐に渡ります。関越病院の理念と方針の下、1次・2次救急医療を昼夜問わずに行っています。また慢性期疾患の外来診療及び訪問診療も充実していて、地域に幅広く貢献しています。このような特徴を持つ当院の臨床研修プログラムは、地域医療を担う病院で遭遇するあらゆる疾患のプライマリ・ケアに必要な基本的な知識、技術の習得と、社会人であり、また医師であることの心構えと態度を身につけることを目的とします。研修の根幹は「多彩で豊富な症例」で研修すること。指導方針は「指導医とのマンツーマン教育」であり、実際の診療を繰り返し経験し、知識・技術を習得します。診療は「チーム医療」であり、様々な職種のベテラン職員との触れ合いは人間性を磨く絶好の機会です。

プログラム例 関越病院 医師臨床研修プログラム / 募集定員:4名

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
1年目	内科 (26.2週)						精神科 (4.4週)	小児科 (4.4週)	産婦人科 (4.4週)	救急部門 (12.6週)			
2年目	外科系 (13週)			地域医療 (4.4週)	選択科 (33.6週)								

- ※外科系は外科、整形外科、泌尿器科を各4週研修します。(計12週)
- ※地域医療研修は外来研修も含め4週、選択科は外来研修(0.5日/週)を含め33.6週となります。
- ※2年目に保健・医療行政研修が1週入ります。

■ 研修医の処遇

給与	1年目:40万円/月(税込)、2年目:45万円/月(税込)	勤務時間	8時30分~17時30分(実働8時間)
賞与	あり	当直	あり(2回程度/月)日直あり(1回/月)
諸手当	当直・日直手当、食事手当 他	休暇	有給休暇 1年目:10日、2年目:11日
保険	健康保険 厚生年金保険 雇用保険 労災保険	宿舎	あり(病院より半径2km以内)
		福利厚生	宿泊施設(湯沢、河口湖)あり、提携しているスポーツジム利用可、365日保育可能な保育園完備

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- 埼玉医科大学病院 (小児科・産婦人科・神経精神科)
- 関越クリニック (地域医療)
- 関越腎クリニック (地域医療)
- 埼玉医科大学総合医療センター (小児科・産婦人科・神経精神科)
- 南町クリニック (地域医療)
- 埼玉県内保健所 (保健・医療行政)



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

当院では水曜日に病院見学を受け付けており、学生の皆様のご都合に可能な限り合わせた形で行っております。連絡先の電話もしくはメールにてお申込み下さい。尚、病院見学が面接受験の条件となりますので、皆様のお問い合わせをお待ちしております。



連絡先

病院名 関越病院
 所属 法人事務局 総務課 臨床研修担当
 住所 〒350-2213 埼玉県鶴ヶ島市脚折145-1
 TEL 049-287-3726(直通)
 FAX 049-271-2370
 E-mail recruit@kan-etsu-hospital.or.jp
 URL https://www.kan-etsu-hp.ne.jp/
 アクセス 東武東上線坂戸駅下車 南口より徒歩13分

研修医 1年目
清水 海飛



皆様は初期研修中にどういったことを学びたいでしょうか。一般的に言われることは手技や輸液、抗菌薬などの病棟管理、ERの first touch等でしょうか。これらの事は関越病院で十分に学べます。また研修医も指導医のフォローがある状態で外来での診療もできますし、内科研修は各科に分かれておらず、各科に気軽に指導を受ける事ができます。Common Diseaseが多く、皆様がどの診療科の医師になっても必要な知識を学べます。興味をお持ちであれば一度見学いらして頂き、皆様の病院選びのご協力をさせて頂ければと思います。

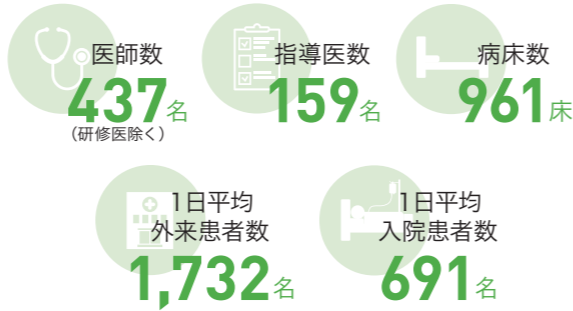


- ▶ 研修医数 1年目 40名、2年目 41名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 91名
- ▶ 研修医の主な出身大学

埼玉医科大学、旭川医科大学、杏林大学、岩手医科大学、金沢医科大学、慶應義塾大学、山形大学、千葉大学、帝京大学、東海大学、東京大学、東北大学、獨協医科大学

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

血液内科、リウマチ膠原病科、呼吸器内科、消化器内科・肝臓内科、内分泌内科・糖尿病内科、脳神経内科・脳卒中内科、腎臓内科、総合診療内科、感染症科・感染制御科、消化器一般外科、乳腺腫瘍科、小児外科、麻酔科、小児科、新生児科、産科・婦人科、整形外科・脊椎外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、脳神経外科、形成外科・美容外科、泌尿器科、リハビリテーション科、神経精神科・心療内科、放射線科、放射線腫瘍科、核医学診療科、中央病理診断部、輸血・細胞移植部、予防医学センター、東洋医学科、歯科・口腔外科、救急科、消化管内科、緩和医療科、ゲム医療科、血管外科、核医学診療科、病院診療部

■ 主な認定施設

特定機能病院、日本医療機能評価機構認定病院、肝疾患診療連携拠点病院、エイズ診療拠点病院、災害拠点病院、埼玉県アレルギー疾患医療拠点病院 他

研修プログラムの特色

3病院自由選択プログラムは、ローテーションする診療科を選択する際、自由度が高く、研修医の希望を最大限に取り入れることが出来る当院で最も人気のあるプログラムで、それぞれ特色を持つ3つの大学病院（総ベッド数 2,500 床）の診療科で自由に研修を行うことができる、オーダーメイドプログラムです。研究マインド育成自由選択プログラムは、3病院自由選択プログラムと臨床研修内容は同じですが、研修を行うと同時に大学院に入学し、大学院生としての講義、研究を行う充実したプログラムです。総合医育成広域連携病院自由選択プログラムは、総合医を目指す研修医に適したプログラムです。バランスよく診療科を経験でき、プライマリケア医としての対応能力に優れた総合医の育成を目指します。周産期・成育医療専門医自由選択プログラムは、将来周産期医療・成育医療を専攻する希望のある研修医を対象に、自由選択期間を最大限に活用した特別プログラムです。将来の専門医取得にも有利な、より専門的指導を行います。外科系プログラムは、外科専門医取得に重点をおき消化器外科は必須として心臓外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科での研修を選択できるプログラムです。今後の専門医に向けた後期研修にスムーズに移行できるプログラムを目指しています。

プログラム例 埼玉医科大学3病院自由選択プログラム(総合コース) / 募集定員: 38名

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
1年目	導入研修(4週)			内科(24週)				救急(12週)		外科(4週)	小児科(4週)	産婦人科(4週)	
2年目	精神科(4週)	地域医療(4週)					自由選択(44週)						

必修研修として内科 24 週、救急部門 12 週（4 週を麻酔科へ変更可）、外科、産婦人科、小児科、精神科各々 4 週、2 年目で地域医療研修 4 週、それ以外の 44 週は自由選択研修。研修開始 4 週（導入研修）および研修最終の 4 週は埼玉医科大学病院にて研修とする。その他 埼玉医科大学研究マインド育成自由選択プログラム（定員 3 名）、埼玉医科大学総合医育成広域連携病院自由選択プログラム（定員 8 名）、埼玉医科大学周産期・成育医療専門医自由選択プログラム（定員 4 名）、埼玉医科大学病院外科系プログラム（定員 2 名）

■ 研修医の処遇

給与	36万円/月 (基本給25万円、諸手当、賞与含む平均月額給与)	勤務時間	原則8時30分～17時30分
賞与	前年度実績50万円/年	当直	あり(平均4回/月) (診療科により多少異なります)
諸手当	日・当直手当、時間外手当 住宅手当、通勤手当、扶養手当	休暇	9日/月、有給休暇(1年目:10日、2年目:11日)
保険	日本私立学校振興・共済事業団 雇用保険、労災保険 医師賠償保険(個人加入、義務)	宿舎	あり(月額2万円、補助あり)
		その他	白衣貸与(クリーニングは病院負担) 研修医個人専用の机・ロッカー 仮眠室・シャワールーム(男女別) 電子カルテ、共有PC(インターネット接続可能)

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

【協力型臨床研修病院】

- 埼玉医科大学病院群
- 埼玉県立小児医療センター
- さいたま赤十字病院 他

【臨床研修協力施設】

- 丸木記念福祉メディカルセンター
- 大川原脳神経外科病院 (北海道)
- 新渡戸記念中野総合病院 (東京都)
- 長崎県富江病院
- たむら記念病院 (千葉県)
- 鹿児島県南さつま市坊津病院
- 沖縄県立八重山病院 他

■ 当院の魅力

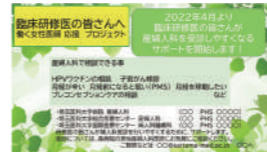
環境の整った施設でより良い研修を

埼玉医科大学病院は埼玉県の西部を中心とした地域の医療を担うと同時に、特定機能病院として埼玉県全域の医療も担当しています。埼玉県は東京都に隣接し人口も734万人を数え、多くの患者さんが来院されます。そのため、当院では大学病院ならではの専門性の高い疾患からプライマリケアまで、多くの疾患を経験できるという特徴があります。また、当院には専門医制度にマッチした診療科やアイセンター、てんかんセンター、難病外来等特徴のある診療科が充実しています。24時間管理人が常駐する研修医寮がリニューアルされるなど、研修医の為に施設も充実しています。豊かな自然と1時間で都内へ行けるアクセスの良さが、良い環境の中で研修することができます。埼玉医科大学3病院の連携の良さは皆さんに最高の研修を提供し、皆さんはこの3病院から自分の目的に合った診療科での研修に取り組むことができます。さらに熱心な指導医が多いのも自慢です。その他、埼玉県内最大級の規模を誇る埼玉医科大学シミュレーショントレーニングセンターを利用した多くのハンズオンセミナー等に参加することができるのも魅力の一つです。



女性医師支援

当院では、女性医師ひとりひとりのワークとライフを尊重し、短時間勤務で正規雇用と同等の処遇で働ける制度や院内保育園での延長保育、女性医師就業継続支援窓口を設けるなど働きやすい環境作りに取り組んできました。2022年から、女性研修医の皆さんが産婦人科を受診を希望した時、気軽に産婦人科を受診ができるようサポートが始まりました。低用量ピルによる月経困難症の治療や確実な避妊、HPVワクチンについての相談など、産婦人科を活用する事はプレコンセプションケアの一環として、未来の人生の選択肢を広げることにつながります。皆さんの選択肢を提供することで、埼玉医科大学は働く女性医師を応援しています。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学（随時受付）
当院ホームページに掲載の見学申込書をダウンロードの上、必要事項を記入し、見学希望日3週間前までに臨床研修センター事務局へE-mail（添付）又は郵送でお申込みください。



連絡先

病院名 埼玉医科大学病院
所属 臨床研修センター事務局
住所 〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38番地
TEL 049-276-1862(直通)
FAX 049-276-2149

E-mail kenshui@saitama-med.ac.jp
URL http://www.saitama-med.ac.jp/hospital/index.html
アクセス JR八高線毛呂駅から徒歩3分・東武越生線東毛呂駅からバス5分

研修責任者からメッセージ

研修管理委員長
山元 敏正

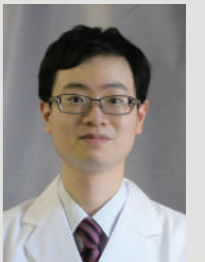


皆さん、是非、埼玉医科大学病院で初期研修を開始しましょう!!
研修先として最適な当院の特徴を説明します。①スタッフ教育熱心: 高度なスキルを持ったスタッフが熱心に指導します。②豊富な症例: 臨床医としての実践的な知識と技量を身につけるには、受け持った症例から学ぶことが最も確実です。当院ではコモンな疾患から稀な疾患まで多種多様な疾患を経験できます。③ハイブリッド型の大学病院: 高度な医療を提供する大学病院とプライマリ・ケアを中心とする地域病院の機能を合わせ持ち、また基礎医学の先生方との共同研究も盛んに行われています。
セキュリティー完備の研修室には研修医の皆さんに専用のデスク、ロッカー、当直室、シャワールーム等が完備されています。
是非、一度、病院見学に来てください。お待ちしております。

先輩研修医の声

研修医

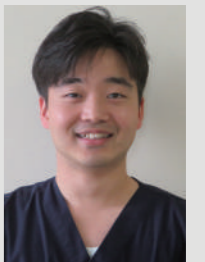
池澤 悟



私は埼玉医科大学病院の3病院自由選択プログラムで研修を行なっています。このプログラムでは、当院、国際医療センター、総合医療センターの各科を自分の進路希望等に合わせて自由に選択することができます。また、当院で研修していて感じたことは、教育が充実している、相談しやすい、温かみのある人が多い、などといったことです。
もし興味があれば、是非見学にいらしていただき、当院の魅力を体感していただければと思います。

研修医

山縣 洸



研修医にとって一番大切なことは、将来進む科を含む全ての領域に少しでも多くかかわり、知識と経験を深めていくことだと思っています。
当院は埼玉西部全域の医療を担い、多くの症例で急性期から慢性期までを診る「最後の砦」であるため、一般的な疾患から稀なものまで経験できる場だと感じています。
また大学病院の特長である教育にも非常に力を入れています。まだ専攻が決まらない、興味がある科がいくつかある。その答えを見つける研修が、当院では必ず出来ると実感しています。





- ▶ 研修医数 1年目 2名、2年目 2名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 5名
- ▶ 研修医の主な出身大学

宮崎大学、日本医科大学、聖マリアンナ医科大学、群馬大学、昭和大学、東北大学、杏林大学、千葉大学、東京大学、帝京大学、日本大学、名古屋市立大学、北里大学

研修プログラムの特色

地域の中核的な役割を担う公的病院であり、初診から最終転帰に至るまで当院で一貫して診察を行うケースも多く、全人的な医療、プライマリ・ケアを研修することに適している環境にあります。赤十字病院として災害救護訓練を行っています。1年目は内科・外科の研修にて基礎力を磨き、2年目は研修医の希望により柔軟な対応が可能となっております。小川赤十字病院での臨床研修の目標は、赤十字の使命である「人道」に基づき展開される全人的医療を行う中で、医療機関・医師の社会的役割について十分な認識を深め、将来にわたり必要となってくる基本的診療能力（知識・技能・基本的態度）及び医師としての人格の涵養です。

プログラム例 小川赤十字病院医師臨床研修プログラム / 募集定員: 3名

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週	
1年目	内科 (24週)						精神科 (8週)		外科 (8週)		選択科 (12週)			
2年目	選択科 (4週)	小児科 (4週)	産婦人科 (4週)	救急 (8週)		麻酔科 (4週)	地域医療 (4週)	外来 (4週)	選択科 (20週)					

地域医療はさつき内科クリニック、大野クリニックから選択する。
必修科目のうち小児科、産婦人科、救急医療(うち8週)、精神科は埼玉医科大学病院で実施する。
選択科目はリウマチ科、循環器、消化器、内分泌・糖尿病、神経、血液、外科、整形外科、脳神経外科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科、地域保健(日本赤十字社埼玉支部特別養護老人ホームひなた荘、小川町保健センター) から選択する。

■ 研修医の処遇

給与	1年目: 約40万円/月、2年目: 約45万円/月	勤務時間	月～金 8時30分～17時15分
諸手当	時間外手当、当直手当、通勤手当、住居手当 (賃貸の場合)、勤勉手当(年2回)	当直	あり(3～4/月)
保険	埼玉県医師会健康保険組合、厚生年金保険、雇用保険あり、労災保険、厚生年金基金等企業年金なし、医師賠償責任保険(病院において加入)	休暇	有給休暇(1年目: 15日、2年目: 21日)、夏季休暇
		宿舎	なし(家賃補助あり最大28,500円/月)

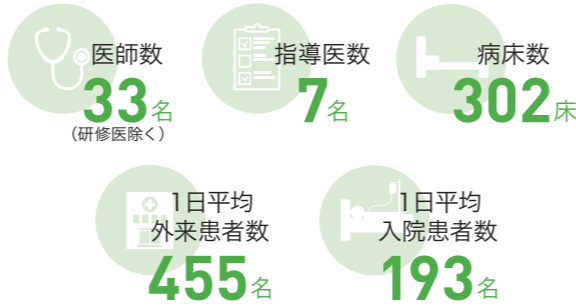
■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- 埼玉医科大学病院
- 小川町保健センター
- 特別養護老人ホームひなた荘
- さつき内科クリニック
- 大野クリニック



■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

内科、循環器科、呼吸器科、リウマチ科、神経内科、血液内科、腎臓内科、内分泌・糖尿病内科、精神科、外科、乳腺・内分泌外科、消化器科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科

■ 主な認定施設

埼玉県がん診療指定病院、地域医療支援病院、日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本リウマチ学会教育施設、日本血液学会認定血液研修施設

■ 当院の魅力

地域に密着した医療

小川赤十字病院は埼玉県西部に位置し、病棟からは外秩父が一望できる緑豊かな環境に立地しております。昭和14年に開設されて以来、80年以上の歴史を通じて、地域に密着した医療を続けてきました。急性期医療及び二次救急を中心としておりますが、周辺医療機関との連携や訪問看護にも取り組んでおります。また、赤十字病院として、救護班(医療チーム)を被災地へ派遣するなど、災害に備えた体制を整え、定期的な災害救護訓練も実施しております。



女性医師支援

- 産休・育休
- 出産祝金 (在職 2年目以降)
- 育児短時間勤務
- 時差出勤、時間外勤務の制限、深夜勤務の免除、所定労働時間を超えない勤務
- 子の看護休暇

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受け付けております。日程を調整させていただきますので、総務課あてに電話またはメールにて連絡をお願いします。



連絡先

病院名 小川赤十字病院
所属 人事課
住所 〒355-0397 埼玉県比企郡小川町小川1525
TEL 0493-72-2333(代表)
FAX 0493-72-2755
E-mail jinji@ogawa.jrc.or.jp
URL http://www.ogawa.jrc.or.jp
アクセス 東武東上線・JR八高線 小川町駅 徒歩15分

研修責任者からメッセージ



臨床研修委員長
吉田 佳弘

地域の中核病院で積極的、意欲的に臨床研修をしたいと考えている方を歓迎します。全人的な医療、プライマリ・ケアの研修により幅広い臨床能力を身につけることができるはず。災害救護のトレーニングも可能です。

小川赤十字病院の研修プログラムは、選択枠が広く、研修医の方の希望にそうすることができます。また、救急医療・産婦人科・小児科・精神科は埼玉医科大学病院での研修になります。各専門分野の指導医、専門医が揃っておりますので、ぜひ一度見学にお越しください。

先輩研修医の声



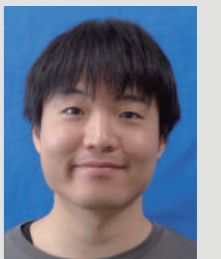
研修医 2年目

岡村 雄次郎

当院のある埼玉県比企郡は高齢化率の高い地域であり、患者さんも様々な基礎疾患を抱えています。そのため、心不全・脳梗塞・糖尿病・高血圧といった重要疾患を数多く経験出来ます。また、研修医も少数であるため、指導医からマンツーマンの指導を受けることが出来ますし、先生方やコメディカルの方も親切な対応ばかりです。研修スケジュールはそれほど過密ではないため、各人のモチベーションに応じた自由度の高い研修が出来るという点も当院の魅力だと思います。是非一度見学にお越しください。

研修医 1年目

中本 啓太郎



当院の初期研修医は1学年2名で計4名と少人数のため、手技の練習や病棟業務・症例検討など互いに協力し、助け合いながら研修を行っています。病棟での研修は、指導医の先生との距離感が近く、密に連絡や相談ができる環境なので親身になって教えて頂いております。生活面では、水がきれいである山川のレジャーが盛んであり、近くに温泉もあるため仕事終わりに立ち寄ることも出来ます。地方の市中病院に興味がある方はぜひ一度見学にお越しください。



- ▶ 研修医数 1年目 10名、2年目 10名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 55名
- ▶ 研修医の主な出身大学

【2024 年度入職 -10 名-】

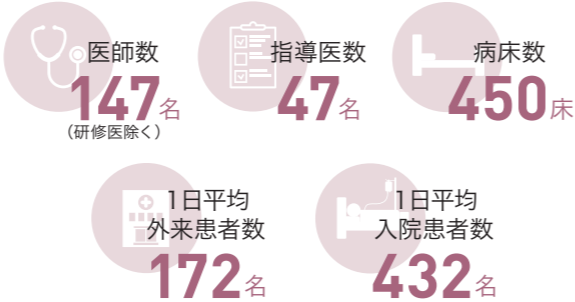
秋田大学、岩手医科大学、福島県立医科大学、獨協医科大学、
東京医科大学、信州大学、高知大学、佐賀大学

【2023 年度入職 -10 名-】

秋田大学、東北医科大学、筑波大学、国際医療福祉大学、
杏林大学、帝京大学、東京女子医科大学、日本大学、島根大学、
九州大学

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、神経内科、感染症内科、人工透析内科、緩和ケア内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、救急科、麻酔科、歯科 (33 診療科)

■ 主な認定施設

地域医療支援病院、臨床研修協力病院、日本病院機能評価認定施設、埼玉県がん診療指定病院、埼玉県災害時連携病院、埼玉地域 DMAT 指定病院 他

■ 当院の魅力

2025年春 救命救急棟 完成予定!!

-救急車応需率 99%以上を維持するER総合診療センターを強化-
「幅広い初期救急対応能力の習得」
「頻繁に遭遇するCommon Diseaseに対する診療能力を身につける」

2年間常に救急診療に関わる
救急科研修を1年次4週 x2回実施
救急科研修とは別に、週1回半日の救急研修(救急当番)
多種多様な症例に関わる
救急車受入れ台数 約10,000件/年
救急搬送患者・Walk-in患者のファーストタッチは初期研修医技術が身につく
救急外来でのファーストタッチ経験数 約700件/年
CV挿入、気胸に対する脱気・トロッカー挿入、Aライン挿入など基本的な手技も一通り経験可能
バックアップによる安全性と細かいフィードバック
治療方針の決定にも積極的に関わることが可能
多彩な学習機会
研修医向けカンファレンス、研修医同士のカンファレンスを開催
BLS、ICLS、JMECC、JPTEC 資格取得
縫合実習、PIC・CVCハンズオンセミナーなどで技術力向上
各診療科のカンファレンス、病院主催の症例検討会・CPC、医療安全や医療倫理に関する講演会など多数開催
屋根瓦式教育
切磋琢磨しつつ、和気あいあいと互いにサポート
充実した研修成果を求め、上級医・指導医に積極的に指導を仰ぐ
「教え、教えられる」ことで厚いつながりが持てるチーム指導体制で指導医と初期研修医が互いに成長できる環境



女性医師支援

大切な子育てと仕事の両立をサポート
-女性医師が働きやすい環境を整えています-



保育室完備

24時間365日対応の保育室は、0才児から利用可能
1人ひとりの成長にあわせた保育を目標に、子どもたちがのびのびと過ごせる環境

他、出産祝い金・産休・育休・育児短時間勤務・時差出勤・当直免除などあり

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

【病院見学】
訪問見学・オンライン見学 随時受付

【選考試験】

8月末に実施

【出願資格】

「訪問病院見学」「オンライン病院見学」「(当院主催) オンライン病院説明会」のいずれかに参加した方

※詳細は当院 WEBサイトをご参照ください



連絡先

病院名 社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院
所属 医師人事部 研修管理課
住所 〒350-1305 埼玉県狭山市入間川2-37-20
TEL 04-2953-6611(代表) / 04-2953-0909
FAX 04-2953-8040

E-mail initial-residents@saitama-sekishinkai.org

URL https://www.saitama-sekishinkai.jp

アクセス 西武新宿線「狭山市駅」徒歩10分

研修責任者
から
メッセージ



研修管理委員長 / プログラム責任者
杉浦 良子

当院は「断らない医療」「患者主体の医療」「地域に根ざし地域に貢献する医療」という3つの理念をもとに、地域の急性期医療を担っています。研修医の先生は救急患者さんの初期対応、必要な検査を組み、治療方針を決めて実践するというところまで上級医の指導のもと、すべて行なっています。他診療科ローテーション中にも救急の当直や日直を担います。2年間を通じて途切れることなく救急診療に携わることで、自ら考え、行動する力が身につきます。また、当院は医師同士の診療科の垣根が低く、みな教育熱心でフレンドリーです。研修中に困ったことがあれば診療科を超えて誰にでも相談できます。是非一度見学にお越しください。お待ちしております。

先輩研修医
の声



研修医1年目 -2024 年度入職 -

児玉 絃

研修医が実施できる手技が多いことが魅力の一つ。
救急外来でのファーストタッチ経験数は約700件/年。CV挿入、気管挿管、Aライン、胸腔穿刺、腹腔穿刺など基本的な手技はもちろん、侵襲度の高い処置や手術の執刀も上級医指導のもと行うことが可能です。指導医から言われた診療をするだけでなく、その都度フィードバックを受けながら治療方針の決定にも積極的に関わることができます。「Common Diseaseを診たい」「手技をたくさん経験したい」と考えている方、当院での研修を検討してみませんか。

研修医1年目 -2024 年度入職 -

高田 普



「3年目以降に当直しても困らない力をつける」「Common Diseaseを診療できるようになる」この2つを初期臨床研修の目標としていたため、救急科研修の他に週1回半日の救急当番や救急科当直を行えることが魅力的でした。日々の業務の中で、救急初期対応の知識や技術が向上していると実感しています。各診療科の研修でも手技を多く経験させてもらえるので、とても勉強になっています。また、教育熱心な先生が多く、様々なテーマの研修医向けのセミナーが開催されています。



- ▶ 研修医数 1年目 3名、2年目 3名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 7名
- ▶ 研修医の主な出身大学

昭和大学、信州大学、千葉大学、東海大学、
浜松医科大学、藤田保健衛生大学、徳島大学、
北海道大学、山口大学、福井大学

病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



診療科

総合診療内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、
代謝・内分泌内科、精神科、小児科、外科、整形外科、
脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、
放射線科、歯科、麻酔科、リハビリテーション科

主な認定施設

地域医療支援病院、日本外科学会専門医研修施設、
日本内科学会認定医教育関連施設、
日本整形外科学会専門医研修施設、小児科専門医研修施設、
日本産科婦人科学会専門医研修指導施設

研修プログラムの特色

募集定員は3名、少人数ならではのきめ細かく手厚い研修を目指しています。規模の大きくない病院ですが、その分、指導するスタッフに相談しやすく、研修医同士の距離は近く、アットホームな環境といえましょう。市中病院ということもあり、Common Diseaseを多く経験できることは特色の一つです。具体的なプログラムについては下記を参照してください。スケジュールの調整は状況に応じて可能となる場合があるので相談してください。当院では研修できないが近隣や国立病院機構の他施設にご協力をお願いいただける分野に関しては、院外研修としています。例年、基本手技を学ぶ講習会を院内で開催しています。

プログラム例 募集定員:3名

	1-4 週	5-8 週	9-12 週	13-16 週	17-20 週	21-24 週	25-28 週	29-32 週	33-36 週	37-40 週	41-44 週	45-48 週	49-52 週
1年目	内科 28週 (循環器 8週、消化器 8週、総合診療 4週、 代謝/内分泌 4週、呼吸器 (院外) 4週)				産婦人科 4週		外科 8週		麻酔科 (院外) 4週		精神科 (院外) 4週		小児科 4週
2年目	救命救急科 (院外) 12週			放射線科 (院外) 4週	地域医療 (院外) 4週		選択 32週						

- 院内必修: 消化器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、外科、小児科、産婦人科
- 院外必修: 救急科(国立病院機構災害医療センター)、精神科(国立病院機構下総精神医療センター)、麻酔科(国立病院機構埼玉病院)、地域医療(わかさクリニック)
- 選択※
【院内】消化器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、外科、小児科、産婦人科、整形外科、放射線科、麻酔科、耳鼻咽喉科、泌尿器科
【院外】神経内科(国立病院機構東埼玉病院) 放射線科(国立病院機構災害医療センター)

研修医の処遇

給与	約40万円/月	勤務時間	8:30~17:15
諸手当	通勤手当、超過勤務手当、宿日直手当等	当直	あり(4回/月)
保険	厚生労働省第二共済組合、厚生年金保険、雇用保険	休暇	有給休暇:10日、リフレッシュ休暇:2日、年末年始:6日
		宿泊	あり(使用者負担2万円/月)
		その他	身分:非常勤職員 研修医室、研修医当直室、院内保育所、健康診断(年2回)、インフルエンザ予防接種無料

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 国立病院機構埼玉病院
- 国立病院機構災害医療センター
- わかさクリニック
- 国立病院機構東埼玉病院
- 国立病院機構下総精神医療センター

当院の魅力



自力を身につけ、将来的に活躍する人材へ

埼玉県の南西部で東京都に隣接する所沢市に当院は立地します。施設周辺には、武蔵野の面影を色濃く残す林や畑が広がっており、緑豊かで心癒される環境です。

「病む人に心の通う質の高い医療をめざします」の基本理念のもとに、安全で質の高いより良い医療を提供し、信頼され安心して受診できる病院を目標としています。そのために「職員は常に研鑽に励み、安全な医療を提供すること」「医療を受ける権利を尊重し、心のもった支援をめざすこと」「周辺の医療機関と連携し、安定した医療をめざすこと」を方針として掲げ、職員皆で実現に向けて力を合わせています。また、当院は二次救急を担う一般急性期中核病院です。2018年からNICUを再開し、近隣から積極的な受け入れを行っております。

女性医師支援

【仕事と育児・介護の両立支援プログラム】

- ・子の看護休暇
- ・産前産後休暇
- ・育児休業
- ・出生サポート休暇
- ・院内保育所の設置等
- ・保育時間
- ・介護休暇



当院ではワークライフバランスのとれた研修生活を送れるよう積極的に女性医師を支援しています。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

【病院見学】随時募集中

下記メールアドレスの担当者宛にお気軽にご連絡ください。

ご希望の日程で病院見学を調整します。

詳細につきましては、当院 WEBサイトを参照ください。



連絡先

病院名 国立病院機構 西埼玉中央病院
所属 管理課 給与係長 町田 紫
住所 〒359-1151 埼玉県所沢市若狭2-1671
TEL 04-2948-1111(代表)
FAX 04-2948-1121

E-mail 208-jinji@mail.hosp.go.jp
URL https://nishisaitamachuo.hosp.go.jp/profession/cnt0_000087.html
アクセス 西武池袋線小手指駅から徒歩20分

研修責任者からメッセージ

プログラム責任者
二上 敏樹



多くの同期生で競い合うような研修環境とはいえませんが、少人数ならではの良さがあると考えています。どちらかというと他人のベースにあまり影響されずじっくりと歩みを進めていきたい、というようなタイプの人にも、当院での研修はマッチするのではないでしょうか。

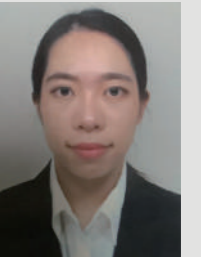
初めは分からないことばかりだと思います。遠慮なく周りのスタッフに相談してみてください。快く対応してくれるはずです。

医師という仕事をしていくうえで基本となる考え方を少しずつ身につけて、今後の方向性を模索していく、有意義な2年間が過ぎるように願っています。

四季の移ろいを感じ取れる豊かな緑に囲まれた当院で、私たちと一緒に仕事をしましょう。お待ちしております。

先輩研修医の声

研修医2年目
片山 瑞希



当院は1学年3人と少人数のため、教育熱心な指導医の先生方にマンツーマンで指導していただける点、自由に研修プログラムを組める点が魅力です。

救急外来では Common Diseaseを中心に身体診察からアセスメント、治療方針の決定までの一連の流れを指導医の先生方の監督の下経験できます。希望があれば内科当直に加えて産婦人科・小児科当直などにも参加することができ、周産期医療に興味のある方にもおすすめです。またコ・メディカルの方々も優しい方が多く、患者さんについて相談しやすい点も魅力的です。

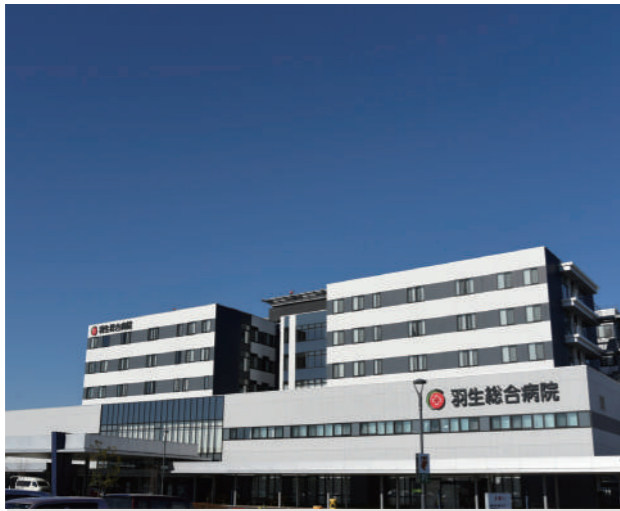
興味のある方は見学にいらしてください!お待ちしております!

研修医1年目

高津 壮生



当院の研修プログラムは個人の希望に応じて研修環境を柔軟に対応できることが特徴です。指導医の先生方は皆指導熱心で、やる気があれば様々な経験を積むことができます。また研修医の数が少ないので手技を学ぶ機会にも溢れています。院内で経験することが難しい診療科は連携病院で研修できるようプログラムされています。当院で理想の研修生活を送ってみたい方は是非見学に来てみてください。

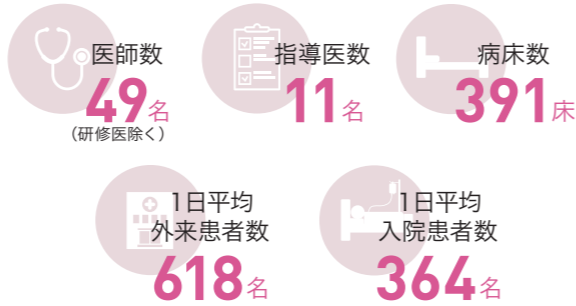


- ▶ 研修医数 1年目 8名、2年目 6名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 27名
- ▶ 研修医の主な出身大学

帝京大学、群馬大学、筑波大学、東京医科大学、獨協医科大学、弘前大学、広島大学、信州大学、久留米大学、昭和大学、福島県立医科大学、日本大学、九州大学、秋田大学

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

内科、循環器内科、消化器内科、外科、消化器外科、心臓血管外科、小児科、産婦人科、整形外科、脳神経外科、麻酔科、皮膚科、泌尿器科、漢方内科、眼科、救急科、歯科口腔外科、病理診断科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科、耳鼻咽喉科、呼吸器外科、呼吸器内科、臨床検査科、血液内科、神経内科、精神科、膠原病リウマチ科、臨床検査科、心理療法室、鍼灸室

■ 主な認定施設

救急告知、災害拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院など

■ 当院の魅力

臨床医としての哲学を形成していく

羽生総合病院の研修プログラムは臨床医としての哲学形成をしてゆく事を目的としています。狭い専門領域の知識を得るのではなく、臨床医として必要とされる基本的知識・考え方・手技を身に付けることを重点に置き、さらに患者および他の医療従事者との円滑なコミュニケーションを図ります。研修は、救急医療とプライマリケアを基盤としたスーパーローテーション方式にて行います。このプログラムでは内科(24週間)、救急(12週間)、地域医療研修(全国の徳洲会連携病院にて8週間)の基本研修を44週間、選択必修である外科8週間、麻酔科12週間、産婦人科、小児科、精神科を各4週間研修し、その他期間20週間を希望選択科にて研修します。



女性医師支援

産前産後休暇・育児休暇は勿論のこと、職場復帰後の短時間勤務・当直免除制度があります。敷地内に移転したこぐま保育園(託児所:職員専用)の利用が可能ですので、安心して勤務していただける環境が整っています。ライフワークに合わせた勤務形態が相談可能となっておりますので、ぜひ一度ご連絡下さい。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受付けています。
(交通費・宿泊費は当院負担にて相談可)
まずはお気軽に担当者までメールにてお問い合わせ下さい。



連絡先

病院名 医療法人徳洲会 羽生総合病院
所属 臨床研修担当 川口/戸ヶ崎
住所 〒348-8505 埼玉県羽生市下岩瀬446番地
TEL 048-562-3003(直通)
FAX 048-563-2170
E-mail resident_doctor@fureaihospi.or.jp
URL https://www.hanyu-resident.com/
アクセス 東武伊勢崎線羽生駅から徒歩18分・バス5~6分

研修責任者からメッセージ



院長
高橋 暁行

羽生総合病院は小回りのきく病院で、各診療科の垣根がないのが特徴です。そのため、ある診療科にローテーションしているときに、別の診療科の医師に相談したり、質問したりすることもできます。少人数なのでフレキシブルにローテーションを変更することもでき、研修医ひとり一人の『学びたい!』をバックアップする事も可能です。マイペースに医師としての基礎を身に付けていきたいという人には、向いている病院だと思えます。一緒に成長していきましょう。

先輩研修医の声

研修医 2年目

稲邊 拓郎

当院は1年研修医8人、2年研修医6人の合計14人からなります。本年度からは募集枠が8人となりました。他の病院より少数ではありますが、その分個人の成長に合わせた指導をしていただけるというメリットがあります。特に救急では(上級医の元で)自分で目の前の患者さんの診察、鑑別、検査、そして治療までを考えることができ、かなり自主性を鍛えることができると思います。是非当院へ一度見学し、現場で働く研修医の姿を見ていただくと幸いです。

研修医 2年目

松元 隆幸

羽生総合病院は埼玉といっても北関東の田舎の病院です。近年関東近辺が人気なマッチング情勢下にあってもそこまでの倍率にならなかったためか、昨今においては若干倍率が上がりつつある元穴場の病院でもあります。徳洲会グループということもありハイパーなイメージを持たれがちです。確かに少人数体制、研修医の裁量権が大きいなど忙しい面はありますが、救急外来で入院を決めた患者さんを退院までフォローできる一貫した診療体験を初期研修一年目から体験できるのは大きな経験となると思います。気になる方はぜひ、一度見学にご来院ください。

研修プログラムの特色

高い倫理観と豊かな人間性、また常に科学的な妥当性や探究能力、それに社会発展に貢献する使命感と責任感を持った「全人的な医師」を育成することを研修の理念としています。研修プログラムは内科や救急、地域医療の必修科目以外にも外科や小児科、産婦人科、麻酔科、精神科等を研修するスーパーローテーション方式となっており、救急科の研修はローテーション科と並行して2年間継続して行うことで診療能力が格段に向上します。また、画一的なものだけでなく、個人の希望や特性に応じて柔軟に対応できるようになっています。

プログラム例 羽生総合病院初期臨床研修プログラム / 募集定員: 8名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科		小児科	外科	内科			麻酔				
2年目	救急科		産婦人科	精神科	地域医療研修	選択科目						

必修: 救急科12週、麻酔科12週、外科8週、自由選択20週(整形外科、脳神経外科、泌尿器科等)

■ 研修医の処遇

給与	1年目:30万円/月 2年目:40万円/月	勤務時間	8時~17時(当直、準夜勤、診療科別に別途確認)
諸手当	当直手当、休日手当、時間外手当、通勤手当、住宅手当、家族手当等多数	当直	あり(0~1回/週)※準夜勤へ移行
保険	公的医療保険:協会けんぽ 公的年金保険:厚生年金 労働者災害補償保険法の適用:あり 医師賠償責任保険:あり 雇用保険:あり	休暇	有給休暇(年10日)
		宿舎	病院宿舎あり(定員8名)、ご自身で契約も可能
		賞与	1年目:40万円 2年目:64万円

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- 徳洲会グループ病院 (地域医療研修:僻地病院)
- 埼玉県済生会鴻巣病院 (精神科)
- 医療法人至信会池沢神経科病院 (精神科)
- 小児科:千葉西総合病院
- 緩和ケア:札幌南徳洲会病院
- 内科、救急科、外科、産婦人科、麻酔科は徳洲会系列病院でも研修可能





- ▶ 研修医数 1年目 5名、2年目 5名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 36名
- ▶ 研修医の主な出身大学

広島大学、愛知医科大学、日本医科大学、佐賀大学、弘前大学、富山大学、愛媛大学、産業医科大学 など

研修プログラムの特色

埼玉県北部の中核病院の為、症例が集まり、採用する研修医は少人数の為、一人一人が多くの手技を経験できる環境にあります。また、外科系の指導医や専門医が多数在籍しているため多角的な視点で指導を受けられます。

その他、内科系も各専門医が揃っております。「身近にあって、何でも相談のしてくれる総合的な医療」プライマリ・ケアを経験することができます。

地域医療の基幹病院として、一般診療、救急外来をとおして、プライマリ・ケアを中心に幅広い診療能力を身に付け、チーム医療の一員としての役割を自覚し、医師として必須の人格を涵養することを目指します。

プログラム例 標準コースプログラム / 募集定員:5名

1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
1年目 内科						救急			その他必修科目			
2年目 地域医療						選択科目						

- ※内科研修は、呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・総合内科・腎臓内科をローテーションします。
- ※産婦人科・精神科は協力病院にて研修を行う。

研修医の処遇

給与	1年目:年俸700万円、2年目:年俸750万円	勤務時間	8時30分～17時30分
諸手当	年俸に含む	当直	あり(4回/月)
保険	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険あり、厚生年金基金等企業年金なし、医師賠償責任保険(病院において加入)	休暇	日曜日・祝祭日、有給休暇(年10日)、年末年始(4日間)
		宿舎	寮あり
		その他	就業規則に準ずる

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 埼玉医科大学病院
- 順天堂大学医学部附属練馬病院
- 埼玉医科大学国際医療センター
- 埼玉県立精神医療センター
- 済生会鴻巣病院
- 深谷赤十字病院
- あい熊谷クリニック
- 行田クリニック 他



病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無

医師数 51名 (研修医除く) 指導医数 15名 病床数 504床

1日平均外来患者数 681名 1日平均入院患者数 383名

診療科

内科、循環器内科、消化器内科、消化器外科、呼吸器内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、小児科、麻酔科、放射線科、病理診断科、リハビリテーション科、心療内科

主な認定施設

地域医療支援病院、災害拠点病院、がん診療指定病院、埼玉県救急搬送困難事案受入病院、二次救急指定病院

当院の魅力

働きやすく積極的に手技を学べる環境

当院は地域医療支援病院・災害拠点病院・がん診療指定病院・埼玉県救急搬送困難事案受入病院の指定を受けています。医局は、大学からの派遣はなく総合医局制度を敷いているため、診療科の横断的なコミュニケーションが可能でやりたい治療を実践できる環境です。救急は、北部メディカルコントロール(MC)の埼玉県救急搬送困難事案受入病院に指定され、埼玉県北西部・北部の救急搬送の広域を担っているため、受け入れ件数は地域 No.1(年間5,500件以上)であり多様な症例を経験することができる病院です。また、地域のかかりつけ医として感冒や各種諸症状の初期診療の体制も充実、ケアミックス型の病院で、急性期から慢性期まで完結型の医療を行っています。



女性医師支援

保育室完備。定員は、30名で基本的には3歳までのお子さんをお預かりしています。ほかに学童や幼稚園帰りのお子様もお預かりしています。学童保育は要望があれば6年生まで預かります。365日休まず、夜間保育も希望のある日におおむね月に14日くらい運営。何か事情があるときに単発でもお預かりしています。子どもを預けられれば働けます、というご要望があれば、お預かりいたします。男性医師で奥様の都合が悪い時や体調の悪い時などにも臨時でお預かりします。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は予約制となります。お気軽にお電話、メールにてお問い合わせください。



救急センター・内視鏡室・手術室といった実際の診療現場を見学することができます。研修医や指導医と面談していただき、研修の中身について理解を深めていただきたいと思います。交通費補助もあります。

連絡先

病院名 社会医療法人社幸会 行田総合病院
 所属 医療推進課
 住所 〒361-0056 埼玉県行田市持田376
 TEL 048-552-1111(代表)
 FAX 048-552-1116

E-mail pub_info@gyoda-hp.or.jp
 URL http://gyoda-hp.or.jp
 アクセス JR高崎線行田駅から徒歩20分またはバス5分

研修責任者からメッセージ

プログラム責任者 興野 寛幸

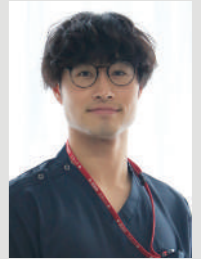


当院は医師不足が顕著な埼玉県北部に位置するケアミックス型の総合病院です。救急搬送は年5,500台を超え、二次救急レベルの患者さんを多く経験することが可能です。そのような環境の下、積極性があり、協調性に富み、責任感の強い研修医の先生方を求めています。

研修プログラムについてはまだ歴史が浅く、歴代の研修医たちと作り上げている段階ではありますが、常勤医師・指導医数が多くないため、積極性があれば、様々な手技や症例を多く体験することが可能で、非常に充実した研修が送れるでしょう。また、自己学習を促すようなプログラム(研修医同士でのカンファレンス・勉強会など)も多く、研修医同士で切磋琢磨できるような環境にあります。いわゆるお客さん状態の研修ではなく、チームスタッフの一員となって働く気概のある先生方の応募をお待ちしております。

先輩研修医の声

研修医1年目 吉田 天



当院は研修医の人数が少ないことから、自分が意欲的に取り組み、様々な手技や症例を経験することができます。上級医の先生方も熱心に教えてくださり、非常に有意義な研修を送れています。また、原則、ローテーションは研修医どうして相談して決めことができ、11か月の自由選択期間もあるので、自分のやりたいことに合わせた研修をカスタマイズすることができる自由さも兼ね備えています。医師として必要なことを自分のペースで学べる当院にぜひ見学にお越しください!

研修医1年目 佐竹 うらら



当院での研修は急性期から慢性期まで幅広いフェーズの研修が経験でき、ローテーションについても外部研修を含め比較的自由的な選択が可能となっています。研修医の人数が少ない分、手技を経験する機会は豊富で指導に時間を割いてくださる先生方が多く自分のペースで研修しながらも力がかかりつくと思います。病院の雰囲気もよく仕事と私生活のメリハリもつけやすいため働きやすい環境だと思います。是非一度見学にお越しください。

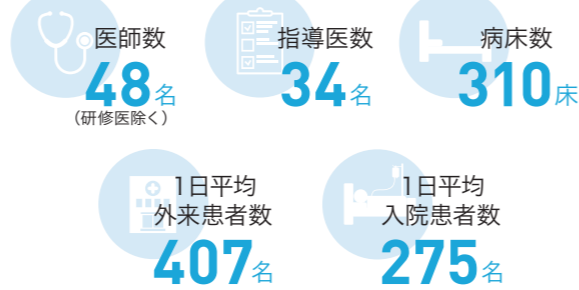


- ▶ 研修医数 1年目 6名、2年目 6名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 47名
- ▶ 研修医の主な出身大学

和歌山県立医科大学、帝京大学、埼玉医科大学、獨協医科大学、信州大学、順天堂大学、北里大学、東京女子医科大学、琉球大学、愛媛大学、金沢大学、東北大学

病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



診療科

内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、脳神経内科、総合診療科、外科、整形外科、脳神経外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、形成外科、眼科、放射線科、麻酔科

主な認定施設

日本医療機能評価機構認定病院、二次救急病院輪番体制参加病院等

当院の魅力



研修しやすい環境づくりを目指しています

当院の魅力はなんといっても研修医が①積極的に治療に関わり②手技の研修が豊富で③伸び伸び研修できる環境にあることでしょう。

①では救急は全科当直のスタイルをとっており、適切な指導医のフォローアップの下、研修医がファーストタッチを行います。各科カンファレンスでは自由に発言でき、研修医も積極的に治療方針に関して意見を述べる事が出来ます。

②では内科系では1年目4月の朝の採血実習から始まりルート確保、血液ガス分析、血液培養、心・腹部エコー、cv挿入など、外科系では腰椎穿刺、cvポート設置、小手術、開腹手術や腹腔鏡手術まで執刀する機会があります。当院では研修医全員が必要な手技をもちろん適切に学べるよう、システム化された教育体制を整え、主に4月～5月の間に多くの講義や実習を行うスケジュールを組んでいます。

③ではそれぞれの希望や知識量にあったスケジュールを設定し、メリハリをもって勤務にあたる事が出来ます。また一人一人の個性や適性に合わせた研修を上級医の先生方や病院スタッフが考えて下さり、学会発表なども地方会から海外まで、筆頭演者で発表する機会もあります。

もしこの文章を読んで「ここで研修しよう!」と思った方は是非、見学に来て下さい。大歓迎します。



女性医師支援



2022年4月に保育所がリニューアルオープンしました。定員は30名で、生後8週から3歳までお預かりします。24時間保育を行っており、臨時で引き受けることも可能です。病児保育は行っていませんが、微熱程度であればお預かりできます。保育園は隣接施設となるので、当院の小児科を直ぐに受診出来る、職員には安心して働いてもらえる環境が整っています。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受け付けておりますので、当院HPの予約フォームをご利用いただくか、メールにてご連絡ください。



連絡先

病院名 社会医療法人 熊谷総合病院
 所属 総務課 医局秘書
 住所 〒360-8567 熊谷市中西4-5-1
 TEL 048-521-0065(代表)
 FAX 048-523-5928

E-mail kumasou@kumasou.or.jp
 URL http://www.kumasou.or.jp/
 アクセス JR高崎線・上越新幹線・秩父線 熊谷駅北口から徒歩15分

研修責任者からメッセージ

プログラム責任者
濱田 英明



当院は埼玉県北の中核基幹病院ということで、プライマリ・ケアを中心に多くの症例を経験できる研修施設です。希望とやる気があれば、より専門的な診療への参加も可能です。大学病院などとは異なり、科ごとの垣根が低く、複合的な疾患の診療がしやすくなっており、また、メディカルスタッフとの人間関係も良好で、研修医の先生が動きやすい環境が備わっていると思います。ご連絡をお待ちしております。

先輩研修医の声

研修医2年目
渡邊 吉明



熊谷総合病院の初期研修プログラムは多くの魅力があります。まず豊富な症例の中で多くの知識を学べ、手技を経験できます。研修を過ごす中で先生方のフィードバックを頂きながら臨床への理解を深めることができます。またプログラムの自由度も高く、2年目には自分の将来の進路を考えながら選択することができます。研修医同士で相談しながら自由に調整することも可能です。そして上級医の先生や医療スタッフは優しい方が多く、困ったことがあったら常に相談できる環境が整っています。ぜひ一度見学にいらして当院の魅力を感じていただければと思います!

研修医1年目
細川 隼登



当院の一押しは、なんといっても雰囲気の良いことです。優しく面倒見のいい指導医の先生方、陽気で面白い研修医の仲間たち、清々しく、綺麗な病院設備と最高の環境を取り揃えています!(当社比) 当院は救急受け入れ件数県北堂々のNo1。ファーストタッチを通じて医師としての実力のベースとなる手技をたくさん経験できます。また当院は市中総合病院として多彩な症例を経験できるうえ、将来の志望科に合わせて、外部研修を含めてとても親身にプログラムを組んで対応していただけです。是非一度当院の雰囲気を感じてみてください。研修医一同、未来の後輩のあなたと、お話ができるのを心待ちにしております!

研修プログラムの特色

あらゆる疾患の患者さんと接触する職業であるとの認識を踏まえ、幅広い社会性と温かい人間性を養えるよう研修を企画すると共に、各診療科では、医師として基本的な診療能力を習得できるプログラムを目指しています。同時に、将来の希望を見据えた選択科目の研修期間も十分取れるようにしています。また、医師としての基盤形成の時期である初期研修時期において、患者さんを全人的に診ることができる基本的な診療能力を習得することにより医師としての資質の向上を図り、医師にふさわしい人格を涵養することを目的としています。

プログラム例 熊谷総合病院卒後臨床研修プログラム / 募集定員:6名

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
1年目	内科				救急部門				外科	小児科	産婦人科	精神科	
2年目	地域医療	選択科目											

※協力病院・施設での研修もあります

○選択科目:内科、救急部門、外科、麻酔科、産婦人科、小児科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、放射線科、皮膚科、耳鼻咽喉科、精神科、地域医療、保険・医療行政

研修医の処遇

給与	1年目:42万5千円/月、2年目:45万円/月 ※医員特殊手当を含む 賞与(1年目:約80万円/年、2年目:約90万円/年) ※業績により支給	勤務時間	8時30分~17時30分
諸手当	通勤手当、家族手当、時間外手当、日当直手当	当直	あり(4回程度/月)※土曜日・日曜日を含む
保険	健康保険(埼玉県医師会健康保険組合) 厚生年金保険 雇用保険 労災保険あり 厚生年金基金等企業年金なし 医師賠償責任保険(病院において加入)	休暇	土曜日・日曜日・祝日 年末年始(12/29~1/3) 有給休暇(1年目:10日、2年目:11日) リフレッシュ休暇2日(通年)
		宿舎	あり(医師住宅:家賃半額補助上限6万円まで)

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 深谷赤十字病院
- 上尾中央総合病院
- 新久喜総合病院
- 埼玉医科大学病院
- 行田総合病院
- 羽生総合病院
- 西熊谷病院
- 松本医院
- くぼしまクリニック
- おおしまクリニック
- 春山皮膚科クリニック
- 福祉医療センター 太陽の園 他

